

第8号（1）様式

外交・安全保障調査研究事業費補助金
補助事業実績報告書

※本報告書のほか、事業成果をアピールする資料（パワーポイントや動画等自由書式。最大3枚/3分程度）を提出すること。

（※当該資料は、単なる活動報告にしないこと。事業の新規性、研究成果によって得られた新たな知見及びそれに基づく政府へのアウトプット・提言等、事業成果について記載すること。）

1. 基本情報	
事業者名 東京大学先端科学技術研究センター	
事業区分・テーマ	※事業区分（発展型総合事業・総合事業・調査研究事業）及びテーマを記載。 発展型総合事業「国際理念と秩序の潮流:日本の安全保障戦略の課題」
事業名及び事業概要	※事業計画書の該当部分を転載。 秩序観を掲げる勢力が競合する「体制間競争」が激化している中で、日本の国際的立ち位置と、対外的に打ち出す理念を構想する。安全保障・外交戦略、政治体制、政治思想、宗教思想等を中心に、日本が直面している諸問題、そして日本が取るべき選択肢とその発信について議論、シミュレーションを行い、政策提言に繋げる。
事業実施期間	※下記の期間から1つを選択し「○」を記入 () 1年間 (年度) () 2年間 (年度～ 年度) (うち 年目) (○) 3年間 (令和5年度～7年度) (うち 1 年目)

2 事業の成果（アウトカム）

評価要綱3の項目につき、以下①、②の自己評価を記載すること（分量は自由）。

（※ 活動実績の詳細や定量的実績は下記「3－1」～「4－2」の欄に記載すること。）

① どのように取り組み、どのような成果があったか（工夫を凝らした点、前年度の事業から改善した点を含む）。

② どの部分につき進展・成果が不十分であったか。その原因、次年度での改善方法。

（1）補助事業の成果

（基礎的情報収集・調査研究（外交に資する政策志向の研究とし、政策提言を含む。）

- 他の類似事業と比べて新規性があったか。研究成果により新たな知見が得られたか。また、外交に資する政策志向の研究がなされたか。

① について以下のとおり。

本事業は流動化・不透明化が進む国際秩序の将来の理念と規範、それに基づいた制度をめぐる構想を日本から発信することを究極の目的とし、そのための国際的な議論の場とアジェンダを日本が主導し、日本が結節点となる国際的な人的ネットワークを、外交・安全保障政策の次世代を担う若手専門家層の間に形成していくことを目指す。国際秩序の将来像を規範理念の次元で構想していくために、本事業は三つの大枠を設け、それらを構想会議1「**国家安全保障秩序の変革**」、構想会議2「**国際秩序の理念の検証と再構築**」、構想会議3「**国際秩序形成への日本の貢献**」の三つの「**構想会議**」と名付けた。それぞれの構想会議の中に、焦点となるテーマに関する国際研究会・国内研究会およびタスクフォースを設置し、そのいくつかは初年度より活発に活動を開始した（その構成は4－1事業実施体制の「1 組織図」を参照されたい）。それぞれの研究会、タスクフォースの新規性、得られた知見は以下のとおりである。

【構想会議1「国家安全保障秩序の変革」】

構想会議1は、二つの国際研究会からなり、次世代の外交・安全保障専門家のネットワーク形成を主眼とする。

（ア）国際研究会1「インド太平洋の安全保障構想」は、外交・安全保障政策に関する次世代の専門家の国際的なネットワークを構築していく、いわば国際的な若手専門家の人材プールである。この研究会に集まる若手の外交・安全保障専門家は、「安全保障・防衛戦略の構想」「海洋・交通の安全保障の構想」「SDGsの外交戦略構想」「新興・先端技術と経済安全保障」の4つのサブ・グループに適宜所属し、調査研究を行う。本国際研究会

への参加メンバーは合計 29 名からなるが、その内、23 名が外国籍（内訳：米国、シンガポール、台湾、韓国、ベトナム、カナダ、インドネシア、フィリピン）であり、これらが 4 つの国際タスクフォースのうち一つあるいは複数に属し、共通言語を英語として国際的な議論を行い、インド太平洋地域の次世代の外交・安全保障専門家のプラットフォームの形成を進めている。その過程で、外務省、防衛省、国土交通省等の官公庁にも案内を行い、意見交換及び議論の共有を行い、特に若手職員に、外交・安全保障に関する専門的な議論を英語で行う機会を提供することを目指している。令和 5 年度は本研究会の初年度であり、インド太平洋地域における主要な課題に関する研究報告と議論を進めた。12 月 4 日まで、本研究会の総会を一回、「安全保障・防衛戦略の構想」と「海洋・交通の安全保障の構想」、および「SDGs の外交戦略構想」と「新興・先端技術と経済安全保障」の合同サブグループ会合を 1 回ずつ実施した。さらに令和 5 年度中に合同サブグループ会合を 2 回実施する予定である。今年度の秋に始動した本研究会だが、短期間で活発な議論が行われ、幅広く知見を集結できたことは大きい。特に、インド太平洋地域における安全保障上の諸問題に関する共通認識だけでなく、国家間の認識のギャップを共有できたのが大きい。また、本研究会のメンバーの結束も強く、今後さらなる率直な議論を行い、来年度以降のシナリオ検証や政策提言に繋げたい。これらの活動を通じて、国際的な議論を日本へ、日本の立場及び考えを海外へ発信するという、本研究会は極めて特殊な役割を果たせるだろう。

- (イ) 国際研究会 2 「安全保障協力体制の構想」では、日本が主導したユーラシアの国際安全保障協力の枠組みを提唱することを長期的な目標として、モンゴルやカザフスタンなどの、戦略的な重要性を持つ諸国との学術・戦略対話を行なっていく方向性を定め、研究協力者のネットワーク形成を日本国内および海外で行った。米中間競争や、米中露の間のせめぎ合いの狭間で自律的地位の確保を目指す国々に日本からアプローチし、日本が日米関係を基軸にしつつ中国と適切な距離を保ちながら国際秩序の維持と安全保障を確保していく方策を、相互補完的に共に考えていく友邦を、ユーラシア地域に見出していくことが本研究会の目的となった。座長に岩間陽子政策研究大学院大学教授を迎え、本事業総括の池内恵教授と議論を重ねながら、欧州安全保障機構（OSCE）に相応する、「ユーラシア安全保障機構」の形成を目指す理念と制度に関する議論を国際的に深め、提言・発信を行なっていくための体制づくりを進めた。初年度はモンゴルやカザフスタンのカウンターパート機関への接触を行っており、二年次の早期にモンゴル・カザフスタンにおける第一回の国際会議を開催する予定である。

【構想会議 2 「国際秩序の理念の検証と再構築」】

構想会議 2 は、今後の国際秩序の形成において主軸となる理念や規範を検証し、再構築する。また、それらの理念や規範に基づいた制度を構想し、構築あるいは再構築していくために、日本が主導的に果たす役割を求め、国際的な議論の場を形成していく。本構想会議は 4 つの研究会から構成される。

- (ウ) 研究会 1 『西側』の論理の検証と再構築』では、「西欧」「西洋」あるいは「西側」先進国の内政や外交に焦点を当て、内部からはポピュリズムによる政治・社会の動揺が、外部からは中国やロシアなどの権威主義国家からの脅威にさらされる西側先進国がとるべき政策を議論する研究会として、4 回の会合を実施した。最初の 2 回の会合では、「西側」の論理として取り扱うべきテーマとして、人権外交、核の拡大抑止に関する世論調査の実施、アジア太平洋パートナーシップ（AP4）及び欧州との関係から見た日韓関係、が提案され、韓国での核の拡大抑止をめぐる国際会議、豪州では同テーマに加え AUKUS もテーマとした国際会議の開催が提案された。また、世論調査を、総合事業「自由・民主主義は何をもたらすことができるか」のタスクフォース「言説空間分析の文理横断的方法と応用」と協力して実施している。
- (エ) 研究会 2 「宗教思想と現代社会」では宗教思想の国際政治・外交への影響を考察している。また、通常は国際政治に対する影響力を多く持つ宗教としてはいわゆるセム的一神教、すなわちユダヤ教・キリスト教・イスラーム教に注目が集まるが、本研究会では日本などアジアと西欧の文明の基層にある多神教的要素に着目し、それらが提示する、一神教に根ざした文明と異なる平和・秩序観を構想し、世界に示すことをひとつの試みとする。2024 年 1 月には、奉納をキーワードに神と人との関わりを、ケルトと日本を中心に置きながらあらためて問い直す試みとしてシンポジウム「神に何を奉るかーケルトと日本ー」を開催した。そして初年度における本事業のフラッグシップ国際会議を、東京・京都といった通常の場所での開催ではなく、島根大学との共催によって実施した。2024 年 2 月に松江にて国際シンポジウム「なぜ、そして如何にして、神の「数」が問題なのか？：一神教-多神教の二分法を超えて」を開催した。日本文化の古層と結びつく地域であり、通常の日本における国際学会・国際会議において選ばれることが少ない場所での開催を提唱したことから、宗教学・倫理学等の、思想・理念に関わる分野で、海外の有力な専門家からの注目を集め、英独仏伊、フィンランド、イスラエル等の海外から有力なパネリストを招いた国際会議を開催した。

(オ) 研究会 3 「宗教と社会の関係の検証と再構築」では、国際社会における諸問題を背景にある宗教から理解するとともに、日本の現代社会の価値観について国際的に発信することをテーマとした。戦争を宗教面から理解するためのサブグループ「戦争の記憶と宗教」および「ウクライナ戦争に見る宗教と文学」を設置した。前者のサブグループを中心に、2023 年 12 月半ばに、朝鮮戦争の経験が戦没者やその家族、現在の韓国社会にとって持つ意味を考察するドキュメンタリー映画「記憶の地、国連墓地」（韓国 KBS で 2021 年に放送）の上映会を、当該映画のプロデューサーを招いて日本で開催し、50 名以上の登録があった。また、後者のサブグループを中心に、2023 年 12 月末には、アートや文学の面からロシアやウクライナに向き合う専門家たちとの対話を通じて、ウクライナ戦争をより身近に感じ、戦争という現実の中に生きている人々についての理解を深めることを目的としたシンポジウム「ウクライナ戦争におけるアートとは？文学とは？」をウクライナ・ポルタワ国立大学教授を招いて開催する。また、2024 年 2 月には、サラエボにて「ウクライナとともに再編される宗教と政治」をテーマとした国際シンポジウムを開催予定した。サラエボやボスニアでは戦争の記憶とどう向き合ってきたか、そこに宗教がどう関わってきたのかを踏まえた上で、現今のロシア・ウクライナ戦争について、それが新たに生み出す戦争の記憶をテーマに、議論を行った。登壇者には、ボスニアやザグレブ等の研究者を招く。これはボスニア内戦や、ロシア・ウクライナ戦争といった、国際政治における主要な紛争に関して、日本が主導した宗教的・倫理的な議論を提示する機会となれば、前例の少ないものとなる。

また、2024 年 1 月 28 日から 2 月 2 日に徳之島・伊仙町にて、「第 1 回徳之島国際ユースキャンプ」を開催し、サラエボ大学（ボスニア・ヘルツェゴビナ）、済州大学（韓国）、鹿児島大学、東京大学からそれぞれ 3 人ずつ計 12 人の学生が集まり、奄美返還の歴史を出発点として戦没者慰霊のあり方や戦争の記憶の伝え方・捉え方について、議論を行い、地域住民との交流も行なった。これにより若い世代における国際的相互理解の促進を図り、地方活性化と結びつけた。

(カ) 研究会 4 「日本の価値観外交の検証と再構築」では、日本外交における価値観外交の検証し、今後の外交政策における可能性と限界を探っている。ロシア・ウクライナ戦争やイスラエル・ハマス紛争によって、価値外交の基盤と射程が激しく変化する中で、日本外交が価値に基づいた外交をどのように展開していくことが適切かを検討し模索した。今年度はまず、主要な同志国における価値外交の過去と未来展望を主要な研究者に聴取し、日本政府の外交戦略の発信における価値外交の側面を検討すべく、1 月から 2

月にかけて、韓国、欧州、インド、豪州に赴き、現地シンクタンク・大学等と意見交換／ワークショップに参加した。

【構想会議 3 「国際秩序形成への日本の貢献」】

構想会議 3 では、エネルギー資源をめぐる国際秩序や、紛争後の国内・地域国際秩序の形成への、日本の貢献の方法や、日本の利益を確保する戦略的な制度の構想に着手した。日本のエネルギー安全保障を確保するための、エネルギー業界のサブセクターを横断した大局的見地からの資源外交を構想する研究会 5 と、ロシア・ウクライナ戦後の和平を構想する紛争解決の方法論と実践に関する研究会 6 を設置した。さらに、イスラエル・ハマス紛争後の平和構築への日本のをひとつの重要課題とする国際タスクフォース「中東・アフリカの平和構築と秩序形成への貢献」を設置し、イスラエルと湾岸産油国やヨルダン、エジプト、パレスチナ自治政府等との新たな交渉の枠組みを日本から提言することを目指している。

(キ) 研究会 5 「エネルギー国際秩序における日本の立場」では、長年の商社における勤務経験から国際エネルギー市場に通暁したエネルギー・アナリストの岩瀬昇氏を座長に招請し、エネルギー関係シンクタンク・企業・関係機関等から研究者・実務者を招聘して、セクター横断的に日本のエネルギー安全保障の在り方を検討している。従来から、国際政治研究では地政学的側面、エネルギー業界では技術的・経済的側面からエネルギー安全保障が検討されており、双方の隔たりが大きく、共同作業が難しいところを、本研究会では双方の研究者・実務者が集まり、業界・業態を横断して、共通のアウトプットを目指すことを目的としている。

(ク) 研究会 6 「紛争解決の理論と実践」では、長期化し膠着状態にある、中東やアフリカを中心とした途上国の内戦や地域紛争の現状を把握し、新たな解決策を提案し、紛争解決・平和構築にむけて当事者に働きかけていくことを主眼とする。篠田英朗・東京外国語大学教授を座長とし、その強いイニシアティブにより、ロシア・ウクライナ戦争後の和平のあり方を構想するために、ウクライナ国立キーウ工科大学の研究グループと日本の欧州研究者を糾合した日・ウクライナ共同研究プロジェクトを発足させ、オンラインによる研究会合を重ねた。キーウ工科大学の学生もオブザーバーに迎え、次世代 ながら、ロシア・ウクライナ戦争の評価や安全の確保、インド太平洋とウクライナにおける NATO の役割、欧州大西洋とインド太平洋のリンケージ等について議論した。そこから、2024 年 2 月 26 日-28 日には、キーウ工科大学から 2 名の研究者を日本に招聘し、さらに南アジアからはインド・バングラデシュ・スリランカ、東アフリカからはソマリ

アやケニア等から有力な専門家を招聘し、日本に留学中のこれらの地域を出身とする大学院生等も結集し、次世代のインド太平洋とユーロ大西洋を横断した専門家ネットワークによる紛争解決・平和構築の討議が行われた。

(ケ) 国際タスクフォース「中東・アフリカの平和構築と秩序形成への貢献」では、中東・アフリカを中心とした途上国の紛争地・関与国の研究機関・研究者との協力により、内戦・地域紛争の解決に向けた新たなアプローチを現地の専門家と共に議論し、日本や各国の政府に対しても、解決策を提言していくことを特色とする。今年度は発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」、総合事業「自由・民主主義は何をもたらすことができるか」と共同で、分科会・研究会・タスクフォース横断にて、イスタンブール及びアンカラで、公開・非公開の会合（戦間期の中国・中央アジア・テュルク世界と日本の関係をめぐる公開の歴史講演会、中国と東トルキスタン（新疆ウイグル自治区）の関係についての講演会、ロシア・ウクライナ戦争に対する日本の立場とトルコの立場を対峙させる公開シンポジウム、および日本とトルコ戦略的関係を構想する非公開国際会議（日・トルコ戦略対話））を開催した。2024年1月には、イスラエル・ハマス紛争後の平和構築に、ヨルダンを通じて日本が支援を行う可能性を探るために、ヨルダン国王の外交顧問とされるザイド・エヤダート博士（ヨルダン大学戦略研究所長）を招聘し、公開・非公開の講演を企画するとともに、関係省庁・機関との非公開会合を設定した。

② 非常に多様な要素を含む本事業は、活発に意欲的に企画を進めているものの、進行にばらつきがあり、まだ全体像と焦点が絞り込まれていないきらいがある。秩序構想と理念や規範を扱う本事業は、3ヵ年をかけてじっくりと像を結んでいくものと考えられるが、下記の点には特に留意し、事業の進展を早めたい。

(ア) 国際研究会「インド太平洋の安全保障構想」においては、初回の総会合ではメンバーの多様な専門性のため、議論が拡散する傾向があった。サブグループ会合では焦点を絞った議論を行えたが、メンバーと招集と立ち上げに時間がかかったため、本年度内の会合の回数が限られてしまった。この点については、来年度以降は春に総会合を実施し、年度内に3~4回のサブグループ会合を実施することにした。また、インド太平洋地域において極めて重要である太平洋島嶼国、南アジアを専門とするメンバーがいないため、該当するメンバーを招聘する予定である。

(イ) その他、今年度は初年度ということもあり、国際研究会2「安全保障協力体制の構想」等、研究会によっては立ち上げに時間がかかり、国際会議を二年次に計画するものもあ

る。来年度以降は、出来る限り足並みをそろえ、より一層横の連携を図りながら事業を進めたい。
● 事業テーマ及び補助事業者の企画に基づき、情報収集及び調査研究が的確に行われたか。
① 「国家安全保障秩序の変革」「国際秩序の理念の検証と再構築」「国際秩序形成への日本の貢献」の三つの「構想会議」の傘下の研究会とそのサブグループ、タスクフォースを通じて、国際的な若手の外交・安全保障専門家のネットワークを形成し、オンラインや対面で、多様な観点からの議論・分析を行える場を設けた。それによって、ロシア・ウクライナ戦争、台湾海峡問題、北朝鮮の軍事近代化と挑発、東・南シナ海における「グレーゾーン事態」、イスラエル・ハマス紛争、バルカン地域における政治問題など、「国際秩序と理念」を揺るがす諸問題に関する最新の知見を、次世代の専門家を通して集約する場が形成された。事業の初年度で、タイムリーかつ深い問題を取り扱うことができたことは大きく、これを来年度以降に向けて良いスタートが切れたと思われる。また、本事業では海外に加え、島根、徳之島等、日本の地方でもイベント等を実施し、海外の研究者を招へいする予定である。 ② 特になし。
(機動的かつタイムリーな国内外への発信) ● 海外のシンクタンクの動向も参考に、広報責任者を設置する等の措置を講じて、訴求対象ごとに、発信のタイミング、形式、内容等を工夫し、戦略的な発信に意を用いているか。
① 広報責任者に新任の松田拓也特任研究員を置き、刊行物の発行や、国際的な媒体やシンクタンク・国際会議などに赴いた発信に力を入れる体制を立ち上げた。 (ア) 海外シンクタンクの発信の特徴として、近年、音声や動画による発信の活発化が見られる。本事業もこの点を参考に、Youtube チャンネル「ROLES Cast (日本語)」と「ROLES Talk (英語)」を用いた動画配信(研究メンバーによる 10-30 分程度の発信)を実施している。 (イ) また、日本語と英語で「ROLES Report (日本語)」、「ROLES Commentary (日本語)」、「ROLES Sat Analysis (日本語)」「ROLES Insights (英語)」等独自のレポートやコメンタリーを発行し、web サイト上で全て無償公開することにより、研究活動の成果が日本および海外で幅広く参照されるよう配慮している。衛星画像についても、衛星画像ベンダーとの特例契約により、過去のアーカイブ画像を安価に提供してもらうことで高頻度の発信を目指すシリーズを開始することができた。なお、以上の対外発信は ROLES および研究メンバーの SNS アカウントで宣伝・拡散している。

(ウ) 動画配信は撮影・編集に時間がかかるため、発信頻度が空きがちであったが、年度の後半には、1本の時間を短くし、研究員が自分の研究テーマに関わる写真や動画を見せながら一人語りをするシリーズなど、低負担でより頻繁な発信が可能となるよう配慮していく。

(エ) 刊行物については、デザインや出版作業を研究メンバーで分担して実施してきたことから研究・事務業務との両立が難しかったため、本事業では新たに編集・出版の専門家に依頼し、編集・出版に関する業務を負担してもらい、研究員の負担を軽減しながら、より完成度の高い成果物発信を目指していく。

② 反省点としては、成果物の質は高いものの、編集と配信・公開のペースが、研究室のキャパシティにより大きく左右され、発信頻度にムラがあることである。今後は教員・研究員の役割分担を考慮し、必要であればスタッフを拡充することにより、発信頻度を安定化させる様努める。

- 補助事業者・研究者個人によるインターネット、SNS等による広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、日本の主張・視点の国際社会への発信が機動的・タイムリーかつ積極的になされたか。その結果として国際世論の形成に参画することができたか。

(※活動内容のみではなく、どのような発信が、どのように国際世論の形成への参画につながったかを総括的に記載すること。)

① ROLES の研究室・プロジェクトメンバーの多くは個人の SNS を持っており、X (旧 Twitter) では事業総括の池内恵教授が 6 万、事業副総括の小泉悠准教授が 20 万のフォロワーを保持しており、日本語・英語・その他の言語で、研究成果や個人の見解、本事業の活動・イベント等について積極的に発信・広報している。また、各研究会の国内・国外のメンバーにも協力を仰ぎ、ROLES と本事業の引用・参照や広報を依頼し、本事業や活動の拡散や周知に貢献している。これらを通じて、メディアだけでなく、国内外政府やシンクタンク・教育機関からの注目を集め、国内外の世論の形成において重視される本事業の役割が見える。

特に本事業は、各国のオピニオンリーダー格の海外研究者が半数以上在籍する国際研究会「インド太平洋の安全保障構想」やウクライナ、欧州研究者が半数の研究会 6「紛争解決の理論と実践」を筆頭に、調査研究を常時共同で行う枠組みを設けており、今年度は、インド太平洋における安全保障情勢や日米同盟、非伝統的安全保障や、ロシア・ウクライナ戦争をめぐる日本の見解を提示することができたといえよう。

② 特になし。

- 補助事業者・研究者個人によるインターネット、SNS等による広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、国民の外交・安全保障に関する理解増進に取り組んだか。また、その反響があったか。

(※活動内容のみではなく、どのような活動がどう国民の理解を増進したのか、どのような反響があったかを総括的に記載すること。)

- ① ロシアのウクライナ侵略やイスラエル・ハマス紛争、台湾海峡問題、北朝鮮の核・ミサイル開発問題といった、世界と我が国を取り巻く外交・安全保障問題に関して、本事業に参画する研究メンバーによる活発な発信が行われてきた。また、ウェビナーやシンポジウムも頻繁に開催されており、その際には録画を YouTube チャンネルに公開することや、国際情報誌『フォーサイト』の協力により文字起こしがオンラインで出版されるなど、一つのコンテンツの複数の媒体を用いた発信を展開している。これらのイベントにおいては、単に事実関係を国民にわかりやすく発信するだけではなく、地域研究や安全保障論等の知見を用いて、その背景や我が国としてとるべき方策などに関する踏み込んだ提言を行なってきたことが特徴である。

ROLES は独自の SNS アカウント (X、Facebook、YouTube) を設定し、日本語・英語でイベントや成果、その他の活動について積極的に発信している。また、多くの研究室メンバーおよびプロジェクトメンバーも、積極的に発信を行なっている。特に、本事業では山口亮特任助教や松田拓也特任研究員を代表に、英語での国際発信の経験が豊富なメンバーが多いため、シンクタンクや国際会議での研究報告や、英語メディアへのコメント等を通じて、海外事情・情勢に関する知見や分析を日本から発信している。

- ② 国際研究会とそのサブグループ・タスクフォースで行われている議論は、専門家および実務家の間での専門的な議論となるため、その内容を、国内の一般社会に広く伝えきれていない部分がある。この点については、研究会の進展の報告を定期的に行うことや、ROLES のウェブサイト・SNS 等での研究会の開催事実や概要の公開を通じて、一般社会からの認知と理解を得るよう努めていく。

(外国シンクタンク・有識者等との連携、ネットワークを通じた国際世論の醸成への貢献)

- 研究過程における外国シンクタンク・有識者等 (在日の有識者、外交官、外国メディア関係者を含む) との定期的な討論や共同研究等を通じ、諸外国の視点や海外シンクタンク・有識者等のネットワークを取り入れた調査研究や、日本の立場や見解に関する外国シンクタンク・有識者等による理解の増進に取り組んでいるか。

(※ 活動内容のみではなく、外国シンクタンク・有識者との連携がどれほど、どのように深められたかを総括的に記載すること。)

(※調査研究事業については本項目の記載は任意。)

- ① 初年度において、三つの国際構想会議を発足させ、その下に研究会・タスクフォースを設置して、国際的かつ複合的な大規模プロジェクトを発足させたことにより、国内外の有識者や実務家（在日大使館関係者を含む）とのネットワーク形成が活発に同時並行的に進んだ。特に、中東のライヒマン大学やヘブライ大学、テルアビブ大学モシェダヤン中東アフリカ研究センター、テルアビブ大学国家安全保障研究所（INSS）（以上イスラエル）、イスタンブール工科大学、ボアジチ大学、中東工科大学（以上トルコ）、ヨルダン大学戦略研究センター（ヨルダン）、アンワル・ガルガーシュ外交アカデミー、ドバイ公共政策調査センター、トレンド・リサーチ・アドバイザリー（以上 UAE）、あるいは欧州のウクライナ国立工科大学（ウクライナ）、ブリュッセル自由大学安全保障・外交・戦略研究所（CSDS）（ベルギー）、エストニア国際防衛安全保障センター、そして米国のアトランティック・カウンシル、パシフィック・フォーラム・インターナショナル、カナダのマクドナルド・ローリエ・インスティテュート（MLI）、シンガポールの RSIS、韓国の済州平和研究院等、タイのチュラロンコーン大学等、海外のシンクタンク・教育機関や構成員との連携を深めている。

本事業を構成する、国際研究会・国際タスクフォースを通じた交流を、日本だけでなく海外に向けて公開し積極的に発信することで、国際世論への影響力の強化に繋げていく。

- ② 初年度において、トルコ及び UAE と並んで外国シンクタンクとの協力・共同研究の相手先として最重視してきたイスラエルとの間では、予定では池内恵教授が 2023 年 9-11 月に滞在し、10 月 10-13 日および 18・19 日に、ライヒマン大学との第 2 回三極国際会議（日・イスラエル・UAE 協力）、テルアビブ大モシェダヤン中東アフリカ研究センター、ヘブライ大学人文学部等との共同事業を連続開催する予定だったが、10 月 7 日に勃発したイスラエル・ハマス紛争により実施が不可能となり、無期限延期となった。不安定で流動的な状況を鑑み、イスラエルの諸機関との関係は一旦凍結し、状況を精査した上で、適切な時期に再開し、イスラエル・ハマス紛争の戦後の復興・和平をめぐる国際的な議論の枠組みに、日本から適切な発信と関与を行っていく。そのために、2023 年度の後半には状況に即応しヨルダンの戦略研究センター（CSS）との関係を深め、イスラエル・UAE の研究機関との交流と接合して、新たな中東和平の枠組みを提起するプラットフォーム形成を進めた。

- G7、安保理常任理事国以外の国のシンクタンクとの意見交換・セミナー実施を通じて、我が国の情勢認識及び外交施策に関する理解増進、並びに我が国にとり望ましい国際世論の醸成に取り組んでいるか。

(※調査研究事業については本項目の記載は任意。)

- ① 2023年9月21日に、事業総括の池内恵教授が、テルアビブ大学国家安全保障研究所(INSS)における客員上級研究員として、日本外務省の講師派遣によって訪れた東京大学の高原明生教授を迎え、セミナーを設定したように、本事業の運営主体はG7と安保理常任理事国以外の各地域の有力国との研究協力を個人で進め、それを活かした事業展開を行っている。また、本事業の国際研究会・タスクフォースのメンバーには、G7及び安保理常任理事国以外の国々の出身者が多く含まれており、これらの国々を対象とした研究を、現地の内在的な視点から行っている。これらの国々からの来訪者が東京を訪れる際には、東大先端研で本事業の中核となるグローバルセキュリティ・宗教分野研究室が主催する定評のある国際セミナーRCAST Security Seminarのゲストスピーカーとして迎え、専門家・実務家とつなぐ場を設定することが常時可能であり、必要に応じて非公開のセミナー・ディスカッションも実施している。
- ② 構想会議1「国家安全保障秩序の変革」においては、G7及び安保理常任理事国、特に米国出身者の存在が大きいため、今後はこのバランスを是正し、いわゆる「グローバル・サウス」諸国からの参加者を増やしたい。特に、南アジア、東南アジア、太平洋島嶼国出身者を招聘することにより、より幅広い議論と発信を行えると思われる。

(2) 補助事業の実施体制及び実施方法

- 若手、女性、地方在住研究者を積極的に登用しているか。若手研究者の育成（英語による発信力の強化を含む。）に取り組んでいるか。
- ① 全ての研究会において、多様性を重視し、特に若手、女性、地方・国外在住者を積極的に招聘した。初年度の挑戦として、島根大学との連携による、松江での大規模な国際シンポジウムの開催を2024年1-2月に予定している。また、地方でのグローバルな課題 また、ワーク・ライフバランスと、地方・国外在住者を考慮した上で、多くの会合をオンラインまたはハイブリッド形式で実施した。

他の事業と合わせ、若手の特任助教と特任研究員、並びに大学生・大学院生をインターンとして採用し、次世代の専門家の育成に力を入れている。
 - ② 「安全保障協力体制の構想」と傘下のサブグループにおいては、男女のバランスにおいてムラがある。例えば、「安全保障戦略」サブグループにおいては80%近くが男性であるのに

対し、「SDGs と外交戦略」においては殆どが女性である。来年度以降はこのバランスを是正できるよう努めたい。
● 複数の分科会や研究会がある場合、それらの間の有機的な連携が取れているか。
① 本事業を構成する研究会、サブグループ、タスクフォースは3つの構想会議にまとめられ、参加メンバーの一部が異なる研究会等に重複して参加することから、設置当初から、研究会等を横断し、相乗効果を生み出すことを念頭において構成されている。また、各研究会の会合の実施前には、他の構想会議や研究会、他の事業の分科会の幹事同士で情報を共有し、オブザーバー参加を奨励し、連携を強化するよう努めている。 ② 時間的制約等で、構想会議間、研究会間の十分な横断と交流ができたとは言い難く、更に進める余地はある。このため、今後は事前周知のツールを導入し、更なる横断と交流に努める。
● 外務省等の関係部局とのコミュニケーションを構築し、政策立案上のニーズを把握し、それを踏まえて効果的にアウトプット・政策提言を行ったか。
① 各研究会の会合には外務省・防衛省・経済産業省・内閣官房・国土交通省等の官公庁からのオブザーバー参加を募っており、事前に連絡を行っている。また、研究室メンバーも外務省・防衛省・経済産業省・内閣官房・国土交通省等と積極的にヒアリングや意見交換会を実施している。これらの交流を通じ、政府が希望している議論やトピックをカバーするよう努めている。 ② 成果物を政策立案に利用しやすいフォーマットで生成する必要がある。本事業の最終年度には政策提言文書を作成する予定だが、それに至る過程で、更なる交流やヒアリング、会合へのオブザーバー参加を促進し、政策立案上のニーズを把握する必要がある。
● 補助事業者のホームページ上に、研究部門、研究者個人（研究実績、写真、連絡先等）の情報を充実させ、研究内容及び研究者の見える化に努めているか。
① ROLES のホームページでは、本事業の構想会議・研究会・サブグループ・タスクフォース、イベント、その他の各種活動について日本語と英語で掲載している。また、研究室・プロジェクトメンバーのプロフィールを掲載し、所属分科会・研究会・タスクフォースと相互にリンクさせ、刊行物や動画ページにもリンクされ、有機的な統合を進めている。 ② 構想会議・研究会・サブグループ・タスクフォース、各種プロジェクトに関する情報発信の頻度に差があり、イベントの開催後の事後報告は遅れがちである。また、日本語版と英語版のページに量的な差があるのも課題となっている。これらに関しては、英語による発

信を任務とする、英語を母語とする研究者を、連携研究員などの制度を利用して研究チームの一部に組み入れることを、今後の重要な改善点の一つとしたい。
● 組織自体の外交・安全保障政策に関する政策提言能力及び国際発信力を強化し、国際的な議論の先導に努めているか。（※実施状況のほか、発信がどう国際世論の先導につながったかを記載すること。） （※総合事業及び調査研究事業については本項目の記載は任意。）
① 多くの研究室・プロジェクトメンバーは国内外のメディアに積極的に発信している。また、本事業では外国の教育・研究機関に所属している著名な専門家が多く参加しているため、自ずと海外メディアや学術・シンクタンクを通じて成果を発信できている。ROLESのウェブサイトや YouTube チャンネルは、国内のメディアの国際政治・安全保障をめぐる報道で参照されるものとなっており、アジェンダ・セッティングや共通認識の形成に寄与していると思われる。 ② ROLES ウェブサイトの英語版の充実度や知名度・影響力は、日本語版に比して小さいのが現状である。英語版ウェブサイトのアップデートを図るために、ショーン・ケッチ連携研究員を採用し、活発な英語発信に着手している。
● グローバルに活躍する若手人材を含む多様なシンクタンク人材の発掘・育成に意を用い、これら人材の国際的な発進力強化に取り組んでいるか。 （※総合事業及び調査研究事業については本項目の記載は任意。）
① 本事業では、若手の特任助教・研究員を採用し、その他にもインターン制度を設け、次世代の有識者の育成に力を入れている。また、全ての研究メンバーは、国際経験と知識が豊富であり、英語はもちろん、アラビア語、ロシア語、中国語、朝鮮語、スラヴ語、ペルシア語、ヘブライ語等に堪能であり、それぞれ高い専門性を持っている。この他にも、連携研究員制度を通じて、企業から研究者を受け入れており、将来的には官庁からの連携研究員を受け入れることにより、産学官の連携を深めたい。 ② 課題としては、外国籍、女性の教員・研究員が不足している。人材の採用においては、予算等の課題等があるが、今後の取り組みとして進めていきたい。
（３）補助金の使用
● 補助金事業事務処理マニュアルに沿って事業が実施されているか。（※①補助金事業事務処理にマニュアルに従った経費処理がなされていない場合には、その事項について記載すること。②その原因、次年度の改善について記載すること。）

- ① 本事業団体では大学執行部、研究室の研究部門、事務部門にて「補助金事業事務処理マニュアル」を共有し、マニュアルに従った執行がなされている。

3-1 事業の実施状況・成果

※以下のカテゴリーに沿って、具体的な実施状況（日時、場所、参加者/参加人数、テーマ、調査、議論や対外発信の概要、成果等）について記載すること。（分量自由）

1. 基礎的情報収集・調査研究

分科会・タスクフォースによる研究会合の実施概要

各国際研究会、研究会、タスクフォースにおいて、以下のとおりの研究会合を実施した（予定も含む）。

《構想会議1「国家安全保障秩序の変革」》

(1) 国際研究会1「インド太平洋の安全保障構想」

1) 第1回会合

【日時】2023年9月19日（火）9:00～11:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】19名

山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

Christopher K. LAMONT（東京国際大学教授）

Ariel STENEK（政策研究大学院大学博士課程）

伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センターシニアプログラム・コーディネーター）

WU Shang-Su（ラブダン・アカデミー助教授）

清水愛子（パシフィックフォーラム客員フェロー）

Jeffrey ORDANIEL（東京国際大学准教授）

John BRADFORD（外交問題評議会（CFR）国際フェロー）

Jonathan Berkshire MILLER（マクドナルド・ローリエ研究所シニアフェロー）

豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）

Emma VERGES（アトランティック・カウンシル プログラムアシスタント）

Lauren GILBERT（アトランティック・カウンシル アソシエートディレクター）

Kristi GOVELLA（ハワイ大学マノア校助教授）

青木尚子（ランド研究所アソシエートポリティカルサイエンティスト）

S. Paul CHOI（ストラットウェイズ・グループ 代表）

Arius DERR（オーストラリア国立大学博士課程）

稲葉義泰（専修大学博士課程）

LIM Eunjung（公州大学校准教授）

Tonny Dian EFFENDI（ムハマディア大学マラン校助教授）

他、外務省からのオブザーバー5名

【概要】

インド太平洋地域の安全保障情勢について、下記のメンバーよりそれぞれ以下のテーマで報告が行われた。

Zack COOPER：「中国・北朝鮮による脅威と日米・日韓同盟」

Bich TRAN：「ASEAN サミットと東南アジア情勢」

Collin KOH Swee Lean：「インド太平洋地域における海洋安全保障情勢」

2) 非公開ラウンドテーブル「中国の海洋戦略と日本への影響」

【日時】 2024年2月6日（火）13:00～14:45

【場所】 佐久平交流センター

【参加者】

登壇者：

山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

Collin KOH Swee Lean（シンガポール南洋理工大学ラジャラトナム国際学院シニア・フェロー）

稲葉義泰（専修大学大学院法学研究科博士後期課程／軍事ライター）

伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センターシニアプログラムコーディネーター／日本国際フォーラム常務理事・研究主幹）

他オブザーバー1名

【概要】

掲題のテーマで登壇者がそれぞれ報告を行い、それを受けて出席者全員で討論を行った。

3) シナリオ検証「東シナ海におけるグレーゾーン事態」

【日時】 2024年2月6日（火）15:00～17:00

【場所】 佐久平交流センター

【参加者】

登壇者：

山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

Collin KOH Swee Lean（シンガポール南洋理工大学ラジャトナム国際学院シニア・フェロー）

稲葉義泰（専修大学大学院法学研究科博士後期課程／軍事ライター）

伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センターシニアプログラムコーディネーター／日本国際フォーラム常務理事・研究主幹）

他オブザーバー1名

【概要】

山口座長より提示された東シナ海のグレーゾーン事態のシナリオを基に、日本としてどのような対応がありうるかについて議論した。

（1-1）サブグループ「安全保障戦略の構想」

（1-3）サブグループ「海洋・交通の安全保障の構想」

1）サブグループ「安全保障・防衛戦略の構想」・「海洋・交通の安全保障の構想」合同会合

【日時】 2023 年 12 月 4 日(月) 9:00～11:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 19 名

山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

Jasmin ALSAIED（中東研究所客員フェロー）

青木尚子（ランド研究所アソシエートポリティカルサイエンティスト）

John BRADFORD 外交問題評議会（CFR）国際フェロー（インドネシア）

Sungmin CHO（アジア太平洋安全保障研究センター 教授）

S. Paul CHOI（ストラットウェイズ・グループ代表）

Zack COOPER（アメリカン・エンタープライズ政策研究所シニアフェロー）

Arius DERR（オーストラリア国立大学博士課程）

Lauren GILBERT（アトランティック・カウンシルアソシエートディレクター）

稲葉義泰（専修大学博士課程）

伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センターシニアプログラム・コーディネーター）

Collin KOH Swee Lean（シンガポール南洋理工大学ラジャトナム国際学院
シニアフェロー）

Christopher K. LAMONT（東京国際大学教授）

Jonathan Berkshire MILLER（マクドナルド・ローリエ研究所シニアフェロー）

Jeffrey ORDANIEL（東京国際大学准教授）

DongJoon PARK（済州平和研究院 研究委員）

豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）

Bich TRAN（戦略国際問題研究所（CSIS）客員フェロー）

WU Shang-Su（ラブダン・アカデミー助教授）

他、外務省からのオブザーバー2名、海上自衛隊からのオブザーバー2名

【概要】

安全保障戦略、海洋交通安全保障について、下記のメンバーよりそれぞれ以下のテーマで報告が行われた。

Lauren GILBERT: 「US concerns」

S. Paul CHOI: 「Korean concerns」

青木尚子: 「Japanese concerns」

2) サブグループ「安全保障・防衛戦略の構想」・「海洋・交通の安全保障の構想」合同会合

【日時】2024年1月29日（月）9:00～11:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】10名

山口亮（東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）

Jasmin ALSAIED（中東研究所 客員フェロー）

John BRADFORD（外交問題評議会（CFR）国際フェロー（インドネシア）

Sungmin CHO（アジア太平洋安全保障研究センター 教授）

S. Paul CHOI（ストラットウェイズ・グループ 代表）

稲葉義泰（専修大学 博士課程）

Christopher K. LAMONT（東京国際大学 教授）

Jeffrey ORDANIEL（東京国際大学 准教授）

Bich TRAN（戦略国際問題研究所（CSIS）客員フェロー）

WU Shang-Su（ラブダン・アカデミー 助教授）

他、外務省からのオブザーバー4名

【概要】

中朝露関係について、下記のメンバーよりそれぞれ以下のテーマで報告が行われた。

Sungmin CHO：「China-North Korea relations」

山口亮：「Opportunistic coordination: China-North Korea-Russia」

Shang-Su WU：「Impact of China-North Korea-Russia cooperation/coordination」

（1-2）サブグループ「SDGs の外交戦略構想」

（1-4）サブグループ「新興・先端技術と経済安全保障」

1）サブグループ「SDGs の外交戦略構想」・「新興・先端技術と経済安全保障」合同会合

【日時】2023年11月22日(水)9:00～11:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】12名

山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

Christopher K. LAMONT（東京国際大学教授）

伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センター シニアプログラム・コーディネーター）

清水愛子（パシフィックフォーラム 客員フェロー）

Bich TRAN（戦略国際問題研究所（CSIS）客員フェロー）

今井慶子（アトランティック・カウンシル アシスタントディレクター）

Emma VERGES（アトランティック・カウンシル プログラムアシスタント）

Katherine YUSKO（アトランティック・カウンシル プロジェクトアシスタント）

Maria TANYAG（オーストラリア国立大学講師）

Kristi GOVELLA（ハワイ大学マノア校助教授）

LIM Eunjung（公州大学校准教授）

Tonny Dian EFFENDI（ムハマディア大学マラン校助教授）

他、外務省からのオブザーバー2名

【概要】

非伝統的安全保障をテーマに、以下の報告者／テーマによる研究報告が行われた。

Maria TANYAG：「Key Non-Traditional Security Issues in the Indo-Pacific」

Christopher K. LAMONT : 「Non-Traditional Security in a Global Context」

2) サブグループ「SDGs の外交戦略構想」・「新興・先端技術と経済安全保障」合同会合

【日時】 2024 年 1 月 25 日 (木) 9:00～11:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 11 名

山口亮 (東京大学先端科学技術研究センター 特任助教)

Maria TANYAG (オーストラリア国立大学 講師)

Christopher K. LAMONT (東京国際大学 教授)

清水愛子 (マイクロソフト 政策渉外・法務部本部デジタル・インクルージョン担当部長)

Bich TRAN (戦略国際問題研究所 (CSIS) 客員フェロー)

Emma VERGES (アトランティック・カウンシル プログラムアシスタント)

Kristi GOVELLA (ハワイ大学マノア校 助教授)

LIM Eunjung (公州大学校 准教授)

Tonny Dian EFFENDI (ムハマディア大学マラン校 助教授)

今井慶子 (アトランティック・カウンシル アシスタントディレクター)

Katherine YUSKO (アトランティック・カウンシル プロジェクトアシスタント)

他、外務省からのオブザーバー5 名

【概要】

文化と非伝統安全保障について、下記のメンバーよりそれぞれ以下のテーマで報告が行われた。

Tonny Dian EFFENDI : 「Culture, non-traditional security, and SDGs」

Emma VERGES : 「Culture and non-traditional security: Case of China」

(2) 国際研究会 2 「安全保障協力体制の構想」

初年度は人選と立ち上げに向けて、イスタンブールおよびアンカラでの国際会議に岩間座長・池内事業総括が渡航した際に打ち合わせを行った。次年度以降、モンゴルでの開催、ユーラシア安保協力会議の枠組みを目指した国際会議の準備会合となる。

1) 準備会合

【日時】 2023 年 9 月 25 日(日)16:00～17:30

【場所】 イスタンブール空港国内線ラウンジ

【参加者／参加人数】2名

岩間陽子(政策研究大学院大学教授・座長)

池内恵(東京大学先端科学技術研究センター教授・事業総括)

《構想会議2「国際秩序の理念の検証と再構築」》

(3) 研究会1「『西側』の論理の検証と再構築」

1) 第1回会合

【日時】2023年7月27日(木)10:00～11:00

【場所】ハイブリッド方式(ZOOM/対面併用)

【参加者／参加人数】11名

細谷雄一(慶應義塾大学教授・座長)

池内恵(東京大学先端科学技術研究センター教授・事業総括)

岩間陽子(政策研究大学院大学教授)

鶴岡路人(慶應義塾大学准教授)

東野篤子(筑波大学教授)

合六強(二松学舎大学准教授)

ギブール・ドラモット(INALCO教授、先端研客員上級研究員)

小林弘幸(群馬県立女子大学等非常勤講師)

岩間慶乃亮(慶應大学大学院・座長補佐)

大林憲司マテイ(慶應大学大学院・座長補佐)

矢部美咲(慶應大学大学院・座長補佐)

【概要】

プロジェクト統括(池内・東大教授)より事業の趣旨について話があった後、参加者で今後の研究活動についての意見交換を行い、本会合を終えた。

2) 第2回会合

【日時】2023年10月10日(火)18:30～20:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】9名

細谷雄一(慶應義塾大学教授・座長)

小林弘幸（群馬県立女子大学等非常勤講師）

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

合六強（二松学舎大学准教授）

鶴岡路人（慶應義塾大学准教授）

東野篤子（筑波大学教授）

岩間慶乃亮（慶應大学大学院・座長補佐）

大林憲司マテイ（慶應大学大学院・座長補佐）

矢部美咲（慶應大学大学院・座長補佐）

【概要】

今後の研究会の進め方および日程に関する協議

3）第3回会合

【日時】 2024 年 1 月 5 日(金)18:30～20:00

【場所】 ZOOM によるオンライン会合

【参加者／参加人数】 11 名

中村仁威(外務省欧州局審議官)

細谷雄一(慶應義塾大学教授・座長)

岩間陽子(政策研究大学院大学教授)

鶴岡路人(慶應義塾大学准教授)

東野篤子(筑波大学教授)

合六強(二松学舎大学准教授)

小林弘幸(群馬県立女子大学等非常勤講師)

ギブール・ドラモット(INALCO 教授、先端研客員上級研究員)

岩間慶乃亮(慶應大学大学院・座長補佐)

大林憲司マテイ(慶應大学大学院・座長補佐)

矢部美咲(慶應大学大学院・座長補佐)

【概要】

外務省の中村仁威欧州局審議官より「最近の欧州情勢について」をテーマにした講演があり、その後質疑応答を行った。

4）第4回会合（公開ウェビナー）※48－49 ページにも記載

【日時】 2024 年 2 月 24 日（土） 14:00～16:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 5 人

細谷雄一(慶應義塾大学教授・座長)

岩間陽子(政策研究大学院大学教授)

鶴岡路人(慶應義塾大学准教授)

東野篤子(筑波大学教授)

合六強(二松学舎大学准教授)

【視聴者数】 593 名

【概要】

上記 5 名が登壇し、「ウクライナ戦争」をテーマにしたウェビナーを行った。ウェビナーは動画により配信された。

(4) 研究会 2「宗教思想と現代社会」

1) 公開会合「神に何を奉るか—ケルトと日本—」（2. 及び 4. にも記載）

【日時】 2024 年 1 月 23 日（火） 18:00～20:30

【場所】 東京大学先端科学技術研究センター ENEOS ホール／Zoom ウェビナー

【参加者／参加人数】 204 名（会場 19 名、オンライン 185 名）

鶴岡真弓（多摩美術大学名誉教授）

ジャン＝ミシェル・ビュテル（フランス国立東洋言語文化大学准教授）

港千尋・多摩美術大学教授 アートとデザインの人類学研究所長

平藤喜久子・國學院大學教授

【概要】

神への貢ぎ物（Ex voto）の国際比較研究をベースに、日本の Ex voto 文化をフランス人研究者が、古代フランスの Ex voto 文化を日本人研究者がそれぞれ紹介し、特に日本の宗教の独自性がその貢ぎ物文化にどう現れているかについての分析が行われた。

2) 非公開会合「Articulating Oneness: Monotheism and the History of Religion」

【日時】 2024 年 2 月 13 日（火） 10:00～17:10

2024 年 2 月 14 日（水） 9:30～13:00

【場所】 島根大学松江キャンパス

【参加者／参加人数】14名

Naphtali Meshel (ヘブライ大学上級講師)*オンライン参加

Holger Zellentin (チュービンゲン大学教授)

Yaqir Paz (ヘブライ大学講師)

Michael Ebstein (ヴァッサー大学教授)*オンライン参加

Francis Clooney (ハーバード大学教授)*オンライン参加

Maijastina Kahlos (ヘルシンキ大学講師)

Fabio Porzia (イタリア国立研究委員会遺産科学研究所研究員)

Guy Stroumsa (ヘブライ大学・オクスフォード大学名誉教授)

澤井義次 (天理大学名誉教授)

中西悠喜 (大阪大学非常勤講師)

真鍋智裕 (北海道大学准教授)

宮川創 (国立国語研究所助教)

平藤喜久子 (國學院大学教授)

山城貢司 (東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

【概要】

欧米の一神教研究者を中心とする国内外の諸宗教研究者が、日本の宗教伝統のシンボルである出雲大社に近い島根大学に集まり、一神教と多神教においてそれぞれ神の存在が宗教システムにどのように関連するかを5つの非公開セッションで議論した。

3) 国際シンポジウム「なぜ、そして如何にして、神の「数」が問題なのか? : 一神教—多神教の二分法を超えて」

【日時】2024年2月14日(水) 14:00~16:00

【場所】島根大学松江キャンパス

【参加者／参加人数】8名

【登壇者】

Holger Zellentin (チュービンゲン大学教授)

Yaqir Paz (ヘブライ大学講師)

Maijastina Kahlos (ヘルシンキ大学講師)

Fabio Porzia (イタリア国立研究委員会遺産科学研究所研究員)

Guy Stroumsa (ヘブライ大学・オクスフォード大学名誉教授)

澤井義次（天理大学名誉教授）

中西悠喜（大阪大学非常勤講師）

真鍋智裕（北海道大学准教授）

宮川創（国立国語研究所助教）

平藤喜久子（國學院大学教授）

山城貢司（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

非公開会合で話し合われた内容をそれぞれが発表しディスカッションをさらに深め、主に島根大学の教職員と学生を対象としたシンポジウムとして公開した。

4) 公開シンポジウム「寫眞から読む出雲神話」

【日時】2024年3月16日（火）13:30～17:30

【場所】島根県立美術館ホール

【参加者／参加人数】約90名

【登壇者】

平藤喜久子（國學院大學神道文化学部教授）

港千尋（多摩美術大学情報デザイン学科教授）

小泉凡（小泉八雲記念館館長）

グリフィス・キオ（ヴィジュアル・サウンドアーティスト、キュレーター、エディター）

高嶋敏展（写真家、アートプランナー）

【概要】

出雲大社を持つ島根県から海外に向けた、特に学術的発信を目的とする島根国際交流委員会が主催する出雲神話フォーラムの第3回。出雲神話を写真を通した視点から見ることについて、日本神話（國學院大学）と写真（多摩美術大学）それぞれの専門家の基調講演を元に、地元写真家や小泉八雲記念館館長などを交えた座談会を行った。

（5）研究会3「宗教と社会の関係の検証と再構築」

1) 第1回会合

【日時】2023年7月25日（火）17:00～18:30

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】4名

ディーノ・アバゾビッチ（サラエボ大学政治学部教授）

井上まどか（清泉女子大学文学部准教授）

西村明（東京大学人文社会系研究科准教授）

立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

国際企画（徳之島ユースキャンプ、サラエボシンポジウム）についての打合せ

2) 打ち合わせ

【日時】2023 年 10 月 11 日(水) 10:10～11:20

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】3 名

西村明（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）

松岡由紀（鹿児島県大島郡伊仙町社会教育課町誌編纂室室長）

立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

徳之島ユースキャンプの詳細についての打合せ

3) きのくに国際高等専修学校生徒訪問（3. にも記載）

【日時】2023 年 11 月 8 日（金）17:30～20:30

【場所】東京大学先端科学技術研究センター

【参加者／参加人数】14 名（高校生 12 名、引率教師 2 名）

【概要】

和歌山県のきのくに国際高等専修学校の生徒 12 名が校外自主学習の一環で東京大学先端科学技術研究センターを訪れ、立田由紀恵特任研究員と宗教と社会の関係、特に宗教と紛争について質疑応答を行った。

4) 徳之島国際ユースキャンプ

※本イベントは、奄美群島返還 70 周年記念事業として、総合事業「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」分科会「戦後日本外交の歴史的研究」と合同で実施した。

【日時】2024 年 1 月 28 日（日）～2 月 2 日（金）

【場所】 鹿児島県大島郡伊仙町

【参加者／参加人数】 学生 13 名、講演者 4 名

イネラ・スバシッチ（サラエボ大学・学生）

デアン・ジェビッチ（サラエボ大学・学生）

ベルミン・デリッチ（サラエボ大学・学生）

キム・ソンヒョン（済州大学・学生）

チョウ・スジン（済州大学・学生）

ヨム・ヒョンジュ（済州大学・学生）

田畑絢香（鹿児島大学・学生）

要田ののか（鹿児島大学・学生）

高見龍輝（鹿児島大学・学生）

山田絵玲沙（東京大学・学生）

坪井俊樹（東京大学・学生）

和田知之（東京大学・学生）

犬塚悠太（東京大学・学生）

セルマ・アリスバヒッチ（サラエボ大学教務助手）

趙誠倫（済州大学名誉教授）

西村明（東京大学准教授）

清水亮（東京大学助教）

【概要】

令和 5 年に日本返還 70 周年を迎えた徳之島で、サラエボ大学、済州大学、鹿児島大学、東京大学から計 13 名の学生が参加し、国境の変化に焦点を当て戦争の記憶の継承につき学ぶユースキャンプを開催した。

5) 公開講演「The Role of Women in Post-War Societies: The Case of Bosnia and Herzegovina」

【日時】 2024 年 1 月 31 日（水）10:00～12:00

【場所】 徳之島交流ひろば ほーらい館

【参加者／参加人数】 25 名程度（＊地元の方が気軽に立ち寄れるよう登録は行わなかった）

【登壇者】

セルマ・アリスバヒッチ（サラエボ大学教務助手）

【概要】

徳之島ユースキャンプが地元の方々に向けて開いた逐次訳付公開講演会。会場参加者と積極的に対話しながら、戦争および平和運動における女性の役割をボスニア・ヘルツェゴビナの例を中心に紹介した。

6) 公開講演「済州島のアルトゥロ飛行場と戦争の記憶」

【日時】2024年1月31日（水）14:00～16:00

【場所】徳之島交流ひろば ほーらい館

【参加者／参加人数】35名程度（＊地元の方が気軽に立ち寄れるよう登録は行わなかった）

【登壇者】

趙誠倫（済州大学名誉教授）

【概要】

徳之島ユースキャンプが地元の方々に向けて開いた逐次訳付公開講演会。第二次世界大戦で日本軍の基地が置かれた済州島の位置付けと、戦後の四・三事件の背景などを歴史の流れから紹介した。徳之島の天城町教育長も参加し、島民参加者から積極的に質問がされた。

7) 公開講義「Roles of Religion in Contemporary Japan」

【日時】2024年2月29日（木）17:00～18:30

【場所】サラエボ大学政治学部

【参加者／参加人数】48名

【概要】

サラエボ大学政治学部からの要望に応え、現代日本社会における宗教の位置づけと、日本における宗教間対話についての講演を行った。

（5-1）サブグループ「戦争の記憶と宗教」

1) 「戦争の記憶と宗教」サブユニット予備会合（謝金なし）

【日時】2023年6月26日（月）13:00～14:30

【場所】東京大学文学部宗教学研究室

【参加者／参加人数】3名

西村明（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）

イ・ジョンソン（東京大学大学院人文社会系研究科研究員）

立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

「戦争の記憶と宗教」サブユニットの具体的活動内容について

2) 第1回会合

【日時】2023年10月6日(金) 17:00～19:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】7名

西村明（座長・東京大学大学院人文社会系研究科）

李貞善（東京大学大学院人文社会系研究科）

栗津健太（上智大学グリーンケア研究所）

冨澤かな（静岡県立大学国際関係学部）

浜井和史（帝京大学教育学部）

清水亮（東京大学未来ビジョン研究センター）

立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター）

【概要】

プロジェクトの趣旨についての説明と今後の活動予定についての打合せ

3) 国連墓地映画上映会

【日時】2023年12月1日（金）18:00～20:00

【場所】東京大学先端科学技術研究センターENEOSホール

【参加者／参加人数】23名

【登壇者】

李京玟（韓国放送公社 KBS プロデューサー）

李貞善（東京大学大学院人文社会系研究科研究員）

コメント：西村明（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）

【概要】

朝鮮戦争停戦70周年を記念し、韓国放送公社（KBS）が2021年に作成した国連墓地についてのドキュメンタリー映画を上映し、プロデューサーの李京玟と学術監修を行った李貞善によるミニトーク（日韓同時通訳付）を行った。

(5-2) サブグループ「ウクライナ戦争に見る宗教と文学」

1) サブユニット予備会合（謝金なし）

【日時】 2023 年 7 月 13 日（木）15:00～17:30

【場所】 東京 23 区内

【参加者／参加人数】 2 名

井上まどか（清泉女子大学文学部准教授）

立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

「ウクライナ戦争に見る宗教と文学」メンバーおよび具体的活動内容について

2) QWS アカデミアスペシャル「ウクライナ戦争におけるアートとは？ 文学とは？」

【日時】 2023 年 12 月 27 日（金）18:00～20:00

【場所】 渋谷 QWS Cross Park

【開催方法】 対面およびオンライン

【参加者／参加人数】 会場 32 名/オンライン 116 名（148 名）

【登壇者】

オルハ・ニコレンコ（ポルタワ国立教育大学教授）

野中進（埼玉大学教授）

鴻野わか菜（早稲田大学教授）

鳥山祐介（東京大学准教授）

司会：井上まどか（清泉女子大学准教授）

【概要】

ウクライナ戦争におけるアートと文学について、主に若者を対象として渋谷でシンポジウムを行った。会場にはウクライナの子どもたちによる絵画が展示された。

8) 公開シンポジウム「Religious Organisations and Their Transformation in the Time of Crisis」

【日時】 2024 年 2 月 28 日（水）10:00～17:30

【場所】 サラエボ大学政治学部

【参加者／参加人数】 23 名

【登壇者】

ディーノ・アバゾビッチ（サラエボ大学教授）

セアド・トゥルチャロ（サラエボ大学教授）

サミル・フォリッチ（サラエボ大学上級講師）

バブレ・ミヨビッチ（サラエボ大学准教授）

井上まどか（清泉女子大学准教授）

神原ゆうこ（北九州私立大学教授）

高橋沙奈美（九州大学専任講師）

中井杏奈（東京外国語大学特定非常勤講師）

【概要】

ウクライナ戦争を中心として中東欧の戦争における宗教のさまざまな役割を考察する発表を、ロシアによる軍事侵攻の影響と無関係でないボスニアで日本の研究者が行い、それに対してボスニアの研究者が応答する形を取り、ウクライナ戦争についてのより幅広い観点を模索した。

（6）研究会4「日本の価値観外交の検証と再構築」

松田拓也特任研究員が1月から2月にかけて、韓国の峨山政策研究院（Asan Institute for Policy Studies）、フィンランド国際問題研究所(FIIA)、エストニアの国際防衛安全保障センター(ICDS)、エストニア外務省、オーストラリア戦略政策研究所(ASPI)、オーストラリア国立大学(ANU) 戦略防衛研究センター(SDSC)、シドニー大学米国研究センター(USSC)などで意見交換、及び現地の有力研究者や政府機関関係者を招いた円卓会合に登壇し、日本の安全保障政策等に関して国際発信を行なうほか、意見交換を行うことで、シンクタンクネットワークの強化を図った。

また池内恵代表と松田特任研究員が、ブリュッセル自由大学安全保障・外交・戦略研究所（VUB－CSDS）を訪問し、池内代表が円卓会合にて登壇し、また先方の Luis Simon 所長と Eva Pejsova ジャパンチェアと意見交換を行い、今後の ROLES と CSDS との関係構築などに関して議論を行った。

その他、松田特任研究員と東京大学先端科学技術研究センター研究交流生の山本みずき慶應義塾大学大学院生はインドの「オブザーバー・リサーチ財団」とインド外務省共催による大型国際会議「ライシナ対話」に参加し、インドの外交安全保障コミュニティと関係構築も行った。

《構想会議3「国際秩序形成への日本の貢献」》

(7) 研究会5「エネルギー国際秩序における日本の立場」

1) 第1回会合

【日時】2023年9月6日(水) 18:20～20:00

【場所】JOGMEC 虎ノ門本部

【参加者／参加人数】4名

豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

岩瀬昇（エネルギーアナリスト）

梶本量平（INPEX ソリューションズ）

【概要】

プロジェクトの趣旨・今後の方針を説明する立ち上げ会合として実施

2) 第2回会合

【日時】2023年10月31日(火) 13:30～14:30

【場所】ハイブリッド（JOGMEC 虎ノ門本部・Zoom）

【参加者／参加人数】6名

岩瀬昇（エネルギーアナリスト）

池内恵（東大先端研教授）

梶本量平（INPEX ソリューションズ）

小林周（日本エネルギー経済研究所中東研究センター）

高橋雅英（中東調査会）

豊田耕平（東大先端研連携研究員）

【概要】

「日本のエネルギー安全保障」に関する各自の研究テーマ確認

3) 第3回会合

【日時】2023年12月11日(月) 13:30～15:00

【場所】ハイブリッド（JOGMEC 虎ノ門本部・Zoom）

【参加者／参加人数】6名

岩瀬昇（エネルギーアナリスト）

池内恵（東大先端研教授）

梶本量平（INPEX ソリューションズ）

小林周（日本エネルギー経済研究所中東研究センター）

高橋雅英（中東調査会）

豊田耕平（東大先端研連携研究員）

【概要】

竹原美佳（JOGMEC 調査部）「中国のエネルギー安全保障計画について」と題して報告、委員と報告者による意見交換を実施。

4) 第4回会合

【日時】 2024 年 2 月 28 日（水）15:00～17:00

【場所】 日本エネルギー経済研究所、Zoom

【参加者／参加人数】 6 名

岩瀬昇（エネルギーアナリスト）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

梶本量平（INPEX ソリューションズ）

小林周（日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員）

高橋雅英（中東調査会主任研究員）

豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）

【概要】

小林周：日本と韓国のエネルギー安全保障政策の比較検討

高橋雅英：日本とフランスのエネルギー安全保障政策の比較検討

豊田耕平：日本とドイツのエネルギー安全保障政策の比較検討

各報告について、委員と報告者による意見交換を実施。

5) 第5回会合

【日時】 2024 年 3 月 21 日（木）10:30～12:00

【場所】 東京大学先端科学技術研究センター、Zoom

【参加者／参加人数】 7 名

岩瀬昇（エネルギーアナリスト）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

榊本量平（INPEX ソリューションズ）

小林周（日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員）

高橋雅英（中東調査会主任研究員）

豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）

中井遼（北九州市立大学准教授）【概要】

中井遼（北九州市立大学）「政治科学によるエネルギー安全保障に関する研究の可能性」と題して報告、委員と報告者による意見交換を実施。

（8）研究会6「紛争解決の理論と実践」

1) 第1回会合

【日時】2023年8月11日(金)21:00～23:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】6名

篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授・座長）

Anna Mykolayivna Ischenko（ウクライナ国立工科大学社会学部上級講師）

Iurii Perga（ウクライナ国立工科大学社会学部大学院教授）

Olena Akimova Kasatnika（ウクライナ国立工科大学経営理論実践学科准教授）

Pavlo Ferdorchenko-Kutuyev（ウクライナ国立工科大学社会学部学部長）

吉崎知典（東京外国語大学院総合国際学研究院特任教授）

【概要】

「研究グループの初期フレームワークの構築」と題して座長（篠田東京外語大教授）より報告があり、参加者で意見交換・全体討論を行い、本会合を終えた。

2) 第2回会合

【日時】2023年8月29日(火)16:00～20:00

【場所】ハイブリッド（Zoom/対面併用）

【参加者／参加人数】12名

篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授・座長）

Anna Mykolayivna Ischenko（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部上級講師）

Iurii Perga（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部大学院教授）

Olena Akimova Kasatnika（ウクライナ国立工科大学（KPI）経営理論実践学科准教授）

Pavlo Ferdorchenko-Kutuyev（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部学部長）

吉崎知典（東京外国語大学院総合国際学研究院 特任教授）

岡部芳彦（神戸学院大学経済学部教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

鶴岡路人（慶応義塾大学総合政策学部准教授）

池内恵（東京大学先端科学研究センター教授）

立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

国末憲人（朝日新聞論説委員）

【概要】

「Assessments of the Impacts of the Russo-Ukraine War」の議題のもと、Iurii Perga、Pavlo Ferdorchenko-Kutuyev、Olena Akimova Kasatnika、Anna Mykolayivna Ischenko 各参加者より報告があり、質疑応答・全体討論を実施し、本会合を終えた。

3) 第3回会合

【日時】2023年9月18日（月）20:00～21:30

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】9名

篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授）

吉崎知典（東京外国語大学院総合国際学研究院特任教授・報告者）

Anna Mykolayivna Ischenko（ウクライナ国立工科大学社会学部上級講師）

Iurii Perga（ウクライナ国立工科大学社会学部大学院教授）

Olena Akimova Kasatnika（ウクライナ国立工科大学経営理論実践学科准教授）

Pavlo Ferdorchenko-Kutuyev（ウクライナ国立工科大学社会学部学部長）

吉崎知典（東京外国語大学院総合国際学研究院特任教授）

鶴岡路人（慶応義塾大学総合政策学部准教授）

立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

「NATO's Peace Operations after the Cold War: Implications for the Indo-Pacific Region and Ukraine」と題した報告が報告者（吉崎東京外語大特任教授）からなされ、報告後、質疑応

答・全体討論が行われ、本会合を終えた。

4) 第4回会合

【日時】2023年10月9日(月)20:00～22:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】約20名

篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授）

鶴岡路人（慶応義塾大学総合政策学部准教授）

Anna Mykolayivna Ischenko（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部上級講師）

Iurii Perga（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部大学院教授）

Olena Akimova Kasatnika（ウクライナ国立工科大学（KPI）経営理論実践学科准教授）

Pavlo Fedorchenko-Kutuyev（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部学部長）

Philip Shetler-Jones（英国王立防衛安全保障研究所アジア太平洋地域の安全保障主任研究員）

岡部芳彦（神戸学院大学経済学部教授）

立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

その他、KPIより学生が複数参加

【概要】

報告者（鶴岡路人・慶大准教授）から「Security Guarantee for Ukraine?」と題した報告が行われ、報告後、質疑応答・全体討論を行った。

5) 第5回会合

【日時】2023年11月2日(木)19:00～21:00

【場所】ハイブリッド

【参加者／参加人数】16名

Philip Shetler-Jones（英国王立防衛安全保障研究所 アジア太平洋地域の安全保障 主任研究員）

篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授）

Anna Mykolayivna Ischenko（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部上級講師）

Iurii Perga（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部大学院教授）

Olena Akimova Kasatnika（ウクライナ国立工科大学（KPI）経営理論実践学科准教授）

Pavlo Fedorchenko-Kutuyev（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部 学部長）

吉崎知典（東京外国語大学院総合国際学研究院特任教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

鶴岡路人（慶応義塾大学総合政策学部准教授）

立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員）

〔外務省〕

伊藤陸人（外務省 在リトアニア大使）

菊地大樹（在ラオス日本国大使館経済・経済協力班 三等書記官）

北村健一（外務省 課長補佐）

寺垣ゆりや（在ガーナ日本国大使館 一等書記官）

富田瑞希（外務省総合外交政策局政策企画室 外務事務官）

福原玲於茄（アフリカ連合日本政府代表部 専門調査員）

【概要】

冒頭に研究会の今後の予定に関する事務的相談事項を協議し、続いて Philip Shetler-Jones 氏による「The Linkage between Euro-Atlantic and Indo-Pacific」に関する報告をおこなったうえで、各出席者が自由に検討や今後の会合にて議論できる話題などの意見交換をおこなった。

6）第6回会合

【日時】2023年12月12日（火）20:00～21:57 【形式】オンライン

【参加者／参加人数】65名

〔座長＆報告者〕

篠田 英朗 東京外国語大学院総合国際学研究院 教授

〔紛争解決の理論と実践学会委員〕※ アルファベット順

Anna Mykolayivna Ischenko. ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部 上級講師

Iurii Perga ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部大学院 教授

Olena Akimova Kasatnika ウクライナ国立工科大学（KPI）経営理論実践学科 准教授

Pavlo Fedorchenko-Kutuyev ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部 学部長

吉崎 知典 東京外国語大学院総合国際学研究院 特任教授

Philip Shetler-Jones 英国王立防衛安全保障研究所アジア太平洋地域の安全保障主任研究員

[紛争解決の理論と実践学会連携委員] ※アルファベット順

東野 篤子 筑波大学人文社会系 教授

[オブザーバー]

(外務省) 16 名※ 五十音順

Aoki Kazufumi 外務省欧州局西欧課 課長補佐

板倉 言葉 外務省在フィジー日本国大使館 一等書記官

上野 裕大 外務省南東アジア経済連携協定交渉室 長

鵜鷹 倅輝 外務省財トルクメニスタン日本国大使館官房班 派遣員

内田 智大 外務省経済紛争処理課 主査

Uchino Yuri MOFA Assistant Director

大澤 勉 外務省公文書監理室 審査員

小林 瑞季 外務省 三等書記官

佐野村 博 外務省国際法局経済紛争処理課 課長補佐

篠原 信州 外務省在パキスタン日本国大使館 一等書記官

鈴木 啓太 外務省在アルジェリア日本国大使館 書記官

辰巳 知恵子 外務省 EU 代表部 一等書記官

林田 雄一郎 外務省在インドネシア日本国大使館 外交官補

前田 哲 外務省在カタール日本国大使館 大使

山根 賢太郎 外務省在マレーシア日本国大使館 一等書記官

山本 昂平 外務省国連政策課 主査

ウクライナ国立工科大学学生 39 名

【概要】

冒頭に研究会の今後の予定に関する事務的相談事項を協議し、続いて篠田英朗教授による

「Polemic points of recent theories of conflict resolution from the perspective of ongoing conflicts in the world」に関する報告をおこなったうえで、各出席者が自由に検討や今後の会合にて議論できる話題などの意見交換をおこなった。

7) 第7回会合

【日時】2023年1月15日(月) 20:00～22:00

【場所】オンライン

【参加者／参加人数】19名

篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授）

Anna Mykolayivna Ischenko（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部上級講師）

Iurii Perga（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部大学院教授）

Olena Akimova Kasatnika（ウクライナ国立工科大学（KPI）経営理論実践学科准教授）

Pavlo Fedorchenko-Kutuyev（ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部 学部長）

吉崎知典（東京外国語大学院総合国際学研究院特任教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

鶴岡路人（慶応義塾大学総合政策学部准教授）

〔外務省〕

今村弘太郎（欧州連合日本政府代表部 専門調査員）

大須賀優人（総務課）

金井光康（在ミクロネシア日本国大使館 参事官）

清水大資（在ナッシュビル総領事館 領事）

鈴木秀生（在チェコ大使館 大使）

滝祥光（在イタリア大政務班 参事官）

野口有佑美（外務省および内閣官房 内閣参事官補佐）

福原玲於茄（アフリカ連合日本政府代表部 専門調査員）

南野大介（在ロシア大使館経済部 一等書記官）

森上翔太（軍備管理・軍縮課 外交実務研修員）

山口潤（在ザンビア日本国大使館 一等書記官）

【概要】

冒頭に研究会の今後の予定に関する事務的相談事項を協議し、続いて篠田英朗氏による

「Lessons of Recent Practices of Conflict Resolution and their Implications for Ongoing Conflicts in the World」に関する報告をおこなったうえで、各出席者が自由に検討や今後の会合にて議論できる話題などの意見交換を行った。

8) シンポジウム「現代世界における紛争解決：ウクライナの未来と自由で開かれたインド

太平洋（FOIP）」（2、4. にも記載）

【日時】2024 年 2 月 27 日(火) 10:30～17:30

【場所】東京大学先端科学技術研究センター ENEOS ホール（ハイブリッド）

【参加者／参加人数】153 名（会場参加者：21 名、オンライン参加者：132 名）

【登壇者】

篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授）

R. S. ヤダブ少将（インド統合戦略研究所 CS3 部長）

マフフズ・カビール（バングラデシュ国際戦略研究所 リサーチディレクター）

S. チャミンダ・パドマクマラ（コロンボ大学 教授）

アブディファタ・アデン・アブディ（ソマリア連邦政府内務・連邦事項・和解省平和構築紛争アドバイザー）

インギ・ラシェド（紛争解決・平和維持・平和構築のためのカイロ国際センター 国境を越えた脅威アソシエイトプログラムオフィサー）

イーシェンコ・アンナ（ウクライナ国立工科大学 上級講師）

アキモワ・オレナ（ウクライナ国立工科大学 准教授）

フィリップ・シェトラ・ジョーンズ（英国王立防衛安全保障研究所 アジア太平洋地域の安全保障 主任研究員）

安井日寧子（東京大学公共政策大学院 学生）

吉崎知典（東京外国語大学 特任教授）

【概要】

ウクライナ、アフリカ、南アジア各国を中心とした地域で、紛争解決に携わる専門家を中心とした研究者による発表を通じ、ウクライナにおける紛争解決を軸として、「自由で開かれたインド太平洋」の枠組みで紛争解決を考える 3 セッションのシンポジウムを行った。

（9）国際タスクフォース「中東・アフリカの平和構築と秩序形成への貢献」

ロシア・ウクライナ戦争発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」、総合事業「自由・民主主義は何をもたらすことができるか」との合同事業として、9 月 24 日ー26 日にわたり、トルコ・アンカラにて以下の会合を実施した。（「2. 機動的かつタイムリーな国内外への発信」「4. 国際的な議論を先導するシンポジウムの開催」にも掲載）

1) イスタンブール公開講演会「戦間期の中国・トルコ・テュルク世界と日本」

【日時】2023年9月24日（日）14:00～16:30

【場所】テクフェンタワー地下ホール

【参加人数】40名（事前登録は100名）

【概要（プログラム）】

イントロダクション・趣旨説明

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授・ROLES 代表）

講演1：「第一次世界大戦後の中国－トルコ関係と日本」

川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）

講演2：「90周年の今振り返る東トルキスタン・イスラーム共和国（1933－1934年）」

熊倉潤（法政大学教授）

コメント：

セルチューク・エセンベル（ボアズィチ大学名誉教授）

エルダル・キュチュクヤルジュン（ボアズィチ大学講師）

アハマド・ヤアクーブ（イスタンブール大学イスラム学研究所助教授）

2) イスタンブール公開シンポジウム「ウクライナ戦争に対する日本とトルコの立場」

【日時】2023年9月25日（月）10:00～12:30

【場所】テクフェンタワー地下ホール

【参加人数】25名（事前登録は25名）

【概要（プログラム）】

司会 池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

冒頭挨拶 笠原謙一（在イスタンブール総領事）

第1部：ロシア・ウクライナ戦争に関する日本の視点

司会・イントロダクション 池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

報告1「ロシアとウクライナの軍事情勢：最新の現状分析」

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

報告2「ロシア・ウクライナ戦争に対する日本の反応：その理念と理由」

東野篤子（筑波大学大学院人文社会科学研究科教授）

報告3「欧州・大西洋とインド・太平洋の同盟と連携」

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

報告4「制裁と経済安全保障の観点から」

鈴木一人（東京大学公共政策大学院教授）

報告5「ウクライナ戦争後の欧州秩序を考える」

遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

第2部：コメントと反応

今井宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員）

チャール・エルハン（アルトゥンバシュ大学学長）

タルハ・キョゼ（イスタンブール大学教授/SETA 上級研究員）

第3部：総合討論

3）日本・トルコ戦略対話「ウクライナ戦争と国際秩序の未来：日本とトルコの視野と構想」

【日時】2023年9月26日（火）10:00～16:00

【場所】アンカラ・ヒルトン

【参加者／参加人数】30名

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

鈴木一人（東京大学公共政策大学院教授）

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

東野篤子（筑波大学大学院人文社会科学研究科教授）

遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

今井宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員）

早丸一真（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

木村風雅（東京大学大学院総合文化研究科特任助教）

豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）

ヒュセイン・バージュ（中東工科大学教授）

メリハ・アルトゥンウシュク（中東工科大学教授）

バハドウル・ペフリヴァントウルク（TOBB 経済工科大学助教授）

ハルドゥーン・ヤルジュンカヤ（TOBB 経済工科大学教授）

ミタット・ジェリクパラ（カディルハス大学教授/経済・行政・社会科学部長）

ムラト・デミレル（ネヴシェヒル大学・准教授）

井上貴史（三菱商事株式会社イスタンブール支店業務部長）

ドアチ・ギュルセル（三菱商事株式会社アンカラ支社）

勝亦孝彦（在トルコ日本国大使館特命全権大使）大使館政務班 6 名

【概要（プログラム）】

司会：

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

第 1 部：ウクライナ戦争の現状：軍事・政治分析

第 2 部：アジアと中東の反応：外交・国際関係分析

第 3 部：休戦・停戦・講和のシナリオ

第 4 部：ウクライナ戦争後の国際秩序

4）セミナー「ガザ戦争の後の中東の未来」

【日時】2024 年 1 月 24 日（水）15:00～16:30

【場所】先端科学技術研究センター 3 号館 M2 階 セミナールーム 1

【登壇者】参加者は 12 名

講師：ザイド・イヤード（ヨルダン大学教授・同大学戦略研究所長）

司会：池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授・ROLES 代表）

【概要】イスラエル・ハマース紛争の後の中東和平の新たな国際枠組みについて議論を行った。なお、本会合は発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」分科会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」との合同事業である。

2. 機動的かつタイムリーな国内外への発信（インターネット等による広報、公開セミナーの開催を含む）

イベントのメディア掲載

- ・ 動画配信「ROLES Cast」第 10 回、第 11 回、第 12 回、第 13 回が 2023 年 9 月 29 日付、

2023 年 10 月 2 日、12 月 21 日付新潮社 Foresight ウェブサイトに掲載された。

URL： (第 10 回) <https://www.fsight.jp/articles/-/50098>

(第 11 回) <https://www.fsight.jp/articles/-/50094>

(第 12 回) <https://www.fsight.jp/articles/-/50285>

(第 13 回) <https://www.fsight.jp/articles/-/50286>

<https://www.fsight.jp/articles/-/50287>

- ・ 2024 年 1 月 28 日～2 月 2 日に実施した「徳之島国際ユースキャンプ」については、以下の地域紙での報道され、とりあげられた。

- ① 奄美新聞 1 月 29 日「「徳之島国際ユースキャンプ」開始 戦争の記憶伝承 若者の国際理解を 東京大、伊仙町と連携」

<https://amamishimbun.co.jp/2024/01/29/48366/>

- ② 奄美新聞 1 月 31 日 「東大先端研「徳之島国際ユースキャンプ 戦争の記憶伝承、世界平和へ 公開シンポで相互理解」

<https://amamishimbun.co.jp/2024/01/31/48414/>

- ③ 南海日日新聞 2 月 1 日 「戦争の記憶継承考える 国際シンポ、海外学者ら講演 伊仙町」

<https://www.nankainn.com/news/local/%e6%88%a6%e4%ba%89%e3%81%ae%e8%a8%98%e6%86%b6%e7%b6%99%e6%89%bf%e8%80%83%e3%81%88%e3%82%8b%e3%80%80%e5%9b%bd%e9%9a%9b%e3%82%b7%e3%83%b3%e3%83%9d%e3%80%81%e6%b5%b7%e5%a4%96%e5%ad%a6%e8%80%85%e3%82%89>

- ④ 南海日日新聞 2 月 3 日「学生ら相互理解深める 国内外 4 大学が参加 徳之島国際ユースキャンプ」

<https://www.nankainn.com/news/education/%e5%ad%a6%e7%94%9f%e3%82%89%e7%9b%b8%e4%ba%92%e7%90%86%e8%a7%a3%e6%b7%b1%e3%82%81%e3%82%8b%e3%80%80%e5%9b%bd%e5%86%85%e5%a4%96%ef%bc%94%e5%a4%a7%e5%ad%a6%e3%81%8c%e5%8f%82%e5%8a%a0%e3%80%80%e5%be%b3>

- ⑤ 奄美群島南三島経済新聞 2 月 8 日「ボスニア・韓国・国内の大学生が集い徳之島で戦争の記憶たどる」

<https://amami-minamisantou.keizai.biz/headline/437/>

- ・ 2 月 6 日に実施した「佐久平安全保障フォーラム」に関連して以下の報道があった。

- 開催に先駆けて、本フォーラムの企画者・登壇者である山口亮特任助教が 1 月 22 日付「信濃毎日新聞」より取材を受けた。

信濃毎日新聞 1月22日「海から遠い佐久市と安全保障のつながりは 市内在住の研究者わ かりやすく解説へ来月フォーラム」

URL: <https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2024012200052>

- 「佐久平安全保障フォーラム」の内容を広く発信すべく、佐久ケーブルテレビ報道特別番組「現在の国際情勢を受け今わたしたちに必要なこと」(出演：山口亮(東大先端研特任助教)、コリン・コー(RSIS シニアフェロー)、前島正彦(佐久ケーブルテレビ))を企画・制作し、3月21日19:00(再：3月26日15:30、3月31日15:00)に放送された。本番組では、昨今の安全保障情勢と自治体や市民の生活への影響、普段から心がけるべきことについて議論された(なお、本動画はROLES ウェブサイトに掲載予定)。
- ・ 2月14日にアトランティックカOUNシルと共催したウェビナー“The risks of simultaneous conflicts in the Indo-Pacific.”については、アトランティックカOUNシルのウェブサイトにて動画が掲載された。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=MC37VL4sd7s&t=2986s>

ROLES ウェブサイトを通じた発信

本事業では、ROLES ウェブサイト (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>) において、以下のような発信を行っている。

- ・ 日本語版刊行物：「ROLES Commentary」「ROLES Report」
- ・ 英語版刊行物：「ROLES INSIGHTS」
- ・ ジャーナル(日英)：『ROLES Review』
- ・ 日本語版時事解説動画シリーズ：「ROLES Cast」
- ・ 英語版時事解説動画シリーズ：「ROLES Talk」
- ・ そ の 他 の 動 画 ： YouTube チャンネル「ROLES Channel」
(<https://www.youtube.com/@ROLESChannel>) 登録者数 8060 人
- ・ 各種セミナー・シンポジウムの告知：「イベント」欄 (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/events>)
- ・ その他のお知らせ：「ニュース」欄 (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/news>)

【ROLES Cast】

作成日	動画タイトル	視聴再生回数
2023/9/21	ROLESCast#010 金正恩の訪露と朝露関係－「戦略・戦術的協力強化」の現状と展望	5479 回
2023/9/22	ROLESCast #011 アゼルバイジャンの「対テロ作戦」－ 紛争の背景と今後	17596 回
2023/10/14	ROLESCast #012 ハマスによる越境攻撃とイスラエル情勢：現状と展望	19488 回
2023/11/16	ROLESCast #013 イスラエル・ハマス戦争 1 ヶ月 外交と国際関係に与える影響	15784 回

【ROLES Channel】

作成日	動画タイトル	視聴再生回数
2023/7/16	Lecture on Israeli Diplomacy by Amb. Mark Regev / 「アブラハム合意後の中東：UAE、サウジアラビア、イラン、そして地域におけるイスラエルの新たな役割」	1221 回
2023/11/30	“The Burden-Sharing Dilemma: Coercive Diplomacy in US Alliance Politics (Book Launch)”	1196 回
2024/3/8	研究報告会議「北朝鮮のグローバル展開－ロシア・アジア・アフリカ－」	2838 回

【ROLES Report／Commentary】

作成日	刊行物タイトル	分科会
2023/10/14	ROLES COMMENTARY No.11 パブロ・フェルドルチ エンコ - クトゥエフ/篠田英朗「ウクライナ戦争」という名称の問題性	研究会 6 「紛争解決の理論と実践」
2023/10/14	ROLES COMMENTARY No.12 ユーリー・ベルガ 「ロシア・ウクライナ戦争の政治的影響の評価 ユーリー・ベルガ」	研究会 6 「紛争解決の理論と実践」
2024/2/25	ROLES COMMENTARY No. 13 遠藤乾「キッシンジャー、死してなお」	研究会 4 「日本の価値観外交の検証と再構築」

2024/3/21	ROLES COMMENTARY No. 16 岐部秀光「拡散する中東危機 ザイド・エヤダト博士に聞く」	国際タスクフォース「中東・アフリカの平和構築と秩序形成への貢献」
-----------	--	----------------------------------

【ROLES INSIGHTS】

作成日	刊行物タイトル	分科会
2023/9/25	ROLES INSIGHTS No.2023-03: "Shifting Trust: Ukrainian Sentiments Towards Social Institutions Before and During War"	研究会 6「紛争解決の理論と実践」
2023/10/3	ROLES INSIGHTS No.2023-03: "Shifting Trust: Ukrainian Sentiments Towards Social Institutions Before and During War"	研究会 6「紛争解決の理論と実践」
2023/10/6	ROLES INSIGHTS No. 2023-4 : The Problematic Nature of the Naming of the "Ukraine War"	研究会 6「紛争解決の理論と実践」
2023/10/12	ROLES INSIGHTS No. 2023-5 : "What the October 7 attack and the Israel-Hamas War means for the Middle East and the World"	国際タスクフォース「中東・アフリカの平和構築と秩序形成への貢献」

【その他】

広報用資料として、昨年度作成した ROLES パンフレットを改訂（下図参照）。「徳之島国際ユースキャンプ」については、地元にて活動内容を広報するため、パンフレットを作成した（別添資料参照）。





ROLES 自体の広報のためのイベント

ROLES という組織自体の広報のため、以下のイベントを発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」及び総合事業「自由・民主主義は何をもたらすことができるか」と連携して実施した。

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	事前登録	当日参加
2023/6 /10	「大学発・外交安全保障シンクタンクの挑戦：東大先端研ROLESと慶應 KGRI の競争と協業」	細谷雄一（慶應義塾大学法学部教授／戦略構想センター・センター長）、森聡（慶應義塾大学法学部教授／戦略構想センター・副センター長）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授／ROLES 代表）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師／ROLES 副代表）	ハイブリット	371	271

2023/6 /10	東大駒場リサーチキャンパス 公開 2023 バーチャル研究室 公開	<前半> 池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師） <後半> 山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）、伊藤和歌子（東大先端研シニアプログラムコーディネーター）、立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）、鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）	ZOOM ウェビナー	188	100
---------------	---	---	---------------	-----	-----

2023/1 1/10	エネルギー国際安全保障機構 設立記念国際シンポジウム 「グローバルセキュリティと エネルギートランジション」	河野龍興（東京大学先端科学技術研究センター エネルギー国際安全保障機構長教授）、杉山正和（東京大学先端科学技術研究センター所長教授）、大久保達也（東京大学理事・副学長教授）、柳澤好治（文部科学省研究振興局大学研究基盤整備課長）、ジェーン・ナカノ（戦略国際問題研究所（米国） シニアフェロー）、白井俊行（経済産業省資源エネルギー庁長官官房国際課長）、加藤淳（外務省国際協力局気候変動課長）、ピーター・ロバーツ（在日オーストラリア大使館首席公使）、ディディエ・マルティ＝ドシュ（在日フランス大使館科学技術参事官）、西村元彦（川崎重工業(株)専務執行役員、エネルギーソリューション&マリンカンパニープレジデント）、テュン・キム（国際エネルギー機関 IEA ）、近藤重人（日本エネルギー経済研究所中東研究センター 主任研究員）、佐藤康司（ENEOS 株式会社執行役員 中央技術研究所長）、池内恵（東京大学先端	対面	131	101
----------------	--	---	----	-----	-----

		科学技術研究センター 教授)			
--	--	----------------	--	--	--

国内向け公開イベント

研究会「『西側』の論理の検証と再構築」では、国内向けに公開ウェビナー「ウクライナ軍事侵攻の行方ー「西側の論理」」を以下の要領で開催した。

開催日時： 2024 年 2 月 24 日（土） 14：00－16：00

形式：オンライン（ZOOM ウェビナー）

登壇者：岩間陽子・政策研究大学院大学教授

東野篤子・筑波大学教授

鶴岡路人・慶應義塾大学准教授

合六強・二松学舎大学准教授

細谷雄一（司会）・慶應義塾大学教授

視聴者： 482 名（登録者は 544 名）

概要：別添資料参照

ROLES メンバーのメディア出演実績

※ROLES 所属の教授・准教授・助教・研究員によるメディア出演実績は以下のとおり。

なお、ROLES は発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」及び「国際理念と秩序の潮流 日本の安全保障戦略の課題」も実施しているが、事業別に出演実績を切り分けることは困難なため、上記 2 事業の実績報告書にも同様に記載している。

1. テレビ番組等

①池内恵 教授

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/11/8	BS テレ東	アメリカの説得も聞く耳持たず イスラエルはなぜ強硬なのか？ 【日経プラス 9】（2023 年 11 月 8 日）
2023/11/11	BS テレ東	日経プラス 9 サタデー ニュースの疑問
2023/12/8	ZATSUDAN	池内恵氏×堀江貴文氏 ZATSUDAN Special

②小泉悠 准教授

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/4/5	BS フジ	プライムニュース▼欧米との対決強化へ 露の新外交指針を森本 & 小泉が分析＜後編＞
2023/4/5	BS フジ	プライムニュース▼欧米との対決強化へ 露の新外交指針を森本 & 小泉が分析＜前編＞
2023/4/6	BS 日テレ	【プーチン氏“戦術核配備”協議か】ウクライナ軍「ミグ 29」ど う使う？反転攻勢シナリオ…軍事ブロガー“爆死”事件の背景に何 が？【深層 NEWS】
2023/4/9	テレ朝 NEWS	【フィンランド NATO 加盟】安保環境の激変に“戦術核”対口抑止 は？◆日曜スクープ◆（テキストアーカイブ）
2023/4/9	BS 朝日	日曜スクープ▼ロシア軍“バフムト攻撃”継続するも弾薬・人員の 制約は…攻勢どこまで？ウクライナは反転攻勢の準備か▽NATO 拡大…フィンランド正式加盟、ロシア警告の「対抗措置」は!? (出演)

2023/4/12	TBS	米“機密文書”流出／ウクライナ反転攻勢への影響は・・・【4月12日（水）#報道 1930】
2023/4/19	TBS	“素顔”撮り続けた監督が語る「国民は進んで人質になった」【4月19日（水）#報道 1930】
2023/4/20	ニッポン放送	飯田浩司の OK!Cozy up!▼2023 年 4 月 20 日（木）コメンテーター：飯田泰之・小泉悠
2023/4/21	広島テレビ	【インタビュー】「核の威嚇と G7 広島サミット」小泉悠氏に聞く
2023/4/26	TBS	プーチン氏暗殺恐れ地下壕に？ロシアのテロ組織 実行犯の証言【4月26日（水）#報道 1930】
2023/4/26	NHK	NHK ジャーナル▼【核兵器を考える】第2回出演
2023/4/28	BS フジ	プライムニュース▼ウクライナ軍が活発化か？兵頭×小泉が戦局を徹底分析＜前編＞
2023/4/28	BS フジ	プライムニュース▼ウクライナ軍が活発化か？兵頭×小泉が戦局を徹底分析＜後編＞
2023/5/3	日テレ	news zero▼ロシア大統領府に無人機攻撃か 誰が実行？ 自作自演？ 小泉悠さん「かなり大きな展開が起きそうな局面を我々は見ている」
2023/5/4	テレビ朝日	グッド！モーニング▼ロシア大統領府に無人機攻撃か ウクライナは関与否定 “2つの不可解な点”指摘も【もっと知りたい！】
2023/5/4	BS フジ	プライムニュース▼プーチン暗殺未遂？クレムリンに無人機攻撃 小泉悠 x 岩田清文＜前編＞
2023/5/4	BS フジ	プライムニュース▼プーチン暗殺未遂？クレムリンに無人機攻撃 小泉悠 x 岩田清文＜後編＞
2023/5/5	TBS	“自作自演”か“ロシア反体制派”か“ウクライナ”か ロシア大統領府「クレムリン」ドローン攻撃 映像から浮かび上がる様々な疑問【news23】
2023/5/9	BS フジ	プライムニュース▼高橋杉雄×小泉悠がプーチン演説と軍事パレードを分析＜前編＞
2023/5/9	BS フジ	プライムニュース▼高橋杉雄×小泉悠がプーチン演説と軍事パレードを分析＜後編＞

2023/5/12	BS 日テレ	【小泉悠が分析！ウクライナ反転攻勢】英国長距離ミサイル「ストームシャドー」供与の狙いは？ 独自取材南部ザポリージャ州ロシア軍“大規模強奪”【深層 NEWS】
2023/5/12	読売テレビ	【ヨコスカ解説】苦しい露軍の実情は？ウ軍の反転攻勢は？G7で日本は世界を核軍縮に導ける？ロシア軍事に詳しい小泉悠氏に直撃！
2023/5/14	TBS	【報道 1930SP】G7元高官らが証言/世界はプーチン氏をなぜ止められなかった【5月14日（日）#報道 1930】
2023/5/14	テレ朝 NEWS	【プリゴジン氏が国防幹部を痛罵】政治的野心に“内紛”混迷の火種は◆日曜スクープ◆(2023年5月14日)
2023/5/15	TBS	激戦地バフムト ウクライナ軍が一転攻勢に 戦場の原発「最悪のシナリオ」とは？【5月15日（月）#報道 1930】
2023/5/18	BS 日テレ	深層 NEWS▽ウクライナ反転攻勢に向けた空をめぐる攻防▽高橋杉雄×小泉悠が分析（出演）
2023/5/21	テレ朝 NEWS	【G7 広島に電撃出席】対ロ反撃で“首脳会談”ゼレンスキー氏の思惑◆日曜スクープ◆(2023年5月21日)
2023/5/23	BS フジ	BS フジプライムニュース▼【越境攻撃？】小泉悠 徹底分析 ウクライナ最新戦況【F-16 供与】
2023/5/31	TBS	なぜ？モスクワ“ドローン攻撃”「決定は下された」反転攻勢を深読み【5月31日（水）#報道 1930】
2023/6/3	ABEMA TIMES	モスクワへのドローン攻撃 小泉悠氏「もっと激しくなる可能性も」ウクライナの反転攻勢との関連を分析
2023/6/6	BS フジ	プライムニュース▼【ヘルソン州ダム破壊】小泉悠 x 東野篤子 x 山下裕貴元陸将 ウクライナ最新戦況 徹底分析【ザポリージャ原発冷却に影響も】＜前編＞
2023/6/6	BS フジ	プライムニュース▼【Xデーは】小泉悠 x 東野篤子 x 山下裕貴元陸将 ウクライナ反転攻勢の道筋＜後編＞
2023/6/7	日本テレビ	news zero▼【ウクライナ「ダム攻撃」…誰が？目的は？】（出演）
2023/6/8	BS 日テレ	【小泉悠×渡部悦和】ウクライナ反転攻勢開始か南東部トクマクで攻勢・・・ダム決壊“渡河映像”情報戦激しく【深層 NEWS】

2023/6/13	TBS	反転攻勢 当面の目標どこに？ウクライナ軍が抱える“弱点” 元米特殊部隊の証言【6月13日（火）#報道1930】
2023/6/14	BS フジ	プライムニュース▼【トランプ前大統領が無罪主張】機密文書裁判の行方とアメリカ大統領選への影響＜前編＞
2023/6/14	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠徹底解説】小泉悠 x 岡部芳彦 ウクライナ最新戦況 ワグネルと国防相の確執 反プーチン勢力の実情は＜後編＞
2023/6/21	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠徹底分析】小泉悠 x 東野篤子 ウクライナ最新戦況 徹底分析【ロシア航空戦力にウクライナ苦戦】＜前編＞
2023/6/21	BS フジ	プライムニュース▼【NATO が空軍演習】小泉悠 x 東野篤子 ウクライナ最新戦況 徹底分析【NATO の対応は】＜後編＞
2023/6/26	BS 日テレ	【小泉悠 x 東野篤子】プリゴジン氏“武装蜂起”の真相とプーチン氏が「暗殺指令」？独自取材「東部戦線」反乱影響で新戦戦【深層NEWS】
2023/6/26	テレビ朝日	報道ステーション▼“ワグネルの反乱” 創設者のプリゴジン氏は消息不明 何が起きている？
2023/6/26	読売新聞オンライン	〔深層NEWS〕ワグネルの反乱、プーチン氏が「後で突き落とす可能性」…小泉悠氏
2023/6/27	TBS	大統領と反逆者 2人の言葉 プリゴジンの乱 その後は？【6月27日（火）#報道1930】
2023/7/2	NHK	ワグネル反乱 変貌するロシア軍 - NHK スペシャル
2023/7/5	BS 日テレ	【小泉悠 x 高橋杉雄】東部戦線にロシア軍 18 万人以上投入…独自取材ウクライナ軍反転攻勢“最前線”ロシア新突撃部隊も【深層NEWS】
2023/7/7	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 高橋杉雄が緊急解説】ウクライナ射程 160km アメリカ製ミサイル「パトリオット」でロシア領攻撃か＜前編＞
2023/7/7	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 高橋杉雄が徹底分析】ウクライナ最新戦況 反攻 1 ヶ月 今後の焦点は＜後編＞

2023/7/11	TBS	衛星写真から読み解く／戦車大增産 ロシア攻めに転じる可能性は 【7月11日（火）#報道1930】
2023/7/13	TBS	ひるおび(出演)
2023/7/14	BS 日テレ	【小泉悠×高橋杉雄×岡部芳彦】ロシア軍少将解任でまた混乱… 独自取材ウクライナ元高官「反転攻勢の戦略」捕虜収容所ロシア 兵“告白”【深層NEWS】
2023/7/17	TBS	プリゴジン氏にC I A… ウクライナ戦争 今後の“キーマン”【7月 17日（月）#報道1930】
2023/7/17	テレ朝 NEWS	グッド！モーニング▼死亡説も出るなか…プリゴジン氏“健在”写 真投稿 専門家が指摘する2つの可能性【知っておきたい！】
2023/7/18	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 高橋杉雄解説】9ヶ月ぶり クリミ ア橋を水上ドローンで爆破 小泉悠 x 高橋杉雄 ウクライナ最新戦 況【ロシアも自爆型ドローンで報復攻撃】＜前編＞
2023/7/18	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 高橋杉雄緊急解説】食糧を武器化 に？ウクライナ穀物輸出合意停止の影響 ロシアの思惑とは 小泉 悠 x 高橋杉雄 【小麦価格上昇】＜後編＞
2023/7/19	NHK	国際報道2023 OSINTで戦争を読み解く 軍事専門家・ 小泉悠氏
2023/7/19	NHK	国際報道2023▼【動画】ロシア軍の実態に最新の調査手法で迫る 小泉悠氏
2023/7/21	NHK	ニュースウォッチ9▼▽物価高さがさまざまな影響・夏の風物詩にも変 化？▽新型コロナ（出演）
2023/7/23	BS 朝日	【ロシア穀物合意離脱】食糧人質の強硬“黒海封鎖”制裁解除の思 惑は◆日曜スクープ◆(2023年7月23日)
2023/7/23	読売テレビ	そこまで言って委員会 NP▼AIの是非から最新兵器、火星移住に ついてまで！各分野の理系スペシャリストたちを緊急招集し、お なじみのメンバーと共に最先端技術の功罪を徹底分析＆徹底討 論！
2023/7/25	TBS RADIO	【音声配信】「ロシア軍の軍事侵攻から1年5か月。 ウクライナ 戦争の行方はどうなるのか」ゲスト：小泉悠さん▼2023年7月 25日（火）放送分

2023/7/26	TBS	小麦豊作のロシア…プーチン氏の思惑 “食料危機”で変わる各国の回避戦略【7月26日（水）#報道 1930】
2023/8/2	TBS	ロシア政治は8月に荒れる…プーチン氏が恐れる国民の“武装化”とは【8月2日（水）#報道 1930】
2023/8/9	TBS	長崎原爆の日に考える核 廃絶はできないのか…“核抑止論”の是非【8月9日（水）#報道 1930】
2023/8/11	BS 日テレ	【小泉悠×山下裕貴×安田菜津紀】ウクライナ軍“苦戦”の理由？独自取材「おとり地雷」ロシア防衛線の実態…連日のモスクワ攻撃ドローン攻防が激化【深層 NEWS】
2023/8/15	NHK	NHK スペシャル「Z世代と“戦争”」
2023/8/21	BS 日テレ	【小泉悠×兵頭慎治】スウェーデン戦闘機「グリペン」ウクライナ供与へ協議開始…独自取材！ウクライナ軍「長距離ミサイル」秋に在庫切れ危機【深層 NEWS】
2023/8/23	BS フジ	プライムニュース▼侵攻1年半…露の誤算 河東&小泉が徹底総括 プーチン最新演説分析
2023/8/23	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×河東哲夫が分析】南部で進軍 スロビキン氏解任 ウクライナ最新戦況 2023/8/23 放送＜前編＞
2023/8/23	BS フジ	プライムニュース▼【ロシアが北朝鮮から武器購入？】小泉悠×河東哲夫が分析 兵器をめぐるウクライナ軍とロシア軍 2023/8/23 放送＜後編＞
2023/8/24	NHK	ニュースウォッチ▼プリゴジン氏死亡情報侵攻1年半ウクライナ小泉悠氏が徹底分析▽福島の見続けてきた漁業者は処理水放出に（出演）
2023/8/27	テレ朝 NEWS	【プリゴジン氏の搭乗機墜落】政敵粛清に“暗殺説”プーチン氏関与は◆日曜スクープ◆(2023年8月27日)
2023/8/27	テレ朝 NEWS	【ザポリージャ南部の拠点到達】防衛線突破で“膠着打開”南下に加速◆日曜スクープ◆(2023年8月27日)
2023/8/27	テレ朝 NEWS	【軍需経済化でルーブル安】原油制裁で“財政圧迫”疲弊経済の構図は◆日曜スクープ◆(2023年8月27日)
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×長島純】ロシアがアフリカ接近？背景は【徹底分析】 2023/8/31 放送＜前編＞

2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 長島純】NATO「北方拡大」でロシアは【スウェーデン・フィンランド】2023/8/31 放送＜後編＞
2023/8/31	ニッポン放送	飯田浩司の OK!Cozy up! ▼2023 年 8 月 31 日（木）W コメントーター：峯村健司、小泉悠
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 長島純】ロシアがアフリカ接近？背景は【徹底分析】 2023/8/31 放送＜前編＞
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠 x 長島純】NATO「北方拡大」でロシアは【スウェーデン・フィンランド】2023/8/31 放送＜後編＞
2023/9/1	BS 日テレ	【ワグネルの今後は】プリゴジン氏の後継者は「優秀な軍人」…プーチン大統領との関係は エリザロフ氏の素顔を徹底分析【深層 NEWS】
2023/9/4	BS フジ	プライムニュース▼【今がウクライナに戦機？】小泉悠×岩田清文 南部戦線突破口 最新戦況 徹底解説 【主力同士の戦いへ？】2023/9/4 放送＜前編＞
2023/9/4	BS フジ	プライムニュース▼【ロシアに余力なし？】小泉悠×岩田清文 ロシア「大規模軍事演習演習」中止か【ザーパド 2023】2023/9/4 放送＜後編＞
2023/9/7	TBS	なぜ今？米務長官のキーウ訪問／最前線の兵士証言 ウクライナ反転攻勢の新段階【9 月 7 日（木）#報道 1930】
2023/9/13	テレビ朝日	報道ステーション▼【4 年ぶり 2 度目の #露朝首脳会談 “蜜月”を誇示】（出演）
2023/9/13	テレビ朝日	【報ステ解説】「兵器以外に“労働力”も」プーチン氏自ら歓待“厚遇”の狙い
2023/9/14	TBS	「誤射」相次ぐロシア軍 何が？ 米英ウ極秘会談 新たな反攻作戦とは【9 月 14 日（木）#報道 1930】
2023/9/18	BS フジ	【砲弾足りない？】小泉悠×岩田清文 ロシア望む「北朝鮮兵器」徹底分析 2023/9/18 放送＜前編＞
2023/9/18	BS フジ	【バフムト集落次々奪還】小泉悠×岩田清文 ウクライナ最新戦況【第 72 自動車化狙撃旅団を完全に破壊】 2023/9/18 放送＜後編＞

2023/9/20	TBS	プーチン氏「高支持率」の裏で…"終身独裁"か？"ポスト・プーチン"到来か？【9月20日（水）#報道1930】
2023/9/21	BS フジ	プライムニュース▼【ロシア黒海艦隊司令部を攻撃】小泉悠×鶴岡路人×名越健郎 ウクライナ最新戦況 徹底分析【南部戦線に影響？】 2023/9/21 放送＜前編＞
2023/9/21	BS フジ	プライムニュース▼【ポーランド武器供与停止を表明】小泉悠×鶴岡路人×名越健郎 西側陣営のウクライナ支援と連携に亀裂？ 2023/9/21 放送＜後編＞
2023/10/2	BS フジ	プライムニュース▼【トクマク正面 攻防の現状は】小泉悠×岩田清文×小谷哲男 ウクライナ最新戦況 2023/10/2 放送＜前編＞
2023/10/2	BS フジ	プライムニュース▼【日本はどこまで踏み込める？】小泉悠×岩田清文×小谷哲男 ウクライナが各国と武器共同生産 2023/10/2 放送＜後編＞
2023/10/3	BS 日テレ	深層NEWS▽ウクライナ反転攻勢を“軍事地理学”で独自分析！ 山下裕貴×小泉悠
2023/10/3	読売新聞オンライン	〔深層NEWS〕ウクライナ軍の反転攻勢進まなくても「支援する国は忍耐を」…小泉悠氏
2023/10/6	TBS	砲身不足は消耗？ウ軍の作戦？「10月決戦」ロシア軍内部で何が？【10月6日（金）#報道1930】
2023/10/8	テレ朝 NEWS	【プーチン氏が核戦力誇示】核搭載ミサイル“量産化”脅威で欧米牽制◆日曜スクープ◆(2023年10月8日)
2023/10/8	テレ朝 NEWS	【特殊部隊クリミア上陸】黒海艦隊は“本土避難”後退ロシアの防御は◆日曜スクープ◆(2023年10月8日)
2023/10/11	BS フジ	プライムニュース▼プーチン"誤算"のルーツ 「独ソ戦」に見る決断と失敗（出演）
2023/10/11	BS フジ	【ロシアが偽情報を拡散？】小泉悠×河西陽平 緊迫の中東最新情勢 2023/10/11 放送＜前編＞
2023/10/11	BS フジ	【ちゃんとした情報が集まらない？】小泉悠×河西陽平 プーチン“誤算”のルーツ 2023/10/11 放送＜後編＞
2023/10/13	BS11	報道ライブ インサイド OUT 「なぜ侵攻されたのか？！ ウクライナと核」

2023/10/13	BS11	【ウクライナと核】侵攻は9年前に始まった ゲスト：小泉 悠 (東京大学先端科学技術研究センター 専任講師) VTR 出演：マ リアナ・ブジェリン (ハーバード大学上席研究員) 10月13日 (金) インサイド OUT
2023/10/13	BS 日テレ	【小泉悠×岩田清文】「数日中に重要作戦」地上戦へ…イスラエ ル軍侵攻シナリオは？ガザ地区に張り巡らされた“地下トンネル” に苦戦か「110万人退避」緊迫の現地は【深層 NEWS】
2023/10/13	読売新聞オン ライン	[深層NEWS] イスラエル軍地上戦なら「これまでにない規模 の民間人の犠牲が出る」…小泉悠氏
2023/10/18	TBS	バイデン大統領がイスラエルに…イランの関与は？元司令官「準 備はできている」 【10月18日(火) #報道1930】
2023/10/20	飯田浩司の OK!Cozy up!	2023年10月20日(金) コメンテーター：峯村健司 小泉悠
2023/10/24	BS フジ	【小泉悠徹底分析】ウクライナ 中東 最新情勢 鈴木一人×小泉悠 2023/10/24 放送<前編>
2023/10/24	BS フジ	【民間人に対するいかなる暴力も！？】小泉悠×鈴木一人 プーチ ン中東戦略 徹底検証 2023/10/24 放送<後編>
2023/10/26	TBS	人質数日中に解放？交渉の行方は／ガザ攻撃の衛星写真から見え たこと 【10月26日(木) #報道1930】
2023/10/29	NHK ラジオ第 1	著者からの手紙『終わらない戦争(文春新書)』小泉悠
2023/10/31	読売新聞オン ライン	[深層NEWS] ロシアの攻勢は「有権者への最低限の言い訳に なるとの思惑か」…小泉悠氏
2023/10/31	BS 日テレ	【小泉悠×山下裕貴】ウクライナ東部アウディーイウカめぐる攻 防“欧州最大”工場がカギに…ウクライナ“防衛部隊”を独自取材【深 層 NEWS】
2023/11/1	TBS ラジオ	『荻上チキ・Session』 11月1日(水)
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼ 『反撃狙うロシアの標的 中東紛争が起こ す誤算 兵頭慎治 小泉悠 松田拓也』

2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【精鋭部隊がアウディイウカ意図は】ウクライナ最新戦況 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 【第 47 機械化旅団】 2023/11/7 放送＜前編＞
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【最後の 3 億ドル？】米政府 ウクライナ追加支援の今後は 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 2023/11/7 放送＜後編＞
2023/11/8	TBS	ウクライナ総司令官が…/「膠着続けば敗戦も…」【11 月 8 日（水）#報道 1930】
2023/11/10	読売新聞オンライン	〔深層NEWS〕ウクライナ軍の反転攻勢「特定の兵器があれば勝てるわけではない」…小泉悠氏
2023/11/10	BS 日テレ	【小泉悠×松村五郎】ロシア元大佐が“危機感”ウクライナ装甲車が渡河作戦成功「無人機量産」で大規模攻撃計画も…プーチン氏露大統領選へ思惑は？【深層 NEWS】
2023/11/12	NHK	日曜討論▼ガザ危機 国際社会は 日本は（鈴木一人、小泉悠）
2023/11/16	TBS	ロ軍 大規模インフラ攻撃か/ウクライナ軍 「冬の反転攻勢」どう戦うのか【11 月 16 日（木）#報道 1930】
2023/11/19	テレ朝 NEWS	【ガザ最大病院突入】院内制圧で“ハマス拠点主張”人質解放の協議は◆日曜スクープ◆(2023 年 11 月 19 日)
2023/11/19	テレ朝 NEWS	【渡河成功で橋頭堡を構築】南部で前進“反攻加速”膠着打開のカギは◆日曜スクープ◆(2023 年 11 月 19 日)
2023/11/22	NHK	ニュースウォッチ 9▽ガザ・人質解放か▽北朝鮮衛星予告期間前に異例の打ち上げ
2023/11/22	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×熊倉潤 徹底解剖】プーチン&習近平の“独裁像”【カレンダーからみえるカリスマ性？】2023/11/22 放送＜前編＞
2023/11/22	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×熊倉潤 徹底分析】中露連携で目指す世界 【“独裁者”に囲まれた日本の備えは】 2023/11/22 放送＜後編＞
2023/11/24	NHK	N H K ニュース 7 人質解放・戦闘休止 履行の遅れはなぜ？
2023/11/29	TBS	ロシアが画策 それとも…/政権転覆作戦「マイダン 3」とは… 【11 月 29 日（水）#報道 1930 】

2023/11/30	BS フジ	【小泉悠×平岩俊司】ロシア北朝鮮 接近の脅威を検証【偵察衛星「万里鏡1号」の実力は】2023/11/30 放送<前編>
2023/11/30	BS フジ	【小泉悠徹底解説】ウクライナ最新戦況 【マイナス40度までなら戦闘できる？】2023/11/30 放送
2023/12/3	テレ朝 NEWS	【死傷率が侵攻後最高】ロシア軍損失顧みず“突撃作戦”戦術の背景は◆日曜スクープ◆(2023年12月3日)
2023/12/5	テレ朝 NEWS	ロシア軍“侵攻後最多の死傷者” 犠牲をいとわぬ人海戦術の脅威と思惑
2023/12/11	TBS	ウクライナ大統領 vs 総司令官 深まる溝の一方で… “懇願”されてプーチン氏「出馬宣言」の“茶番”【12月11日(月) #報道1930】
2023/12/13	TBS ラジオ	荻上チキ・Session 特集「プーチン政権によるウクライナ侵攻、2023年の情勢の変化と今後」
2023/12/14	飯田浩司の OK!Cozy up!	2023年12月14日(木) Wコメンテーター 峯村健司、小泉悠
2023/12/18	TBS	ウクライナの連れ去り少年まで/戦場に人を送り込む”ロシアの手口”【12月18日(月) #報道1930】
2023/12/19	テレ朝 NEWS	ロシアのアクロバット機 日本海飛来 記念撮影が目的？ 専門家も「不可解な行動」【グッド！モーニング】(2023年12月19日)
2023/12/22	BS 日テレ	【小泉悠×兵頭慎治】プーチン氏語った2024年戦い「4つの優先課題」露兵器生産能力衰えないワケ…最前線部隊を独自取材、指揮官「砲弾不足」訴え…ウクライナ軍“勝敗”シミュレーション【深層NEWS】
2023/12/24	BS 朝日	日曜スクープ 拡大4時間 SP～世界を分断“2つの戦争”の行方～
2023/12/25	BS フジ	プライムニュースデラックス▼岸田政権、世界の紛争、習政権3期目 2023年を徹底総括
2023/12/26	TBS	ウクライナ戦争の現在地／プーチン氏が“停戦に関心”その狙いは【12月26日(火) #報道1930】
2023/12/30	TBS	報道の日2023 ～対立する世界～ 戦争×格差×マネー(出演)

2024/1/12	BS 日テレ	【ロシア軍が北朝鮮製ミサイル使用か…近く大規模地上作戦？“飽和攻撃”の狙いウクライナ軍“報復”今後は】小泉悠×兵頭慎治【深層 NEWS】
2024/1/15	TBS	ミサイルの性能実験を「ロシア軍代行」？ 深まる北朝鮮とロシアの連携【1月15日(月) #報道 1930】
2024/1/16	飯田浩司の OK!Cozy up!	2024年1月16日(火) コメンテーター：小泉悠
2024/1/17	NHK	ニュースウォッチ9▼【解説】ロシアと北朝鮮 接近の理由は 小泉悠准教授に聞く
2024/1/22	TBS	オホーツク海のロシアの核は… / ウクライナを敗北させない“プランB”【1月22日(月) #報道 1930】
2024/1/28	テレ朝 NEWS	【ウクライナ戦略守勢に転換か】防衛機軸に戦力回復“反転攻勢”武器供与で難局打開は【日曜スクープ】(2024年1月28日)
2024/1/29	TBS	プーチン氏と共鳴？トランプ氏 すでに影響も…【1月29日(月) #報道 1930】
2024/1/30	BS フジ	プライムニュース▼ロシア軍機墜落の真相は？米支援が見通せない中でのウ軍の戦略は？ロシア大統領選が迫る中で、両国の今後を小泉悠氏と兵頭慎治氏が徹底分析する。
2024/1/31	飯田浩司の OK!Cozy up!	飯田浩司の OK! Cozy up ! 2024年1月31日(水) コメンテーター:峯村健司、小泉悠
2024/2/2	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×日本のホワイトハッカー第一人者】「OSINT」は戦争をどう変えたのか 2024/02/02 放送
2024/2/4	BS フジ	プライムサロン(出演)
2024/2/7	TBS	画像を認識して突っ込む「ロシアはAIドローンを作っている」【2月7日(水) #報道 1930】
2024/2/9	日テレ	【深層NEWS】岩田清文×小泉悠 ゼレンスキー大統領がザルジニー総司令官の解任を発表。両氏が“笑顔で握手”円満交代アピールの狙いは。ウクライナ侵攻2年で軍指導部刷新表明。前線兵士の士気に影響は。
2024/2/13	BS フジ	【カールソン氏がプーチン氏独占取材】小泉悠×駒木明義 徹底分析 2024/2/13 放送<前編>

2024/2/13	BS フジ	【プーチン氏の選挙戦略】恐怖政治と東アジアへの影響は？ 小泉悠×駒木明義 徹底分析 2024/2/13 放送＜後編＞
2024/2/19	NHK	NHK ジャーナル◆特集 ウクライナ公共放送幹部が語る 戦時下の放送
2024/2/23	BS11	報道ライブインサイド OUT▼【ウクライナ侵攻から2年】今後の展望は？ゲスト：廣瀬陽子（慶應義塾大学教授）小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）倉井高志（元ウクライナ大使）
2024/2/23	TBS	ロシアとウクライナ要人に直撃取材／ウクライナ侵攻から2年 世界の今と今後 【2月23日(金) #報道1930】
2024/2/24	NHK	NHK NEWS▼【詳細】ウクライナへの軍事侵攻から2年 各地の動きは
2024/2/25	NHK	日曜討論▼ウクライナ侵攻2年 揺らぐ世界 戦争終結は
2024/2/26	BS フジ	プライムニュース▼【露ウ戦争3年目突入】この2年の戦況/政治的転機を徹底分析 兵頭慎治×小泉悠 2024/2/26 放送＜前編＞
2024/2/26	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×兵頭慎治 徹底分析】ウクライナ支援停滞のリスクとは？ 2024/2/26 放送＜後編＞
2024/2/27	TBS ラジオ	荻上チキ・Session▼特集「小泉悠さんと考える。ロシアによるウクライナ侵攻から2年の現状と展望」
2024/2/29	TBS	報道1930▼総理政倫審で何を語る▼ロ軍関係者に闇で販売、米衛星通信の密輸実態
2024/2/29	TBS	プーチン氏「年次教書」何語る？ なぜ？米「スターリンク」ロ軍が活用 【2月29日（木）#報道1930】
2024/3/1	NHK	ロシア ウクライナ侵攻 プーチン氏の戦争さらに長期化？小泉悠氏がわかりやすく解説 キーウ再侵攻は？ 日本どう対応
2024/3/5	飯田浩司の OK!Cozy up!	飯田浩司の OK! Cozy up！ 2024年3月5日（火）コメンテーター:小泉悠
2024/3/6	NHK	2024年2月25日放送「ウクライナ侵攻2年 揺らぐ世界 戦争終結は」（前半）
2024/3/6	NHK	2024年2月25日放送「ウクライナ侵攻2年 揺らぐ世界 戦争終結は」（後半）

2024/3/12	BS 日テレ	【深層 NEWS】衛星画像で見るウクライナ軍「防衛線」積極的防衛の現状分析▽東部完全制圧狙う露新戦術、改良型「滑空誘導弾」犠牲いとわぬ「人海戦術」▽プーチン氏「核のシナリオ」改良型ツポレフ 160M
2024/3/18	TBS	プーチン氏圧勝の裏側で何が 監視団体「信用できない選挙」不正の手口は… 【3月18日(月) #報道 1930】
2024/3/18	NHK	ニュースウォッチ9▽ロシア一方的併合10年クリミア半島の今▽子どもの睡眠不足
2024/3/19	BS フジ	プライムニュース▼【プーチン圧勝】ウクライナ戦況への影響と各国の思惑 杉山晋輔×小泉悠 2024/3/19 放送＜前編＞
2024/3/19	BS フジ	プライムニュース▼【もしトラとプーチン】中国・北朝鮮との連携と対日戦略は？ 杉山晋輔×小泉悠 2024/3/19 放送＜後編＞
2024/3/21	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×福田充】戦時に交錯するデマにどう対応？【ロシアが放つデマの脅威とは】 2024/3/21 放送＜前編＞
2024/3/21	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×福田充】事実より真実が上回る？ SNS との上手な付き合い方とは 2024/3/21 放送＜後編＞
2024/3/25	NHK	【動画】小泉悠准教授の分析 ロシアの核実験場に動き プーチン大統領の戦略的な核兵器による威嚇とは？
2024/3/27	BS フジ	プライムニュース▼【ロシアはテロに弱い？】IS テロ ロシアが抱える多正面リスク 高田克樹×小泉悠×黒井文太郎 2024/3/27 放送＜前編＞
2024/3/27	BS フジ	プライムニュース▼【高田克樹×小泉悠×黒井文太郎】火力に見る ウクライナ劣勢のワケ 2024/3/27 放送＜後編＞
2024/3/28	日テレ	【深層 NEWS】モスクワ銃乱射テロ、小泉悠×青木健太の徹底分析。実行犯タジク国籍の背景。諜報機関が兆候見逃しなぜ？▽プーチン政権「対テロ戦争」の歴史▽プーチン政権「侵攻」と「テロ対策」二正面

③山口亮 特任助教

日付	媒体	番組名・タイトル等
----	----	-----------

2023/4/4	テレビ朝日	大下容子ワイド！スクランブル(出演)
2023/4/6	読売テレビ	【ヨコスカ解説】蔡総統が米・下院議長と会談、一方習国家主席は仏・マクロン大統領を招待…背景にある中国の“怒り”と“焦り”
2023/4/13	読売テレビ	【ヨコスカ解説】驚異の早さで進む北朝鮮のミサイル開発…その裏には金正恩総書記が恐れる“斬首作戦” Jアラート“訂正”日本は大丈夫？
2023/4/13	テレビ朝日	【報ステ】新型“発射失敗”？北朝鮮ミサイル「レーダーから消失」 Jアラートで混乱も
2023/4/27	読売テレビ	かんさい情報ネット ten
2023/4/29	読売テレビ	ウェークアップ▼米韓ワシントン宣言と北朝鮮の核戦力&軍事偵察衛星について
2023/5/25	読売テレビ	【ヨコスカ解説】ロシア首相が中国訪問で西側諸国と深まる対立…日本はどうする？NATO との悩ましい距離感
2023/5/29	読売テレビ	【報ステ解説】「ルール守ってるアピールか」狙いは？北朝鮮“衛星ロケット”発射通告(2023 年 5 月 29 日)
2023/7/27	読売テレビ	【ヨコスカ解説】朝鮮戦争休戦 70 年 似て非なる“戦争”だが共通点も…ロシアによるウクライナ軍事侵攻に投げかける教訓とは
2023/7/28	NHK	ニュースウオッチ 9 ▼北朝鮮 軍事パレードの映像公開 軍力と中朝 3 か国結束誇示
2023/8/18	読売テレビ	【ヨコスカ解説】数々の歴史的合意がなされた、重要外交の舞台「キャンプ・デービッド」いま会談のワケと日米韓が抱く脅威
2023/8/21	NHK	NHK ニュース 7 ▼あす関係閣僚会議開催 処理水放出時期判断へ
2023/8/24	読売テレビ	読売テレビ かんさい情報ネット ten (出演)
2023/9/15	読売テレビ	【ヨコスカ解説】プーチン大統領が金総書記に桁違いの「おもてなし」友好ムードの露朝会談、映像からみる両国の狙い
2023/10/1	NHK	デジタル・アイ 北朝鮮 独裁国家の隠された“リアル” - BS1 スペシャル
2023/11/22	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！ Zip！ 「北朝鮮の軍事偵察衛星」
2023/11/22	テレビ朝日	【報ステ解説】「目的は“ミサイルの目”」追加発射も宣言…北朝鮮“偵察衛星”成否は(2023 年 11 月 22 日)

2023/11/23	テレ朝 News	【報ステ解説】「目的は“ミサイルの目”」追加発射も宣言…北朝鮮“偵察衛星”成否は
2023/11/24	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！Zip！ 「北朝鮮の軍事偵察衛星」
2023/11/27	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！Zip！ 「北朝鮮の軍事偵察衛星」
2023/12/12	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！Zip！ 「中国の海洋戦略」
2023/12/13	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！Zip！ 「台湾総統選挙と中国の動き」
2023/12/18	読売テレビ	朝生ワイド す・またん！Zip！ 「北朝鮮のミサイル発射について」
2024/2/9	読売テレビ	【ヨコスカ解説】統一路線を完全に転換か？韓国ドラマを見て「公開裁判」重労働 12 年の刑 国民は飢餓に苦しむ一方ハッカー養成等で外貨獲得に没頭
2024/3/7	NHK	NHK 国際ニュースナビ▼北朝鮮ミサイル なぜ発射？「多様化」のねらいは【3 月 7 日版】

④豊田耕平 連携研究員

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/5/16	テレビ朝日	「大下容子ワイド！スクランブル」（VTR 出演）
2023/10/15	フジテレビ	日曜報道 The Prime

⑤松田拓也 特任研究員

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/10/28	NHK	サタデーウオッチ 9▼アメリカのイスラエル情勢への対応などについて（映像出演）
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【精鋭部隊がアウディイウカ意図は】ウクライナ最新戦況 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 【第 47 機械化旅団】2023/11/7 放送＜前編＞
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【最後の 3 億ドル？】米政府 ウクライナ追加支援の今後は 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 2023/11/7 放送＜後編＞

2.新聞・雑誌等

①池内恵 教授

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/5/8	政策シンクタンク PHP 総研	歴史的転換点の日本外交：「多極世界」の誘惑に揺れる中東 – 『Voice』 2023 年 6 月号特集 –
2023/6/1	スカイニュース アラビア	شرق آسيا وتعدد الأقطاب وأمن العالم... في حوار مع البروفيسور ساتوشي إكي أوتشي
2023/6/12	外務省	外交専門誌『外交』Vol.79 「イラク戦争から 20 年の中東」
2023/6/12	スカイニュース アラビア	شرق آسيا وتعدد الأقطاب وأمن العالم.. في حوار مع البروفيسور ساتوشي إكي أوتشي #برنامج_مواجهة
2023/7/22	Foresight	世界の中でその地位を転じ続ける中東の姿を見続ける 池内恵の中東通信（会員記事）
2023/7/22	Foresight	非国家主体から国家主体へ 池内恵の中東通信（会員記事）
2023/7/22	Foresight	「脱エスカレーション（de-escalation）」が現在の中東政治のトレンド・キーワード 池内恵の中東通信（会員記事）
2023/8/3	The Jerusalem Post	How do Israel-Japan ties impact the Jewish state in the Middle East?
2023/9/24	dikGAZETE.com	Türkiye, Çin ve Japonya ilişkilerinin tarihi İstanbul'da düzenlenen konferansta konuşuldu （英タイトル：The history of Türkiye, China and Japan relations was discussed at the conference held in Istanbul）
2023/10/8	Foresight	イスタンブールからイスラエル・ガザの「戦争」を見る：池内恵 池内恵の中東通信
2023/10/10	朝日新聞デジタル	試されるバランス外交 岸田首相、イスラエル・パレスチナと協議調整 [岸田政権]（会員有料記事）
2023/10/11	朝日新聞デジタル	バランス外交模索 原油・邦人保護… イスラエル・パレスチナ双方と電話協議、政府調整（会員有料記事）
2023/11/6	PHP 研究所	Voice 2023 年 12 月号「持たざる国」を襲う地政学リスク 岩瀬昇・池内恵対談
2023/11/10	日本経済新聞	中東、日本が「等距離」の理由 米欧と一線画しエネルギー外交（会員有料記事）

2023/12/12	日本経済新聞	ハマス、10月奇襲を正当化「パレスチナ国家認めよ」（会員有料記事）
2023/12/19	日本経済新聞	「Think!」3周年記念イベント「2024年大予測 激動の世界を読み解く」第1部（12:00～13:00）イスラエル・ハマス衝突/ロシアのウクライナ侵攻

②小泉悠 准教授

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/4/4	ニューズウィーク日本版	小泉悠×河東哲夫・超分析「仮に停戦してもウクライナが破る可能性もある」
2023/4/4	ニューズウィーク日本版	プーチンの恥部を知っている男、ガバナンスが失われつつあるロシア 河東哲夫×小泉悠
2023/4/7	ニューズウィーク日本版	【小泉悠×河東哲夫 超対談】ウクライナ戦争の「天王山」と知られざる爆破陰謀論（前編／全3回）
2023/4/13	FRIDAY デジタル	小泉 悠 × 東野篤子 スペシャリスト2人が大議論「プーチン大統領が”チェゲト”を開くとき」
2023/4/14	ニューズウィーク日本版	【小泉悠×河東哲夫 超対談】制裁の影響、銃後ロシアの戦意・士気は？プーチンらKGB出身者たちが持つ「謎の世界観」（中編／全3回）
2023/4/20	北海道新聞	ロシア太平洋艦隊の演習、複数の狙い 原潜訓練、過去最大規模か 小泉悠・東大先端科学技術研究センター専任講師（有料記事）
2023/4/24	EnterpriseZine	小泉悠氏と伊東寛氏が徹底討論 ウクライナを巡るサイバー戦、今後日本にも起こり得る有事へどう備えるか
2023/4/27	PRESIDENT Online	ロシアは負けそうになったら核兵器を使う…それでも「ハルキウの敗北」でプーチンが核を使わなかった理由 手段はあるし、研究もしていたし、訓練では何回もやっている
2023/4/30	日本経済新聞	核の威嚇戦略、ロシア幅広く利用 小泉悠・東大専任講師（有料記事）
2023/5/9	自由民主党	「あらゆる情報把握し対策を」経済安保本部が小泉悠氏からヒアリング

2023/5/13	朝日新聞デジタル	「異例中の異例」動員の内実は 小泉悠氏が証言から読み解く ワグネル [ウクライナ情勢]
2023/5/19	新潮社 Foresight	強化される「オホーツクの要塞」――極東ロシア軍の実像と日 本の安全保障：小泉悠
2023/5/27	毎日新聞デジタル	「ロシアが日本侵攻」報道を打ち消した小泉悠さん 職人芸の 分析手法（有料記事）
2023/6/6	PHP 研究所	Voice 2023 年 7 月号▼今も続くロシアの「いちばん長い日」小 泉 悠&與那覇 潤
2023/6/13	朝日新聞デジタル	衛星が見せる反転攻勢 ウクライナ軍が砲撃か 小泉悠氏が読 み解く [ウクライナ情勢]
2023/6/20	NHK	ウクライナ反転攻勢 最新状況は？ロシア軍ウォッチャーが分析
2023/6/24	日本海新聞	戦争、日本ならどうなる 小泉氏、安全保障テーマに 日本海 政経懇話会中・西部例会（有料記事）
2023/6/25	毎日新聞デジタル	プリゴジン氏撤収 識者「諦めるかは分からず」「一定の勝 利」
2023/6/30	Foresight	「プリゴジンの乱」は「プーチンの終わりの始まり」のよう には見えない
2023/7/1	山形新聞	戦争、再来年まで続く 東京大先端科学技術研究センター専任 講師・小泉悠氏が講演
2023/7/1	二松學舎大学	二松學舎大学ニュースマガジン「學」vol.65 特集「―ロシア・ ウクライナ問題から考える― 世界の中にいる私 国境とアイデ ンティティ」
2023/7/9	文藝春秋 電子版	プーチンが元気ないぞ
2023/7/23	文春オンライン	《「タマとったる！」から一転》小泉悠・高橋杉雄が感じ取っ た「プーチンの弱気」
2023/7/28	Real Sound	軍事評論家 小泉悠が観た『GCHQ：英国サイバー諜報局』 日 本が直面するシナリオに近い？
2023/8/4	毎日新聞デジタル	論点：戦争と平和 ウクライナ情勢と国益 インタビュー 小 泉悠・東京大専任講師
2023/8/5	二松學舎大学	『學 vol.65』特集：ロシア・ウクライナ問題から考える―世界 の中にいる私 国境とアイデンティティ

2023/8/9	じんぶん堂	「合理性」と「非合理性」から読み解く国際政治——小泉悠さん・評『「個人化」する権威主義体制』
2023/8/31	共同通信	北方領土からミサイル搬出と分析 ロシア軍、ウクライナ戦に転用か
2023/8/31	共同通信	Russia has moved missiles off isles disputed with Japan: expert
2023/9/7	文春オンライン	〈プーチンが本気で“終身独裁”を狙い始めた？〉プリゴジンが“他の暗殺とは扱いが違う”理由
2023/9/8	軍事研究	「軍事研究」2023年10月号 「総力戦体制に舵を切るロシア」小泉悠
2023/9/22	山陰中央新報デジタル	ロシアとウクライナ、そして世界はどこへ向かうのか エネルギー、平和構築、軍事研究の専門家3人に聞く
2023/9/25	Forbes JAPAN	Forbes JAPAN 2023年11月号 北野唯我「未来の職業道」ファイル 小泉悠／軍事アナリスト ロシアのウクライナ侵攻はなぜ起きたか？
2023/9/27	47NEWS	ロシアとウクライナ、そして世界はどこへ向かうのか エネルギー、平和構築、軍事研究の専門家3人に聞く
2023/9/29	月刊軍事研究	2023年11月号別冊『ウクライナ戦争大反撃戦』 軍改革から探る「ウクライナ軍強さの秘密」…小泉悠
2023/10/21	読売新聞オンライン	ウクライナの被害記録を可視化「戦争は嫌だという思い継承される」…東大・渡邊英徳教授・小泉悠専任講師
2023/10/27	朝日新聞デジタル	ガザ情勢、ウクライナはどうすべきだった？ 小泉悠氏の視点（有料記事）
2023/11/4	Forbes JAPAN	ロシアのウクライナ侵攻は、なぜ起きたか？ 専門家が語る「これからの安全保障」
2023/11/10	軍事研究	軍事研究 2023年12月号 小泉悠「ショイグ計画による『ロシア軍改革』」▼ 消耗戦に陥った戦時下で進む部隊改編と新設。ショイグ計画の実態と将来を考察
2023/11/16	新潮社 Foresight	「冷戦終結なんて大したことはない」——なぜ高坂正堯は「ベルリンの壁」崩壊直後に戦争の再来を〈予言〉できたのか 田所昌幸×細谷雄一×小泉悠

2023/12/19	日本経済新聞	「Think!」3周年記念イベント「2024年大予測 激動の世界を読み解く」第1部（12:00～13:00）イスラエル・ハマス衝突/ロシアのウクライナ侵攻
2023/12/21	朝日新聞デジタル	反転攻勢「失敗」のウクライナ、50万人動員検討の背景は 小泉悠氏 [ウクライナ情勢]
2023/12/22	日経ビジネス	ウクライナ「継戦も地獄、停戦も地獄」 小泉悠氏が読む戦況（会員有料記事）
2023/12/26	日本経済新聞	2024年大予測 激動の世界を読み解く
2023/12/27	産経ニュース	「正論」欄の執筆陣、新たに11人を迎える さまざまな分野の第一線で活躍する専門家
2024/1/10	軍事研究	「軍事研究」2024年2月号：「ロシアの継戦能力は何故尽きないのか？」
2024/2/1	産業経済新聞社	正論 2024年03月号 ■斎藤 勉×小泉 悠／戦争は4年目突入へ 日本に何ができるか
2024/2/8	朝日新聞デジタル	第1回：人はなぜ「破滅」にひかれるのか 沼野恭子氏の問いと小泉悠氏の反省（会員有料記事）
2024/2/9	朝日新聞デジタル	第2回：ロシアの歴史はなぜ「極端」に振れてきたか 沼野恭子氏が唱える仮説（有料会員記事）
2024/2/9	産経ニュース	<正論>ウクライナに日本ができること 東京大学先端科学技術研究センター准教授・小泉悠（有料会員記事）
2024/2/19	HTB 北海道ニュース	ルール無視に管理体制の甘さも 自衛隊から払い下げられた高機動車を追跡して見えてきた実態とは
2024/2/22	共同通信社	「特集」ウクライナ戦争 「地政学」を問う私たちはどんな世界に生きたいか
2024/2/23	朝日新聞デジタル	小泉悠氏・沼野恭子氏が異色の対談 ウクライナ侵攻2年
2024/2/23	日本経済新聞	ロシアの兵器産業崩れず 戦時動員と迂回調達で持続（会員記事）
2024/2/23	産経ニュース	日本のウクライナ支援、国益のために必要 東京大先端科学技術研究センター・小泉悠准教授 ウクライナ侵略から2年（有料会員記事）

2024/2/24	ダイヤモンド・オンライン	ドローン戦争と旧来型消耗戦「ウクライナが再び耐える年に」 小泉悠氏が読む戦争 3 年目 小泉悠・東京大学先端科学技術研究センター准教授インタビュー（前編）
2024/2/25	ダイヤモンド・オンライン	「核の時代でも侵略戦争は起きた」ウクライナ戦争から日本が学ぶべき安全保障の教訓 小泉悠・東京大学先端科学技術研究センター准教授インタビュー（後編）
2024/2/25	日本経済新聞	軍事評論家・小泉悠さん 平和を願い、安全保障を論ずる（有料会員記事）
2024/2/28	Numero TOKYO	【最新号】ヌメロ・トウキョウ 2024 年 4 月号「Mother Nature」 戦争と平和について考えよう
2024/3/8	月刊軍事研究	「軍事研究」4 月号 ウクライナ軍総司令官交代の真相 小泉悠
2024/3/13	中央公論.jp	細谷雄一×東野篤子×小泉 悠「ウクライナ戦争が変えた日本の言論地図」
2024/3/22	経済界	経済界 2024 年 5 月号▼「日本の軍事力の欠点は兵器の生産・復帰能力」
2024/3/25	NEWS ポストセブン	週刊ポスト 2024 年 4 月 5 日号◆プーチン圧勝で「新・悪の枢軸」（ロシア／北朝鮮／イラン）誕生 ・小泉悠
2024/3/27	NEWS ポストセブン	プーチン氏、大統領選圧勝で事実上の「スターリン超え終身独裁」へ ウクライナ戦争は長期化必至、注視すべきはロシア優位を支える北朝鮮とイラン

③国末憲人 特任教授

日付	媒体	紙面、雑誌名
2024/1/17	公益産業研究調査会	『公研』2024 年 1 月号 プチ「特別軍事作戦」症候群／国末憲人
2024/1/19	Foresight	ナゴルノ・カラバフ紛争の基層に根ざす「マトリョーシカ・ナショナリズム」：国末憲人
2024/2/13	nippon.com	足並み乱れる各国、鍵は長期的なアプローチに一欧州から見たガザ紛争
2024/2/14	Foresight	初のカトリック系首相が導く？ 北アイルランド「非承認国家」としての繁栄への道：国末憲人

2024/3/29	外交	『外交』 Vol.84 Mar./Apr. 2024▼座談会「一〇年戦争」がもたらした国際社会の変質
2024/4/4	日本新聞協会	『新聞研究』 目次 2024 年 4 月号 (No.863) ▼激動の時代の組織ジャーナリズム——ロシア・ウクライナ戦争が問う使命

④山口亮 特任助教

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/4/5	NK PRO	How GSOMIA can springboard better deterrence efforts against North Korea
2023/4/12	Deutsche Welle (ドイツ)	Macron's comments in China cause concern in Japan
2023/4/14	NK NEWS	Leaked US documents raise questions about North Korea's missile capabilities
2023/4/24	NK NEWS	Tokyo orders military to shoot down debris from North Korean satellite launch
2023/4/26	NK NEWS	North Korean nukes and deterrence doubts loom as Yoon and Biden set to meet
2023/5/4	NK NEWS	US invited ROK and Japanese admirals aboard nuclear submarine, new photos show
2023/5/8	NK NEWS	Seoul says Japan could be included in US-ROK nuclear planning, then backtracks
2023/5/8	9DASHLINE	Japan's defence plans: What matters is implementation
2023/5/16	South China Morning Post	Could US-Japan-South Korea meeting lead to Washington Declaration's extension?
2023/5/23	NK PRO	By linking radars, ROK and Japan reduce blind spots around North Korean missiles
2023/6/2	時事ドットコム	衛星打ち上げ、ICBM技術利用 写真公開で正当性訴え—北朝鮮
2023/6/6	South China Morning Post	Japan mulls erasing tattoo ban as military struggles to attract young recruits
2023/6/29	thanhnien.vn	Ngoại giao cây tre Việt Nam giữa biến động toàn cầu

2023/6/30	South China Morning Post	Does Taiwan official's Japan visit reflect 'new reality' of Tokyo-Taipei ties?
2023/7/2	South China Morning Post	China stokes tensions, opposition to US bases in Japan's Okinawa
2023/7/6	The Japan Times	Defense engagement between Japan and Italy picks up pace
2023/7/10	NK NEWS	North Korea accuses Japan of bribing IAEA to approve Fukushima water discharge
2023/7/25	The Japan Times	Nuclear Consultative Group strengthens Northeast Asian deterrence
2023/7/27	South China Morning Post	Japan seeks to ease arms export rules in bid to be 'good actor' in Ukraine war
2023/7/28	NK NEWS	Why North Korea played favorites with Russia over China at military parade
2023/7/28	NK PRO	How North Korea's new advanced drones change the game for the US and ROK
2023/8/4	South China Morning Post	Can Japan and South Korea seal 'historic' security alliance at US summit?
2023/8/17	DW	Japan's tech industry needs Africa's critical mineral
2023/8/18	Newsweek	How China, Russia, North Korea can counter Biden's Asia allies defense pact
2023/8/28	NK PRO	What North Korea's new copycat drones may owe to friends and cyber spies
2023/8/29	South China Morning Post	Will transparency over Fukushima water test results help Japan win back critics?
2023/8/30	NK PRO	Chinese ships appears to join race to recover North Korean space rocket wreckage
2023/9/12	新潮社 Foresight	北朝鮮が「軍事偵察衛星」打ち上げで追求する「非対称戦重視」を正確に捉えよ
2023/9/13	NK PRO	How Russian help could enable North Korea's space program to finally lift off

2023/9/20	NK PRO	Why interoperability remains a hurdle for trilateral cooperation on North Korea
2023/9/27	NK PRO	North Korea faces daunting challenge in modernizing its archaic naval fleet
2023/10/3	クーリエ・ジャポン	北朝鮮の後継者と目される、金ジュエ（とされる少女）の「三位一体」説とは？ 金正恩の娘が使い分ける「3つの顔」
2023/10/5	NK NEWS	North Korean hackers targeting ROK shipbuilders to bolster navy, Seoul says
2023/10/17	South China Morning Post	Japan-South Korea ties 'positive' after Israel evacuation aid, but could a new leader 'turn things upside down'?
2023/10/25	South China Morning Post	Israel-Gaza war: can Japan leverage its Middle East ties to create dialogue, defuse tensions?
2023/10/26	NK NEWS	US, ROK and Japan condemn North Korean arms sales to Russia in joint statement
2023/11/2	South China Morning Post	Japan remembers China's ex-premier Li Keqiang as not seeing 'Japanese as evil'
2023/11/6	NK NEWS	US, South Korea and Japan to form council to counter North Korean cyber threats
2023/11/8	NK NEWS	G7 foreign ministers condemn alleged North Korean weapons sales to Russia
2023/11/9	NK NEWS	Why North Korea would supply Russia with short-range ballistic missiles
2023/11/22	NK NEWS	Russian VIP military jetliner flies to North Korea hours after satellite launch
2023/12/9	NK NEWS	US, ROK and Japan start real-time data sharing on North Korean missile launches
2023/12/31	NK NEWS	North Korea to launch three more spy satellites in 2024, Kim Jong Un says
2024/1/8	South China Morning Post	Japan's record defence budget, US Patriot missile deal rankle pacifists
2024/1/14	中央社 CNA	美智库分析台湾選後情勢：中國胡蘿蔔棒子手段難料

2024/1/14	South China Morning Post	Russia's Putin 'giving Japan two fingers' with pledged trip to disputed islands
2024/1/20	South China Morning Post	As North Korea slams Japan troops' shrine trip, Seoul and China stay silent
2024/1/22	信濃毎日新聞デジタル	海から遠い佐久市と安全保障のつながりは 市内在住の研究者わかりやすく解説へ来月フォーラム
2024/1/29	South China Morning Post	Putin's proposed Pyongyang trip reveals Russia's growing reliance on North Korea
2024/2/2	The Japan Times	Japan starts 2024 with flurry of security deals
2024/2/9	thanhnien.vn	Tầm vóc Việt Nam giữa thế giới đầy thách thức
2024/2/12	South China Morning Post	Japan risks losing trust of US, other allies over its 'serious' cybersecurity flaws, minister warns
2024/2/19	South China Morning Post	'Natural' for Japan to play larger Aukus role, but likely not as partner
2024/2/22	South China Morning Post	Can Japan build ties with North Korea if Pyongyang avoids abduction issue?
2024/3/1	The Japan Times	New drone tech in spotlight as Japan eyes boosted capabilities
2024/3/19	South China Morning Post	Can a new South Korea-Japan agreement take bilateral ties to the next level?
2024/3/29	海上自衛隊幹部学校	海幹校戦略研究 第13巻第2号（通巻第27号）2024年3月▼ 山口亮 「Optimizing Joint Operational Readiness: Lessons for Japan」

⑤西山美久 特任助教

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/11/10	北海道文化放送	教室で銃を構える子どもたちー「実射訓練」 「欧米の SNS はフェイク」 “ロシアの学びや”で広まるプロパガンダ教育のいま
2024/3/18	時事ドットコム	侵攻正当化と締め付け続く ロシア大統領選・識者談話

⑥豊田耕平 連携研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/5/8	新潮社 Foresight	イスラエル「対中東・東地中海外交」のカギ「リヴァイアサンガス田」の現在地：豊田耕平（会員記事）
2023/7/27	新潮社 Foresight	イラクが進める「欧州市場シフト」と石油開発での「中国一本化」
2023/10/24	新潮社 Foresight	「天然ガスハブ」の幻想を操るトルコ：豊田耕平
2024/1/2	新潮社 Foresight	東地中海ガス開発「政治主導」の脆弱さに加わる「イスラエル・ハマース戦争」：豊田耕平 立ち上がる中東エネルギー新秩序
2024/2/27	新潮社 Foresight	「中東非産油国」の水素ポテンシャルを引き出す欧州：ただし、その関係は真に「互恵的」なのか：豊田耕平
2024/3/1	日刊工業新聞	エネルギー解体新書（10）イラク新政権下の石油・ガス動向（有料会員記事）

⑦田中祐真 特任研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/10/16	新潮社 Foresight	いまロシア FSB が握る「ポスト・プーチン」のキーファクター：「大統領排除」が唯一可能な組織の影響力：田中祐真
2023/10/26	新潮社 Foresight	ナゴルノ・カラバフの「平定」と消滅：なぜ今、アゼルバイジャンは行動したのか
2023/11/22	新潮社 Foresight	ウクライナ EU 加盟への重要課題、「言語・民族問題」の歴史と現在
2024/2/20	ロシア NIS 調査月報	ロシア NIS 調査月報 2024 年 3 月号 特集◆ロシア・ウクライナをめぐる地政学と地経学「調査レポート 2 年間の戦時体制下におけるウクライナ内政—ゼレンスキー政権の迎える試練—」
2024/3/15	新潮社 Foresight	軍総司令官解任から駐英大使任命へ、「ザルジニー人事」に垣間見える「チーム・ゼレンスキー」の不安と目算：田中祐真

⑧田中周 特任研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/5/18	朝日新聞デジタル	中国と中央アジア 5 カ国、どんな関係？ 首脳会議で何が語られるのか（会員有料記事）

⑨松田拓也 特任研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/11/7	NIKKEI Asia	Japan treads carefully as Israel-Hamas war tops home G7 agenda
2023/11/10	新潮社 Foresight	《イスラエル・ハマス大規模衝突》「アフガン、イラク泥沼化」の教訓は中東の戦火拡大を防げるか：松田拓也
2023/11/21	NIKKEI Asia	Red Sea ship hijacking delivers a warning on supply chain risks
2023/11/22	War on the Rocks	Rewind and Reconnoiter: The U.S.-Japanese-Korean Relationship with Takuya Matsuda and Jaehan Park - War on the Rocks
2023/12/20	Asia Pacific Initiative	イスラエル・ハマス戦争とアメリカの中東戦略（地経学ブリーフィング・松田拓也）
2024/1/23	国際安全保障防衛センター（ICDS）	What to Do When Partners Share Threats and Challenges But Do Not Agree on Priorities?
2024/3/18	公研	『公研』2024 年 3 月号▼「選挙イヤー」と二つの戦争 民主主義の選択は世界をどこに導くのか？（細谷雄一先生との対談）
2024/3/29	外交	外交 vol.84 2024 年 3/4 月号▼ガザ紛争と米・イスラエル「特別な関係」の政治力学

3. 外国シンクタンク・有識者等との連携、ネットワークを通じた国際世論の醸成への貢献（若手人材の参画を含む）

若手人材の育成

本事業では、発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」、総合事業「自由・民主主義は何をもたらすことがで

きるか」と連携しながら、研究能力、対外発信能力を育成すべく、パーマネントのポストを持たない若手の人材を積極的に登用しているほか、インターンの採用による次世代人材の発掘・育成を行なっている。とりわけ、本事業では主として以下のプログラムを実施した。

(1) インターン制度の導入 (3 事業共通)

本事業では、3 か月ごとにインターンを採用しており、秋季インターン及び冬季インターンとして以下の9名を採用した。いずれも高い英語能力を有し、ROLES 助教・研究員の下で、調査研究支援や、国際ワークショップの企画運営に参画している。

平田 拓海	早稲田大学大学院政治学研究科修士課程
大木 有容	東京大学法学部第三類政治コース (秋季のみ)
林 奈都美	早稲田大学国際教養学部国際教養学科
宇野 真佑子	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程 (秋季のみ)
長谷川 航太	早稲田大学大学院政治学研究科修士課程政治学専攻政治学コース
粕尾 瑞規	早稲田大学社会科学部社会科学科
小倉 夏子	東京大学公共政策大学院修士課程 (冬季のみ)
平井 和実	慶應義塾大学 法学部政治学科 (冬季のみ)
松浦 祐樹	東京大学教養学部教養学科総合社会科学分科国際関係論コース (冬季のみ)

(2) 「きのくに国際高等専修学校」との交流会の実施

【日時】2023 年 11 月 8 日 (水)

【場所】東京大学先端科学技術研究センター

【概要】和歌山県から「きのくに国際高等専修学校」の高校生 12 名が ROLES を訪れ、立田由紀恵特任研究員と対面し、宗教をテーマに 3 時間議論を行った。

(3) 徳之島国際ユースキャンプ (Tokunoshima International Youth Camp)

【日時】2024 年 1 月 28 日 (日) ~ 2 月 2 日 (金)

【場所】鹿児島県大島郡伊仙町、他徳之島内各所

【参加者／参加人数】

済州大学学生： キム・ソンヒョン
 チョウ・スジン
 ヨム・ヒョンジュ

サラエボ大学学生：ベルミン・デリッチ

イネラ・スバシッチ

デアン・ジェビッチ

鹿児島大学学生：要田 ののか

田畑 絢香

高見 龍輝

東京大学学生：坪井 俊樹

山田 絵玲沙

犬塚 悠太

和田 知之

【概要（プログラム）】

1月28日（日）参加者伊仙町到着

1月29日（月）開会式（伊仙町長および教育長挨拶）、徳之島の歴史についての講演

1月30日（火）戦艦大和慰霊碑等、徳之島島内の主に太平洋戦争に関連した史跡見学

1月31日（水）サラエボ大学および済州大学の教員による公開講演会

2月1日（木）参加学生によるディスカッションと発表会、島内小中高生との交流会

2月2日（金）参加者伊仙町出発

外国シンクタンク・有識者等との連携及びネットワークを通じた国際世論の醸成

本事業では、上記目的を達成するため、（1）ROLES メンバーを中心とした外国有識者、シンクタンクとの意見交換、（2）外国有識者、シンクタンクとの非公開／小規模ワークショップの開催、（3）現地に赴いてのシンクタンク・ネットワーク構築を実施した。

（1）ROLES メンバーを中心とした海外有識者、シンクタンクとの意見交換（「国内外有識者・シンクタンクとのヒアリング／意見交換実績」より、外国有識者・シンクタンクとのヒアリング／意見交換実績を抽出）

その一覧は以下の通り。

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/4/18	池内 恵	Col. Ofir Mizrahi Rozen (Head of the Mission, INDC delegation to Japan)、MG Itai Veruv (IDF JCOM Commander & Commandant of the Military Colleges)、Adv. Nir Vilner (Participant in Israel National Defense College, The Israel Water Authority-Legal Adviser)、Ido Tutnauer (MEXT Scholarship Student, Scholar Entrepreneur)、Hadas Kushelevich, Ph.D., Adjunct Lecturer (同志社大学, University of Haifa)	特定非営利活動法人日本・イスラエル学術文化振興協会 The Association for the Advancement of Israel-Japan Academic and Cultural Relations 主催、同志社大学、大阪大学 CO デザインセンター、東大先端研 ROLES 共催の非公開ラウンドテーブルにて、日本の安全保障政策の転換と、それに対する日本の幅広い層の反応について検討を行った。
2023/5/17	山口 亮	Kelvin WONG (ST Engineering)、Claudia CHIA (ST Engineering)、稲葉義泰 (専修大学大学院法学研究科公法学専攻博士後期課程)	東アジア情勢、日本の防衛政策、防衛技術
2023/5/25	山口 亮	Geoffrey F. GRESH (米国国防総合大学教授)	日本の防衛政策、海洋安全保障問題
2023/5/28	池内 恵	Khaled Yusug Al Jalahma (Ambassador of Bahrain to Israel)	イスラエルと湾岸の和平の進展 イスラエルとサウジの関係
2023/5/30	池内 恵	Gilane Gigi Fatayr (Presenter, Al Arabiya)	サウジアラビアの対イスラエル国交回復について、アブラハム合意について、レバノン政治について

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/5/30	池内 恵	Sayed Ghoneim, (Chairman, IGSD A) 、 Councilor, Ms. Lee Ting WU (Deputy Chief of Mission of the E mbassy of Singapore in Abu Dhabi, UAE) 、 Ms. Kei Honda (Mitsubish i Corportation,Former Political Advi sor to the Japanese Ambassador in Abu Dhabi) 、 Councilor, Kyungho YOO (Head of Political Section, E mbassy of ROK) 、 Lt Col. Timothy Doll (Assistant DA, US embassy, U AE Dr. Nabil Alkhateeb, Head of Ashar q News) 、 Ahmed Mahgoub (Asha rq News)	UAE の外交・安全保障政策、特 に他の地域大国およびシンガポー ル、日本などアジア諸国との関係 について
2023/5/31	池内 恵	Marianne Nissilä (Ambassador of F inland to AbuDhabi) Stem Arne Rosnes (Ambassador of Norwegian Embassy to Abu Dhab i)	日本の中東への関与、中東地域情 勢について
2023/5/31	山口 亮	Simon CHELTON (英国王立防衛安全 保障研究所 アソシエイトフェロー)	日本の防衛政策、防衛技術、防衛 装備・技術協力
2023/6/4	池内 恵	Yossi Shain(Professor of Political S cience at Tel Aviv University)	イスラエル内政の最新情勢、ネタ ニヤフ政権と反体制勢力の関係 イスラエル政治をめぐる日本向け の講義シリーズについての提案

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/6/5	池内 恵	Gilad Majerowicz(Herzog パートナー、イスラエル・日本商工会議所会頭)、Moran Fogel(General Manager, The Israel-Japan Chamber of Commerce)、Or Nehushtan (Business Development Executive, International Relations Division, Federation of Israeli Chambers of commerce)	イスラエル・日本の安全保障技術に関する民間企業間のパートナーシップと、その醸成のための財界団体の役割について
2023/6/5	池内 恵	Takuhiro Ichibakase (Business Development Representative, 豊田通商テルアビブ支社)	イスラエルの自動車産業における日本企業の立場、近年の動向
2023/6/5	池内 恵	鈴木寛人 (Director of SBI JI Innovation Fund)	イスラエルへの日本企業の投資傾向、イスラエル企業の日本企業との協力関係、日本・イスラエルの企業の戦略提携の方向性について
2023/6/5	池内 恵	飯島健司 (三井住友生命保険 Managing Director, Global Digital Hub Management (Israel)Ltd.)	イスラエルの保険事情について
2023/6/5	池内 恵	水谷浩昭 (丸紅 テルアビブ支店長)、Kohmei INAOKA, Manager (丸紅テルアビブ支店)	イスラエルの安全保障技術の日本への導入について
2023/6/5	池内 恵	Rami Malachi (General Manager, Japan Israel High Tech Ventures, under Chartered Group)	イスラエルの安全保障技術の日本への導入について
2023/6/5	池内 恵	Daniel Rakov Ltd. (res.) (Senior Researcher, Elrom Air And Space Research Center, Tel Aviv University also Senior Fellow, JISS: Jerusalem Institute for Strategy and Security)	イスラエルの対ロシア政策について

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/6/5	池内 恵	Omer Bavli, ADV. (Assistant to the Director General of the Ministry of Defense, Israel From 9 July, Defense Attache of the Embassy of Israel in Japan)	イスラエル・日本の安全保障協力に関する打ち合わせ
2023/6/6	池内 恵	Jonathan H. Ferziger (Managing Editor, The Circuit Non-resident Fellow, Atlantic Council)、岡崎健（住友商事テルアビブ支社長）	アブラハム合意後のイスラエル・湾岸関係について
2023/6/19	池内 恵	Trends Research & Advisory (UAE アブダビ) の訪問団 Dr Mohammed Abdullah Al Ali (CEO of Trends Research & Advisory)、Awadh Mohamed AlBreiki (Chief Global Officer)、Abdulla Mohamed AlHammadi (Director of Conferences and Strategic communications Department)、Talal Mohamed AlHammadi (Chief Administrative Officer)	COP28 に向けた UAE と日本の協力と、そこにおける先端研と Trends の協力について。
2023/8/30	池内 恵	Dr. Mohammad Hassan Sheikholeslami (研究・教育担当外務次官／IPIS 所長) Dr. Khalil Shirgholami (元広州総領事：東アジア情勢) Mr. Peiman Seadat (駐日イラン大使) Dr. Alireza Khoda Gholipour (中東・アフガニスタン担当)	中東の地域秩序形成におけるイランの役割・目標について

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
		Mr. Nabi Sonboli（東アジア情勢専門） 安達一（笹川平和財団常務理事）	
2023/9/15	山口 亮	PARK Dong-joon（研究教授）	日韓関係、韓国政治
2023/9/27	池内 恵	Oktay Tanrisever（Professor at METU-Turkey / Specialized in International Strategy, Regional Security, Energy and Environmental Diplomacy）	トルコの中東政策、トルコの NATO 政策、トルコの東欧・旧ソ連・CIS 政策について、トルコの 360 度外交の内実について
2023/9/27	池内 恵	Oktay Tanrisever（Professor at METU Specialized in International Strategy, Regional Security, Energy and Environmental Diplomacy）、川島 真（東京大学大学院総合文化研究科教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、東野敦子（筑波大学教授）、今井宏平（アジア経済研究所研究員・在アンカラ研究員・中東工科大学客員研究員）	トルコの NATO 政策、トルコの中・東欧政策
2023/9/28	池内 恵	メスト・オズジャン（Mesut Ozcan, Chairman of Diplomacy Academy of the Ministry of Foreign Affairs of Turkey）、今井宏平（アジア経済研究所研究員・中東工科大学客員研究員）、岩間陽子（政策研究大学院大学	トルコ的外交政策、トルコの中東政策に関するディスカッション

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
		教授）、 遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）	
2023/9/28	池内 恵	セルハド・ヴァルリ部長（Serhad Varli, Head of Department, Center for Strategic Research, of Foreign Affairs of Turkey）、今井宏平（アジア経済研究所研究員・中東工科大学客員研究員）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）	トルコ的外交政策、日トルコ関係・日トルコ戦略対話の現状と課題、共同研究・共同出版の打ち合わせ
2023/9/28	池内 恵	Ahmet Uysal, Dircter (ORSAM)、Oytun Orhan (Coordinator, Levant Studies, ORSAM)、Gokhan Batu (Security Studies Coordinator, ORSAM)、Gokhan Erli (Gulf Studies Coordinator, ORSAM)、Kaan Devcioglu (North African Studies Expert, ORSAM)	トルコの対中東・アフリカ政策と、紅海沿岸地域への関与の動向、アラブ諸国の内政状況と地域国際政治に関する総合的分析
2023/9/28	池内 恵	Murat Yesiltas, Director (Foreign Policy Research of SETA / Professor at the Department of International Relations at Ankara Social Sciences University)、Murat Aslan (Researcher of SETA / Faculty member at Hasan Kalyoncu University)、今井宏平（アジア経済研究所研究員・中東工科大学客員研究員）、岩間陽子	トルコ的外交政策の背景と目的、意思決定過程についての見解の聴取を行った。

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
		（政策研究大学院大学教授）、遠藤乾 （東京大学大学院法学政治学研究科教 授）	
2023/9/29	池内 恵	ゲダリア・アフターマン（ライヒマン 大学・アバ・エバン（外交国際問題研 究所アジア政策プログラム長）、大庭 三枝（神奈川大学教授）	中東と東アジアの地域主義の比較 と関連について
2023/9/29	池内 恵	ゲダリア・アフターマン（ライヒマン 大学アバ・エバン外交国際問題研究所 アジア政策プログラム長） 稲見昌彦（東京大学先端科学技術研究 センター教授）	日・イスラエル・UAE の科学技 術を介した外交的協調について
2023/9/29	池内 恵	Paolo Girardelli, Professor (Depart ment of History, Boğaziçi Universit y)	トルコにおけるカソリック・修道 会の政治・社会・文化的な影響力 について。トルコにおける日本関 係建築の重要性について
2023/9/29	池内 恵	İLHAN KARASUBAŞI (Lecturer of t he Faculty of Language, History an d Geography, Ankara University)	イタリア・トルコ関係について
2023/9/29	池内 恵	Mürsel DOĞRU (Assistant Professo r at the National Defence Universit y of Turkey)	トルコの安全保障政策と日本のイ ンド太平洋政策の連関

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/10/1	池内 恵	Dr. Jagannath Panda (Head of the Stockholm Centre for South Asian and Indo-Pacific Affairs at ISDP) 、 Dr. Dattesh Parulekar (Assistant Professor, Goa University) 、 Dr. R Srinivasan (Editor-in-Chief, EJSSS)	Bharat-Japan Indic Dialogue において、Japan's National Security Strategy and Concerns over Taiwan についての意見交換。インドの対露権益とインド・日本関係の相剋について。 日本の FOIP と、インドの INSTC (International North-South Transport Corridor) 、米欧・湾岸・イスラエルの IMEC (India Middle East Europe Corridor) の関係について。
2023/10/2	池内 恵	Ercan Çitlioğlu (バシケント大学戦略調査センター学事顧問・イスタンブール安全保障会議主催者)	トルコを中心とした中東地域秩序について
2023/10/3	池内 恵	George Jiuzhou Duan (段九州) (Research Assistant Professor in political science at Tsinghua University / Visiting Fellow, Middle East Technical University 中東工科大学)	中国の対トルコ関係、中国の中東政策について。
2023/10/3	池内 恵	Kaan Cumalioglu (Chief Operating Officer)	トルコ語出版市場における日本の外交・安全保障に関する情報発信について
2023/10/5	池内 恵	Dogac Gursel (Manager, Regional Strategy & Business Development-Corporate, Ankara Branch of Mitsubishi Corporation)	アンカラの政府機関とシンクタンクの関係の最新動向について

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/10/5	池内 恵	東突クルトゥク（Dr. Lect. Higashitsu KUTLUK アンカラ社会科学大学講師 Lecturer of the Faculty of Foreign Languages, Social Sciences University of Ankara）	トルコのウイグル政策、トルコ・中国関係とチュルク系少数民族
2023/10/10	山口 亮	JIN A-yun（専任研究員）、HWANG In-bin（専任研究員）	東アジア情勢、日本の防衛政策、日韓関係
2023/10/20	立田 由紀恵	Anastas Odermatt（ルツェルン大学リサーチフェロー）	北欧におけるボスニア系ムスリム移民の現状について
2023/11/2	山口 亮	Tom WILKINS（シドニー大学准教授）	東アジア情勢、日米豪関係
2023/11/14	松田 拓也	Giulia Tercovich（CSDS 副所長）、Eva Pejsova（CSDS ジャパンチェア）、Octavian Manea（CSDS 所属の博士課程の学生）	CSDS と ROLES の関係構築、1月のブリュッセル出張に関する打ち合わせ
2023/11/16	松田 拓也	Alexander Lanoszka（ウオーターール大学助教授/MLI 上席研究員）	インド太平洋の安全保障や日米同盟に関して意見交換
2023/11/17	山口 亮	Simon CHELTON（英国王立防衛安全保障研究所 アソシエイトフェロー）、稲葉義泰（専修大学大学院法学研究科公法学専攻博士後期課程）	日本の防衛政策、日英関係・防衛装備・技術協力
2023/11/20	松田 拓也	Thomas Wilkins（シドニー大学准教授/GRIPS 客員研究員）	豪州の安全保障政策やインド太平洋に同盟政治などについて
2023/11/29	松田 拓也	Elena Atanassova-Cornelis（エストニアの The International Centre for Defence and Security (ICDS) ジャパンチェア）、Giulio Pugliese（オック	欧州の安全保障、日欧関係などに関して意見交換

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
		スフォード大学講師/ヨーロッパ大学 大学院特任教授)	
2024/1/10	山口 亮	Ingvild Bode (Associate Professor, Centre for War Studies, University of Southern Denmark)、Christoph er K. Lamont (東京国際大学 教 授)	AI の軍事利用
2024/1/11	松田 拓 也	Dr. BAN (Kil Joo Program Director, Ilmin International Relations Instit ute at Korea University)	日米韓安保協力に関して意見交換
2024/1/12	松田 拓 也	Sukhee Han (President)、Kyoung seok Ha (Research Fellow)、Taej u Kim (Research Fellow)	日米韓安保協力や ROLES との関 係構築に関して意見交換
2024/1/17	山口 亮	Collin KOH Swee Lean (南洋工科大 学ラジャラトナム国際大学院 シニ ア・フェロー)、Bernard LOO (南洋 工科大学ラジャラトナム国際大学院シ ニア・フェロー)、Sarah TEO (南洋 工科大学ラジャラトナム国際大学院助 教授)、Adrian ANG U-Jin (南洋工 科大学ラジャラトナム国際大学院リサ ーチ・フェロー)	インド太平洋安全保障情勢、特に 日本とシンガポールの安全保障政 策と戦略について意見交換(予 定)
2024/1/19	松田 拓 也	Robert Ward (IISS ジャパンチェ ア)	主に ROLES の紹介と今後の関係 構築、及び日本の安全保障政策に 関して議論
2024/1/19	松田 拓 也	Alessio Patalano (ロンドン大学キン グスカレッジ戦争学部教授)	ROLES との関係構築やイベント の共催などの可能性及びインド太 平洋の安全保障に関して議論

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2024/1/22	松田 拓也	Albin Aronsson（スウェーデン国防研究所(FOI)研究員）	スウェーデンの NATO 加盟、北 欧・バルト地域に安全保障や FOI と ROLES の関係構築の可能性に 関して意見交換
2024/1/25	松田 拓也	Prof. Brendan Simms（ケンブリッジ 大学地政学研究所所長）	インド太平洋の安全保障や ROLE S との関係構築などに関して意見 交換
2024/1/25	松田 拓也	Dr. John Nillson-Wright（ケンブリッ ジ大学准教授）	インド太平洋の安全保障や ROLE S との関係構築などに関して意見 交換
2024/1/26	松田 拓也	Dr. William James（オックスフォード大学 Changing Character of War Centre 研究員）	英国のインド太平洋関与や欧州の 安全保障及び、ブックローンチウ ェビナーへの登壇を含めた ROLE S との協力関係構築などに関して 意見交換
2024/1/26	松田 拓也	Dr.Eitan Oren（ロンドン大学キング スカレッジ戦争学部助教授）	インド太平洋の安全保障、日英関 係や ROLES と KCL の関係構築 などに関して意見交換
2024/1/29	松田 拓也	Dr. Tongfi Kim（VUB-CSDS 教授）	CSDS と ROLES の関係構築及び 日米韓安全保障協力を含めた東ア ジアや欧州における同盟政治に関 して意見交換
2024/1/29	松田 拓也	Dr. Luis Simon（CSDS 所長）、Dr. Eva Pejsova（ジャパンチェア）、池 内恵（東京大学先端科学技術研究セン ター教授・ROLES 代表）	CSDS と ROLES の打ち合わせ会 合
2024/2/5	松田 拓也	Dr. Alex Bristow（防衛戦略副部 長）、 Dr. Peter Dibb など 16 名参 加	オーストラリア戦略政策研究所(A SPI)にて非公開招待制円卓会合に 登壇。インド太平洋の安全保障や

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
			ROLES との関係構築などに関して意見交換
2024/2/6	松田 拓也	Dr. Iain Henry、Dr. Brendan Taylor、Dr. Andrew Carr など 10 名参加	オーストラリア国立大学(ANU) 戦略防衛研究センター(SDSC) 非公開円卓会合に登壇。インド太平洋の安全保障や ROLES との関係構築などに関して意見交換
2024/2/7	松田 拓也	Dr. Michael J. Green (USSC Chief Executive Officer) 、 Prof. Peter J. Dean (Director of Foreign Policy and Defence) 、 Ms. Hayley Channer (Director of Economic Security) など 13 名が参加	シドニー大学米国研究センター(USSC)にて非公開円卓会合に登壇。インド太平洋の安全保障や ROLES との関係構築などに関して意見交換
2024/2/15	松田 拓也	Peter Dean (Director, Foreign Policy and Defence at the United States Studies Centre at the University of Sydney)	先週のシドニーでの円卓会合のフォローアップでシンクタンクの運営、米豪同盟、インド太平洋の安全保障、今後の USSC と ROLES の関係構築などに関して意見交換。
2024/2/21	松田 拓也	Dr. Constantino Xavier (Fellow Centre for Social and Economic Progress (CSEP))	ROLES と CSEP の関係構築の可能性について意見交換
2024/2/22	松田 拓也	Shruti Pandalai (インド防衛問題研究所(IDSA)研究員)	インド太平洋の安全保障及び ROLES と IDSA の関係構築の可能性に関して意見交換

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2024/3/1	立田 由紀恵	アメル・バフティヤル氏（Center for Critical Thinking、Tacno.net 編集者） 西村明・東大准教授、井上まどか・清泉女子大准教授、神原ゆうこ・北九州市立大学教授、高橋沙奈美・九州大学講師、中井杏奈・東京外語大特定非常勤講師	ボスニアにおけるセルビア人、クロアチア人、ムスリムそれぞれの大学との学術交流について意見交換
2024/3/25	松田 拓也	Robert Ward (IISS ジャパンチェア)	日本の安全保障政策や ROLES との関係構築について(ROLES 研究者の先方 Podcast 出演など)に関して

(2) 外国有識者、シンクタンクとの非公開／小規模ワークショップの開催

本事業が単独または「国際理念と秩序の潮流」「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」と連携して実施した非公開ないし小規模のワークショップ／セミナーは以下の通り。

日時	イベント名	参加者（所属）	備考
2023/9/26	日本・トルコ戦略対話「ウクライナ戦争と国際秩序の未来：日本とトルコの視野と構想」 ※本イベントは招待者のみ参加	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、今井宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員/中東工科大学客員研究員）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）、東野篤子（筑波大学大学院人文社会科学研究科教授）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）、鈴木一人（東京大学公共政策大学院教授）、早丸一真（東京大学先端科学技術研究センター・特任助教）、木村風雅（東京大学中東地域研究センター）、豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）、ヒュセイ・バージュ、メリハ・アルトゥンウシュク、バハドゥル・ペフリヴァントウルク、ハルドゥーン・ヤルジュンカヤ、ミタット・ジェリクパラ、ムラト・デミレル、井上貴文、ドアチ・ギ	「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」 「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」との合同開催

		ユルセル、勝亦孝彦、大使館政務班 6 名	
2023/11/14	KCS と VUB-CSDS 共催 "An Era of Economic Security : Common Challenges for the EU and Japan"	Luis Simón (CSDS 所長)、細谷雄一 (慶應義塾大学教授)、小林鷹之 (衆議院議員)、Jean-Eric Paquet (駐日 EU 大使)、松田 拓也 (東京大学先端科学技術研究センター特任研究員) など 20 名超の参加者	KCS と VUB-CSDS 共催 "An Era of Economic Security : Common Challenges for the EU and Japan" 事前のネットワーキングランチを含めて参加。先方の代表団と ROLES との関係構築などを含めて意見交換。
2023/11/15	VUB-CSDS/NIDS/ASPI/Science Po/NATO 共催 "Future Trends in the Indo-Pacific Concept Meeting"	Luis Simón (CSDS 所長)、細谷雄一 (慶應義塾大学教授)、松田 拓也 (東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)、他 30 名ほどの非公開ラウンドテーブル参加者	NATO のインド太平洋との関わりに関して、各シンクタンクからの参加者と意見交換

2023/11/16	カナダ・マクドナルドローリエ研究所との非公開会合	山口 亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）、松田 拓也（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、田中 祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員） Jonathan Berkshire MILLER （Director of Foreign Affairs, National Security and Defence, MLI）、Balkan DEVLEN （Director of Transatlantic Relations and Senior Fellow, MLI） Alexander LANOSKA（Senior Fellow, MLI）、栗原響子（Fellow, MLI）、稲葉義泰（専修大学大学院法学研究科公法学専攻博士後期課程）、清水愛子（Japan Social Impact Lead at Microsoft）	国際研究会「インド太平洋の安全保障構想」を中心に実施。 東アジア情勢、ウクライナ戦争の影響、日本の防衛戦略・政策、日加安全保障関係について意見交換、また ROLES-Macdonald Laurier Institute の研究連携の可能性についても相互提案
2024/1/22	フィンランド国際問題研究所(FIIA) 招待制非公開円卓会合	Dr. Matti Pesu（FIIA 研究主幹）、Eoin McNamara（FIIA 研究員）、Bart Gaens（FIIA 上席研究員）、Minna Alander（FIIA 研究員）、Dr. Iro Sarkka（FIIA 研究員）、Sampo Kemppainen（フィンランド首相官邸）、Eveliina Saarinen（フィンランド外務省日本・韓国課担当官）、松田 拓	日本の安全保障政策や北欧バルト地域の安全保障課題に関して意見交換

		也（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）	
2024/1/11	非公開円卓会合	Dr. Peter Lee（Research Fellow）、Dr. JANG Ji-Hyang（Senior Fellow）、Dr. YANG Uk（Research Fellow）、Dr. LEE Dong-gyu（Research Fellow）、Ms. LIM Jeonghee（Senior Research Associate）、Mr. Lee Shinhung（Research Associate）、Ms. Heesu Lee（Research Associate）、松田拓也（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）	所属研究員と非公開円卓会合に登壇。日米韓安保協力に関して意見交換
2024/1/23	国際安全保障防衛センター（ICDS）Japan Chair 主催 円卓会合	Elena Atanassova-Cornelis（ICDS Japan Chair）、Tony Lawrence（ICDS 研究主幹）、Bart Gaens（FIIA 上席研究員）、松村之彦（在エストニア日本国特命全権大使）、George P. Kent（在エストニア・アメリカ合衆国大使）、松田 拓也（東京大学先端科学技術研究センター）、他現地専門家、政府関係者、外交団など20名程度	日本の安全保障政策や北欧バルト地域の安全保障課題に関して意見交換
2024/2/5	オーストラリア戦略政策研究所(ASPI)での非公開招待制円卓会合	鶴岡路人（慶応義塾大学准教授）、松田拓也（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）	インド太平洋の安全保障や ROLES との

		員）、Dr. Alex Bristow（防衛戦略副部長）、Dr. Peter Dibb など 16 名	関係構築などに関して意見交換
2024/2/6	オーストラリア国立大学（ANU）戦略防衛研究センター(SDSC)での 非公開円卓会合	鶴岡路人（慶応義塾大学准教授）、松田拓也（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、Dr. Iain Henry、Dr. Brendan Taylor、Dr. Andrew Carr など 10 名参加	インド太平洋の安全保障や ROLES との関係構築などに関して意見交換
2024/2/7	シドニー大学米国研究センター(USSC)での非公開円卓会合	鶴岡路人（慶応義塾大学准教授）、松田拓也（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）Dr. Michael J. Green（USSC Chief Executive Officer）、Prof. Peter J. Dean（Director of Foreign Policy and Defence）、Ms. Hayley Channer（Director of Economic Security）、鶴岡路人（慶応義塾大学教授）、田中祐真特任研究員など 13 名	インド太平洋の安全保障や ROLES との関係構築などに関して意見交換

2024/2/28	日本のインド太平洋政策に関するディスカッション	石川 亘（外務省欧州局中・東欧課長）、松平 翔（外務省欧州局中・東欧課主査）、高橋 美佐子（中東局参事官）、瀬戸 寛（Assistant Director of the Second Africa Division, African Affairs Department, MOFA）、中村 亮（南部アジア部長）、Colonel WANJIKU Esther（Embassy of Kenya）、篠田 英朗（東京外国語大学教授・東京大学 ROLES 客員上級研究員・広島平和構築人材育成センター[HPC]代表）、吉崎 知典（東京外国語大学特任教授）、井上 実佳（東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部教授）、池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター教授・ROLES 代表）、国末 憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）、R. S. ヤダブ少将（VSM [Retd]インド統合戦略研究所 [USI]CS3 部長）、マフフズ・カビール（バングラデシュ国際戦略研究所[BIISS]リサーチディレクター）、S. チャミンダ・パドマクマラ（コロンボ大学国際関係学部学部長／同学部教授）、モハメド・アブドゥルカデル・ムーサ（ジブチ外	シンポジウム「現代世界における紛争解決: ウクライナの未来と自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」の関連イベントとして実施
-----------	-------------------------	---	--

		交研究所所長）、アブディファ タ・アデン・アブディ（ソマリ ア連邦政府内務・連邦事項・和 解省平和構築紛争アドバイザー）、イーシェンコ・アンナ （キーウ国立工科大学 [KPI] 上級講師）、オレナ・アキモ ワ（キーウ国立工科大学 [KPI] 准教授）、フィリッ プ・シェトラ・ジョーンズ （英国王立防衛安全保障研究所 [RUSI] インド太平洋安全保障 上級研究員）、安井日寧子（東 京大学公共政策大学院 [GraSPP] 大学院生）、早丸 一真（東京大学先端科学技術研 究センター特任助教）、田中祐 真（東京大学先端科学技術研 究センター特任研究員）、西山美 久（東京大学先端科学技術研 究センター特任助教）、平田拓 海、大木有容、金澤 拓馬、 Theresa Amui、Yelyzaveta Shchur、Mariam Hesham Hamouda Hegazy Ramadan、 Sarashree Dhungana、Bruno Asiimwe、Chukwudi Vincent Chieji、Ijlal Eltahir Ibrahim Ahmed	
--	--	---	--

2024/2/27	レセプション 在京大使館	清水信介（特命全権大使 アフリカ開発会議（TICAD）担当兼アフリカの各地域関連担当）、中村亮（南部アジア部長）、小林義明（南部アジア部 南西アジア課 外務事務官）、堀内俊彦（アフリカ部長 大使）、高橋美佐子（中東局参事官）、林達郎（外務省 中東アフリカ局 アフリカ部 アフリカ第二課長）、中原隆伸（外務省 中東アフリカ局アフリカ部 アフリカ第二課）、松平翔（外務省欧州局中・東欧課主査）、H.E. Shahbuddin Ahmed（Ambassador, Embassy of Bangladesh）、Shah Asif Rahman（DCM, Embassy of Bangladesh）、Arthur A. ANDAMBI（H.E. Ambassador, Embassy of Kenya）、Colonel WANJIKU Esther（Embassy of Kenya）、Mr. Hassan Ibrahim Mohamed（Counsellor, Embassy of Djibouti）	シンポジウム「現代世界における紛争解決: ウクライナの未来と自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)」の関連イベントとして実施
2024/3/14	RCAST セキュリティ・セミナー”Tunisia's Fallen Democracy”	Monica Marks（Assistant Professor of Arab Crossroads Studies, NYU Abu Dhabi）、篠田英朗（東京外国語大学教授・東京大学 ROLES 客員上級研究	「RCAST セキュリティセミナー」シリーズとして実施

		員・広島平和構築人材育成センター代表）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授・ROLES 代表）	
--	--	--	--

（3）現地に赴いてのシンクタンク・ネットワーク構築

研究会「日本の価値観外交の検証と再構築」の活動の一環として、松田拓也特任研究員が1月から2月にかけて、韓国の峨山政策研究院（Asan Institute for Policy Studies）、フィンランド国際問題研究所(FIIA)、エストニアの国際防衛安全保障センター(ICDS)、エストニア外務省、オーストラリア戦略政策研究所(ASPI)、オーストラリア国立大学(ANU) 戦略防衛研究センター(SDSC)、シドニー大学米国研究センター(USSC)などで現地の有力研究者や政府機関関係者を招いた円卓会合に登壇し、日本の安全保障政策等に関して国際発信を行なうほか、意見交換を行うことで、シンクタンクネットワークの強化を図った。出張の成果については別添資料参照。

4. 国際的な議論を先導するシンポジウムの開催

本事業が単独または「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」と連携して実施した国際シンポジウムは以下の通り。

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2023/7/27	特別シンポジウム「ロシア・ウクライナ戦争と、欧州および日本の安全保障」	ギブール・ドラモット（フランス国立東洋言語文化学院（INALCO）日本学部教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、吉崎知典（東京外国語大学大学院総合国際学研究院特任教授）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）	ハイブリット	本事業共通の活動として実施	253	213
2023/9/25	イスタンブール公開シンポジウム：「ウクライナ戦争の挑戦ーそれは世界に何をもたらしたのか、日本とトルコに何ができるのか」	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、東野篤子（筑波大学大学院人文社会科学研究所教授）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、鈴木一人（東	対面	「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強	91	約 25 名

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
		京大学公共政策大学院教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、今井宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員）、チャール・エルハン（アルトゥンバシュ大学学長）、タルハ・キョゼ（イブン・ハルドゥーン大学准教授/SETA上級研究員）		化」「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」との合同開催		
2023/9/26	日本・トルコ戦略対話「ウクライナ戦争と国際秩序の未来：日本とトルコの視野と構想」 ※本イベントは招待者のみ参加	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、今井宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員/中東工科大学客員研究員）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）、東野篤子（筑波大学大	対面	「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」「自由民主主義秩序を支える情	-	30

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
		学院人文社会科学研 究科教授）、小泉悠 （東京大学先端科学 技術研究センター専 任講師）、鈴木一人 （東京大学公共政策 大学院教授）、早丸 一真（東京大学先端 科学技術研究センタ ー・特任助教）、木 村風雅（東京大学中 東地域研究センタ ー）、豊田耕平（東 京大学先端科学技術 研究センター連携研 究員）、ヒュセイ ン・バージュ、メリ ハ・アルトゥンウシ ュク、バハドウル・ ペフリヴァントウル ク、ハルドゥーン・ ヤルジュンカヤ、ミ タット・ジェリクバ ラ、ムラト・デミレ ル、井上貴文、ドア チ・ギュルセル、勝 亦孝彦、大使館政務 班 6 名		報プラッ トフォー ムの構 築」との 合同開催		

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2023/12/1	国連墓地映画上映会	李京玟（韓国放送公社 KBS プロデューサー）、李貞善（東京大学大学院人文社会科学系研究科研究員）、西村明（東京大学大学院人文社会科学系研究科准教授）	対面	研究会 「宗教と社会の関係の検証と再構築」を中心に実施	55	23
2023/12/27	QWS アカデミアスペシャル「ウクライナ戦争におけるアートとは？文学とは？」	オルハ・ニコレンコ（ポルタワ国立教育大学教授）、野中進（埼玉大学教授）、鴻野わか菜（早稲田大学教授）、鳥山祐介（東京大学准教授）、井上まどか（清泉女子大学准教授）	ハイブリッド	研究会 「宗教と社会の関係の検証と再構築」を中心に実施	211	148
2024/1/23	神に何を奉るカーケルトと日本一	鶴岡真弓（多摩美術大学名誉教授） ジャン＝ミシェル・ビュテル（フランス国立東洋言語文化大学准教授） 港千尋・多摩美術大学教授 アートとデザインの人類学研究所長	ハイブリッド	研究会 「宗教と社会の関係の検証と再構築」を中心に、國學院大學 日本文化研究所と	266	204

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
		平藤喜久子・國學院 大學教授		の共催で 実施		
2024/1/31	公開講演「The Role of Women in Post-War Societies: The Case of Bosnia and Herzegovina」	セルマ・アリスパヒ ッチ（サラエボ大学 教務助手）	対面	研究会 「宗教と 社会の関 係の検証 と再構 築」を中 心に実施	-	25
2024/1/31	公開講演「済州島のアルトゥロ飛行場と戦争の記憶」	趙誠倫（済州大学名 誉教授）	対面	研究会 「宗教と 社会の関 係の検証 と再構 築」を中 心に実施	-	35
2024/2/6	佐久平安全保障フォーラム「海洋安全保障問題と佐久地域」	山口亮（東京大学先 端科学技術研究セン ター特任助教）、 Collin KOH Swee Lean（シンガポー ル南洋理工大学ラジ ャラトナム国際学院 シニア・フェロ ー）、海上自衛隊幹 部学校、防衛大学校	ハイブリ ッド	国際研究 会「イン ド太平洋 の安全保 障構想」 を中心に 実施	-	20

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
		自治体（県庁、市役所、警察等）等				
2024/2/14	合同ウェビナー：「インド太平洋地域における『マルチ有事』のリスク」	マーカス・ガーラウスカス（アトランティック・カウンシル・スコウクロフト戦略安全保障センター・インド太平洋安全保障イニシアチブディレクター）、ローレン・ギルバート（アトランティック・カウンシル・スコウクロフト戦略安全保障センター・インド太平洋安全保障イニシアチブ 副ディレクター）、チヨ・ソンミン（アジア太平洋安全保障研究センター 教授）、山口亮（東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）	ZOOM ウェビナー	国際研究会「インド太平洋の安全保障構想」を中心に実施。 アトランティック・カウンシル・スコウクロフト戦略安全保障センター・インド太平洋安全保障イニシアチブと共催	233	視聴者数は2,800（YouTube, X, Atlantic Council TV

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2024/2/14	国際シンポジウム「なぜ、そして如何にして、神の「数」が問題なのか？：一神教—多神教の二分法を超えて」	Holger Zellentin（チュービンゲン大学教授）、Yaqir Paz（ヘブライ大学講師）、Maijastina Kahlos（ヘルシンキ大学講師）、Fabio Porzia（イタリア国立研究委員会遺産科学研究所研究員）、Guy Stroumsa（ヘブライ大学・オクスフォード大学名誉教授）、澤井義次（天理大学名誉教授）、中西悠喜（大阪大学非常勤講師）、真鍋智裕（北海道大学准教授）、宮川創（国立国語研究所助教）、平藤喜久子（國學院大学教授）、山城貢司（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）	対面	研究会「宗教と社会の関係の検証と再構築」を中心に実施。 島根大学、國學院大学日本文化研究所、Matsue-Works と共催	18	8

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2024/2/16	研究セミナー「オリエンタリズムと一神教：エルネスト・ルナンによるユダヤ教とイスラーム教（Orientalism and Monotheism: Renan on Judaism and Islam）」	ギイ・ストロムザ教授（エルサレム・ヘブライ大学/オックスフォード大学）	ハイブリッド	研究会 「宗教と社会の関係の検証と再構築」を中心に実施。 東京大学文学部・大学院人文社会系研究科宗教学宗教史学研究室との共催	61	40
2024/2/16	特別講演「古代末期における二元論の多様性（Varieties of Dualism in Late Antiquity）」	ギイ・ストロムザ教授（エルサレム・ヘブライ大学/オックスフォード大学）	ハイブリッド	研究会 「宗教と社会の関係の検証と再構築」を中心に実施。 東京大学文学部・大学院人文社会系	60	41

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
				研究科宗 教学宗教 史学研究 室との共 催		
2024/2/21	合同ウェビナー：「台湾有事と海上交通への影響」	スコット・スウィフト（元米海軍太平洋艦隊司令官）、古谷健太郎（政策研究大学院大学 連携教授 海上保安大学校 教授）、クリストファー・レン（安全保障開発政策研究所 アソシエイト・シニア・フェロー）、ジョン・ブラッドフォード（YCAPS エグゼクティブ・ディレクター）、山口亮（東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）	ZOOM ウェビナー	国際研究会「インド太平洋の安全保障構想」SG2「海洋・交通の安全保障の構想」を中心に実施。 Yokosuka Council on Asia-Pacific Studies (YCAPS) との共催	-	-

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2024/2/23	研究セミナー「イエスと「掟」：新約聖書、タルムード、およびクルアーンにおける律法の確証の問題（“Jesus and the Law: Confirming the Torah in the New Testament, the Talmud and the Qur'an”）」	ホルガー・ツェッレ ンティン（テュービンゲン大学教授）、 志田雅宏（東京大学）	ハイブリッド	研究会 「宗教と社会の関係の検証と再構築」を中心に実施。 東京大学文学部・大学院人文社会系研究科宗教学宗教史学研究室と共催	37	27

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
2024/2/27	シンポジウム「現代世界における紛争解決：ウクライナの未来と自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」	篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授）、R. S. ヤダブ少将（インド統合戦略研究所 CS3 部長）、マフフズ・カビール（バンラデシュ国際戦略研究所 リサーチディレクター）、S. チャミンダ・パドマクマラ（コロンボ大学 教授）、アブディファタ・アデン・アブディ（ソマリア連邦政府内務・連邦事項・和解省平和構築紛争アドバイザー）、インギ・ラシェド（紛争解決・平和維持・平和構築のためのカイロ国際センター 国境を越えた脅威アソシエイトプログラムオフィサー）、イーシェンコ・アンナ（ウクライナ国立工科大学 上級講師）、アキモ	ハイブリッド	研究会 「紛争解決の理論と実践」を中心に実施	130	101

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
		ワ・オレナ（ウクライナ国立工科大学准教授）、フィリップ・シェトラ・ジョーンズ（英国王立防衛安全保障研究所アジア太平洋地域の安全保障 主任研究員）、安井日寧子（東京大学公共政策大学院 学生）、吉崎知典（東京外国語大学 特任教授）				
2024/2/28	公開シンポジウム 「Religious Organisations and Their Transformation in the Time of Crisis」	ディーノ・アバゾビッチ（サラエボ大学教授）、セアド・トゥルチャロ（サラエボ大学教授）、サミル・フォリッチ（サラエボ大学上級講師）、パブレ・ミヨビッチ（サラエボ大学准教授）、井上まどか（清泉女子大学准教授）、神原ゆうこ（北九州私立大学教授）、高橋沙奈美（九州大学専任講	対面	研究会 「宗教と社会の関 係の検証 と再構 築」を中 心に、サ ラエボ大 学と共催	-	23

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
		師）、中井杏奈（東京外国語大学特定非常勤講師）				
2024/2/29	公開講義「Roles of Religion in Contemporary Japan」	西村明（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）	対面	研究会「宗教と社会の関係の検証と再構築」を中心に実施	-	48
2024/3/8	研究報告会議「北朝鮮のグローバル展開ーロシア・アジア・アフリカー」	宮本悟（聖学院大学教授）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授・ROLES 代表）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）、山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）、本名純（立命館大学教授）、玉田芳史（放送大学京都学習センター所長）、中西嘉宏（京都大学准教	ハイブリッド	国際研究会「安全保障協力体制の構想」を中心に実施	116	64

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前 登録	当日 参加
		授）、山根健至（福岡女子大学准教授）				
2024/3/16	公開シンポジウム「寫眞から読む出雲神話」	平藤喜久子（國學院大學神道文化部教授）、港千尋（多摩美術大学情報デザイン学科教授）、小泉凡（小泉八雲記念館館長）、グリフィス・キオ（ヴィジュアル・サウンドアーティスト、キュレーター、エディター）、高嶋敏展（写真家、アートプランナー）	対面	研究会 「宗教と社会の関係の検証と再構築」を中心に実施	-	90

3-2 事業の実施状況・成果の定量的概要

【調査】

- ・情報収集・調査実施回数：145回（研究会合＋ヒアリング）

【会議】

- ・研究会の実施数：52回
- ・シンポジウム／セミナー／ワークショップ等の主催・共催数：34回
- ・他団体主催のシンポジウム／セミナー／ワークショップ等への参加数：75回
（ROLES メンバーによる参加回数も併せて集計）

【情報発信】

- ・インタビューや報道発表の実施数：380回（ROLES メンバーによるもののみ集計／ROLES で実施している他の事業と合計）
- ・論文やコメントリーの発出数：8回
- ・政策提言を含む報告書の発出数：2回
- ・学術誌の発行：0回
- ・動画公開：7回

URL は 3-1 「イベントのメディア掲載」「ROLES ウェブサイトを通じた発信」に記載済み。

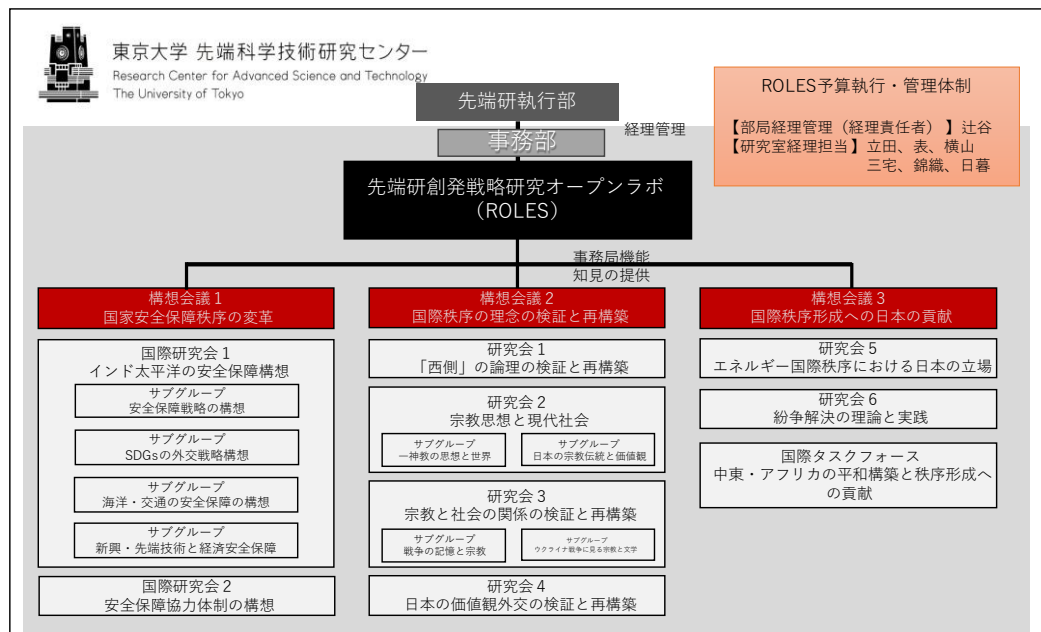
※主要なものにつき、審査委員や政府関係者などが閲覧できるよう URL（未発表のものは概要）を記載。また、上記以外の情報発信（メールマガジン配信、ウェビナー動画の発信など、独自に実施している情報発信）も該当があれば記載すること。

4-1 事業実施体制

1 組織図（自由書式）

※ 複数の分科会／研究会が設けられている場合は、それらが有機的に連携するためにどのような体制が取られているか明示すること。

※ 予算の執行・管理体制を明示すること。



組織図

2 メンバー詳細

事業総括、グループリーダー、研究担当、渉外担当、経理担当等の別	氏名	所属機関・部局・職	役割
事務局 (ROLES)			
事業総括	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	事業全体の総括（事業全体の企画・管理等）
副事業総括	小泉 悠	東京大学先端科学技術研究センター講師	事業全体の副総括（特に担当分科会の企画・進捗管理と国内向け発信）
副事業総括	山口 亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	事業全体の副総括（特に担当分科会の企画・進捗管理と国外向け発信）

渉外・経理 (グループリーダー)	伊藤 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター シニアプログラム・コーディネーター	渉外及び経理の総括
経理	表 真琴	東京大学先端科学技術研究センター事務補佐員	経理に関わる実務
広報 (グループリーダー)	鍛冶 一郎	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	アウトリーチ活動に関わる実務
広報	田中 周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	アウトリーチ活動に関わる実務
広報	金子 美和	東京大学先端科学技術研究センター事務補佐員	アウトリーチ活動に関わる庶務
連絡調整 (グループリーダー)	立田 由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	事業メンバー・学内との連絡・調整
連絡調整	狩野 希望	東京大学先端科学技術研究センター協力研究員	事業メンバーとの連絡・調整
連絡調整	西山美久	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	事業メンバー・学内との連絡・調整
連絡調整	田中祐真	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	事業メンバー・学内との連絡・調整
連絡調整	早丸一真	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	庶務の管理及びインターン生統括
構想会議 1 「国家安全保障秩序の変革」			
国際研究会 1 「インド太平洋の安全保障構想」			
座長・幹事	山口 亮	東京大学先端科学技術研究センター 特任助教	- 全体会合のとりまとめ - インド太平洋地域の安全保障問題及び防衛政策に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 事業全体の内容に関する調査研究、発信等

副座長	Christopher K. LAMONT	東京国際大学 教授	- 民間航空の保安・安全保障、国際法に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	清水 愛子	マイクロソフト 政策渉外・法務部本部 デジタル・インクルージョン担当部長	非伝統安全保障、持続可能交通システムに関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。 国外、若手
研究担当	WU Shang-Su	ラブダン・アカデミー 助教授	台湾の安全保障戦略、鉄道の保安と安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。 国外、若手
幹事・研究担当	伊藤 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター シニアプログラム・コーディネーター	中国と科学技術に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
幹事補佐	Ariel STENEK	政策研究大学院大学 博士課程	海洋安全保障と東南アジア情勢に関する知見の提供、調査研究、発信等。会合運用の補佐。海外での調査・シンポジウム参加の支援。

研究担当	Jonathan Berkshire MILLER	マクドナルド・ロー リエ研究所 シニアフ ェロー	カナダの防衛政策及びインド太平洋地域の安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。国外、若手
研究担当	John BRADFORD	CFR 国際フェロー (インドネシア)	日米、東南アジア諸国の安全保障戦略、海洋安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Jeffrey ORDANIEL	東京国際大学 准教授	フィリピンの安全保障戦略、海洋安全保障、国際法に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Bich TRAN	CSIS 客員フェロー	ベトナムの安全保障戦略、ASEANに関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。国外、若手
研究担当	LIM Eunjung	公州大学校 准教授	エネルギーと環境問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。

研究担当	稲葉 義泰	専修大学大学院法学研究科博士後期課程	日本の安全保障政策、海洋安全保障、国際法に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Jasmin ALSAIED	中東研究所 客員フェロー	米国の防衛政策及びインド太平洋地域における安全保障問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。 国外、若手
研究担当	Arius DERR	オーストラリア国立大学 博士課程	米韓の安全保障戦略、インド太平洋地域における大量破壊兵器問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	青木 尚子	ランド研究所 アソシエートポリティカルサイエンティスト	日米の防衛戦略及び北朝鮮、中国に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Kristi GOVELLA	ハワイ大学マノア校 アジア研究プログラム助教授	日米関係と経済安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。

			ム参加の支援。
研究担当	Maria TANYAG	オーストラリア国立 大学 講師	人間と環境の安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Lauren GILBERT	アトランティック・ カOUNシル アソシエ ートディレクター	米韓の安全保障戦略、インド太平洋地域における大量破壊兵器問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Emma VERGES	アトランティック・ カOUNシル プログラ ムアシスタント	中国の安全保障戦略、インド太平洋地域における非伝統安全保障問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	今井 慶子	アトランティック・ カOUNシル アシスタ ントディレクター	日米安全保障戦略、インド太平洋地域における非伝統安全保障問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。

研究担当	豊田 耕平	東京大学先端科学技術研究センター連携 研究員	エネルギーに関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Tonny Dian EFFENDI	ムハマディア大学マ ラン校 助教授	インドネシアの安全保障戦略、ASEANに関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	S. Paul CHOI	ストラットウェイ ズ・グループ 代表	- 米国の抑止政策及び米韓の安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
副座長	Collin KOH Swee Lean	南洋工科大学ラジャ ラトナム国際関係研 究大学院 シニア・フ ェロー	- 東南アジアの安全保障環境、海洋安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	Zack COOPER	アメリカン・エンタ ープライズ研究所 上 級研究員	- 米国の抑止政策及び日米韓の安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援

研究担当	Sung-Min CHO	アジア太平洋安全保障研究センター 教授	日米韓の安全保障、中朝関係に関する知見の提供、調査研究、発信
研究担当	DongJoon PARK	済州平和研究院 研究委員	朝鮮半島情勢、日米韓関係に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Katherine YUSKO	アトランティック・カウンスル プロジェクトアシスタント	米国の対外政策、非伝統安全保障問題に関する知見の提供
サブグループ「安全保障戦略の構想」			
ユニット長・幹事	山口 亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	全体会合のとりまとめ。各分科会の調査研究に関する方向性のとりまとめ。事業全体の内容に関する調査研究、発信等。
副ユニット長	Collin KOH Swee Lean	シンガポール南洋理工大學ラジャラトナム国際学院 シニアフェロー	シンガポールの安全保障戦略、海洋安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	WU Shang-Su	ラブダン・アカデミー 助教授	台湾の安全保障戦略、鉄道、保安と安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。

幹事補佐	Ariel STENEK	政策研究大学院大学 博士課程	海洋安全保障と東南アジア情勢に関する知見の提供、調査研究、発信等。会合運用の補佐。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
幹事	伊藤 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター シニアプログラム・コーディネーター	中国と科学技術に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Jonathan Berkshire MILLER	マクドナルド・ローリエ研究所 シニアフェロー	カナダの防衛政策及びインド太平洋地域の安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Lauren GILBERT	アトランティック・カウンシル アソシエートディレクター	米韓の安全保障戦略、インド太平洋地域における大量破壊兵器問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。

研究担当	青木 尚子	ランド研究所 アソシエートポリティカルサイエンティスト	日米の防衛戦略及び北朝鮮、中国に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	S. Paul CHOI	ストラットウェイズ・グループ 代表	朝鮮半島情勢、日米韓関係に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Arius DERR	オーストラリア国立大学 博士課程	米韓の安全保障戦略、インド太平洋地域における大量破壊兵器問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Jasmin ALSAIED)	中東研究所 客員フェロー	米国の防衛政策及びインド太平洋地域における安全保障問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Sung-Min CHO	アジア太平洋安全保障研究センター 教授	日米韓の安全保障、中朝関係に関する知見の提供、調査研究、発信

研究担当	Zack COOPER	アメリカン・エンタープライズ研究所 上級研究員	- 米国の抑止政策及び日米韓の安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	DongJoon PARK	済州平和研究院 研究委員	- 朝鮮半島情勢、日米韓関係に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Bich TRAN	CSIS 客員フェロー	- ベトナムの安全保障戦略、ASEANに関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
サブグループ「SDGsの外交戦略構想」			
ユニット長・幹事	山口 亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	全体会合のとりまとめ。各分科会の調査研究に関する方向性のとりまとめ。事業全体の内容に関する調査研究、発信等。
副ユニット長	Christopher K. LAMONT	東京国際大学 教授	民間航空の保安・安全保障、国際法に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。

幹事	伊藤 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター シニアプログラム・コーディネーター	中国と科学技術に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
幹事補佐	Ariel STENEK	政策研究大学院大学 博士課程	海洋安全保障と東南アジア情勢に関する知見の提供、調査研究、発信等。会合運用の補佐。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	今井 慶子	アトランティック・カウンスル アシスタントディレクター	日米安全保障戦略、インド太平洋地域における非伝統安全保障問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Emma VERGES	アトランティック・カウンスル プログラムアシスタント	中国の安全保障戦略、インド太平洋地域における非伝統安全保障問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Maria TANYAG	オーストラリア国立大学 講師	人間と環境の安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。

研究担当	Tonny Dian EFFENDI	ムハマディア大学マ ラン校 助教授	インドネシアの安全保障戦略、ASEAN に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Katherine YUSKO	アトランティック・ カウンシル プロジェ クトアシスタント	米国の対外政策、非伝統安全保障問題に関する知見の提供
研究担当	Kristi GOVELLA	ハワイ大学マノア校 アジア研究プログラ ム助教授	日米関係と経済安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	清水 愛子	マイクロソフト 政 策渉外・法務部本部 デジタル・インクル ージョン担当部長	- 非伝統安全保障、持続可能交通システムに関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
サブグループ「海洋・交通の安全保障の構想」			
ユニット長・幹事	山口 亮	東京大学先端科学技 術研究センター特任 助教	全体会合のとりまとめ。各分科会の調査研究に関する方向性のとりまとめ。事業全体の内容に関する調査研究、発信等。

副ユニット長	Christopher K. LAMONT	東京国際大学 教授	民間航空の保安・安全保障、国際法に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
幹事	伊藤 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター シニアプログラム・コーディネーター	中国と科学技術に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
幹事補佐	Ariel STENEK	政策研究大学院大学 博士課程	海洋安全保障と東南アジア情勢に関する知見の提供、調査研究、発信等。会合運用の補佐。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
副ユニット長	Collin KOH Swee Lean	シンガポール南洋理工大學ラジャトナム国際学院 シニアフェロー	シンガポールの安全保障戦略、海洋安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	WU Shang-Su	ラブダン・アカデミー 助教授	台湾の安全保障戦略、鉄道の保安と安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。

研究担当	豊田 耕平	東京大学先端科学技術研究センター連携 研究員	エネルギーに関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Jeffrey ORDANIEL	東京国際大学 准教授	フィリピンの安全保障戦略、海洋安全保障、国際法に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	John BRADFORD	シンガポール南洋理工 大学ラジャラトナム 国際学院 シニアフ ェロー	日米、東南アジア諸国の安全保障戦略、海洋安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	稲葉 義泰	専修大学大学院法学 研究科博士後期課程	日本の安全保障政策、海洋安全保障、国際法に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
サブグループ「新興・先端技術と経済安全保障」			
ユニット長・幹事	山口 亮	東京大学先端科学技術研究センター特任 助教	全体会合のとりまとめ。各分科会の調査研究に関する方向性のとりまとめ。事業全体の内容に関する調査研究、発信等。

副ユニット長	Christopher K. LAMONT	東京国際大学 教授	民間航空の保安・安全保障、国際法に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
幹事	伊藤 和歌子	東京大学先端科学技術研究センター シニアプログラム・コーディネーター	中国と科学技術に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Kristi GOVELLA	ハワイ大学マノア校 アジア研究プログラム助教授	日米関係と経済安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	LIM Eunjung	公州大学校 准教授	- エネルギーと環境問題に関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
研究担当	Bich TRAN	CSIS 客員フェロー	- ベトナムの安全保障戦略、ASEANに関する知見の提供、調査研究、発信等。海外での調査・シンポジウム参加の支援。
国際研究会 2 「安全保障協力体制の構想」			

座長	岩間 陽子	政策研究大学院大学 教授	• 全体会合のとりまとめ • 各分科会の調査研究に関する方向性の取りまとめ • 事業全体の内容に関する調査研究、発信等 •
幹事	早丸 一真	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	• 歴史的知見からの安全保障協力体制の知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	松田 拓也	YCAPS リサーチ・フェロー	中東をはじめとした海外地域に対する米国の政策の調査研究
研究担当	小林 弘幸	群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部非常勤講師	国際的な核抑止・核不拡散体制に関する調査研究
構想会議 2 「国際秩序の理念の検証と再構築」			
研究会 1 「『西側』の論理の検証と再構築」			
座長	細谷 雄一	慶應義塾大学法学部教授	• 分科会のとりまとめ • 各分科会の調査研究に関する方向性の取りまとめ • 事業全体の内容に関する調査研究、発信等
幹事	小林 弘幸	群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部非常勤講師	• 欧州の核抑止・核不拡散体制に関する調査研究
研究担当	合六 強	二松學舎大学国際政治経済学部准教授	• 先進国の民主主義（欧州）に関する知見の提供、調査研究、発信等

			海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	岩間 陽子	政策研究大学院大学教授	- 先進国の民主主義（欧州）に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	鶴岡 路人	慶應義塾大学総合政策学部准教授	- 先進国の民主主義（欧州）に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	東野 篤子	筑波大学人文社会系教授	- 先進国（欧州）の民主主義に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	ギブール・ドラモット	フランス国立東洋言語文化学院教授	- 先進国の民主主義（欧州）に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究会 2 「宗教思想と現代社会」			
サブグループ「一神教の思想と世界」			
座長	市川 裕	東京大学人文社会系研究科名誉教授	ユダヤ教思想および歴史とその社会における役割に関する知見の提供、調査研究、発信等

			海外での調査・シンポジウム参加の支援
幹事	山城 貢司	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	ユダヤ教、アブラハム宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	澤井 義次	天理大学名誉教授	ヒンドゥー教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	中西 悠喜	大阪大学非常勤講師	イスラーム教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	志田 雅弘	東京大学大学院人文社会系研究科講師	ユダヤ教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	宮川 創	国立国語研究所助教	古代宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	戸田 聡	北海道大学大学院文学研究院教授	古代キリスト教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	納富 信留	東京大学大学院人文社会系研究科教授	古代ギリシア哲学に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	下田 正弘	武蔵野大学経済学部教授	インド仏教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	古勝 隆一	京都大学人文科学研究所教授	- 古代中国哲学に関する知見の提供、調査研究、発信等

研究担当	木村 風雅	東京大学大学院総合文化研究科特任助教	イスラーム法学に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	眞鍋智裕	北海道大学大学院文学研究院准教授	古代インド哲学に関する知見の提供、調査研究、八親等
研究担当	Joerg Ruepke	エアフルト大学教授	比較宗教学に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Avishai Bar-Asher	ヘブライ大学講師	ユダヤ思想に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Guy Stroumsa	ヘブライ大学名誉教授	アブラハム宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Menahem Kister	ヘブライ大学名誉教授	モーゼ律法に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Sarah Stroumsa	ヘブライ大学名誉教授	アラブ世界におけるスコラ哲学に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Naphtali Meshel	ヘブライ大学上級講師	古代オリエント世界におけるヘブライ語聖書に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Mohammad Ali Amir-Moezzi	フランス国立高等研究実習院教授	イスラーム教シーア派に関する知見の提供、調査研究、発信等

研究担当	Winrich Loehr	ハイデルベルク大学 教授	古代キリスト教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Corinne Bonnet	トゥールーズ大学教 授	古代ギリシア宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Moshe Halbertal	ヘブライ大学教授	ユダヤ思想に関する知見の提供、調査研究、発信等
サブグループ「日本の宗教伝統と価値観」			
座長	平藤 喜久子	國學院大學神道文化 学部教授	日本神道に関する知見の提供、調査研究、発信等
幹事	立田 由紀恵	東京大学先端科学技 術研究センター特任 研究員	- 権威主義（中東）に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	星野 靖二	國學院大學研究開発 推進機構日本文化研 究所教授	近代日本宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究会3 「宗教と社会の関係の検証と再構築」			
サブグループ「戦争の記憶と宗教」			
座長	西村 明	東京大学大学院人文 社会系研究科基礎文 化研究専攻宗教学宗 教史学講座准教授	- 全体会合のとりまとめ - 各分科会の調査研究に関する方向性の取りまとめ - 事業全体の内容に関する調査研究、発信等

幹事	立田 由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	- 権威主義（中東）に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	栗津 賢太	上智大学グリーンフケア研究所客員研究員	戦争の記憶に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	李 貞善	東京大学大学院人文社会系研究科研究員	朝鮮戦争の記憶に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	清水 亮	東京大学未来ビジョン研究センター特任助教	戦争の記憶に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	富澤 かな	静岡県立大学国際関係学部国際言語文化学科准教授	- インドにおける宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	浜井 和史	帝京大学教育学部教育文化学科准教授	日本の戦後処理に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Dino Abazović	サラエボ大学教授	ボスニアのイスラーム教や内戦に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Tâm Ngô	オランダ戦争文書研究所戦争・ホロコースト・大量虐殺研究所上席研究員	欧州の戦争の記憶に関する知見の提供、調査研究、発信等
サブグループ「ウクライナ戦争に見る宗教と文学」			

座長	井上 まどか	清泉女子大学文学部 文化史学科准教授	- ロシアにおける宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
幹事	立田 由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	- 権威主義（中東）に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	野中 進	埼玉大学人文社会科学部研究科教授	ロシアの戦争と文学に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	加藤 久子	大和大学社会学部教授	東欧の戦争と宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	長谷川 章	秋田大学教育文化学部教授	ロシアの戦争と映像作品に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	神原 ゆうこ	北九州市立大学基盤教育センター教授	東欧の戦争と宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	高橋 沙奈美	九州大学大学院人間環境学研究院講師	ロシアとウクライナの宗教に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究会 4 「日本の価値観外交の検証と再構築」			
座長	坂元 一哉	大阪大学名誉教授	価値観外交の変化に関する知見の提供、調査研究、発信等

			海外での調査・シンポジウム参加の支援
幹事	鍛冶 一郎	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	- 価値観外交の変化に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	高橋 慶吉	大阪大学大学院法学研究科教授	- 価値観外交の変化に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	小島 吉之	帝塚山大学非常勤講師	- 価値観外交の変化に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
構想会議 3 「国際秩序形成への日本の貢献」			
研究会 5 「エネルギー国際秩序における日本の立場」			
座長	岩瀬 昇	エネルギーアナリスト	- 権威主義（中東）に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
副座長	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	- 分科会のとりまとめ - 各分科会の調査研究に関する方向性の取りまとめ - 事業全体の内容に関する調査研究、発信等

幹事	豊田 耕平	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構調査部調査課／東京大学先端科学技術研究センター連携研究員	- 中東地域のエネルギー問題に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	小林 周	日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員	- 権威主義（中東）に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	梶本 量平	INPEX ソリューションズ	- エネルギー問題に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究担当	高橋雅英	公益財団法人中東調査会主任研究員	- エネルギー問題に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
研究会 6 「紛争解決の理論と実践」			
座長	篠田 英朗	東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授	- 紛争問題に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援
幹事	立田 由紀恵	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	- 権威主義（中東）に関する知見の提供、調査研究、発信等 - 海外での調査・シンポジウム参加の支援

研究担当	吉崎 知典	東京外国語大学大学院総合国際学研究院特任教授	欧州の安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	鶴岡 路人	慶應義塾大学総合政策学部准教授	欧州の安全保障に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Anna Mykolayivna Ischenko	ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部上級講師	紛争に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Iurii Perga	ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部大学院教授	紛争に関する知見の提供、調査研究、発信等（国外在住）
研究担当	Olena Akimova Kasatnika	ウクライナ国立工科大学（KPI）経営理論実践学科准教授	紛争に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Pavlo Ferdorchenko-Kutuyev	ウクライナ国立工科大学（KPI）社会学部学部長	紛争に関する知見の提供、調査研究、発信等
研究担当	Philip Shetler-Jones	RUSI シニア・リサーチ・フェロー	インド太平洋とNATOに関する知見の提供、調査研究、発信等
国際タスクフォース 「中東・アフリカの平和構築と秩序形成への貢献」			
座長	池内 恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	- タスクフォースのとりまとめ - 事業全体の内容に関する調査研究、発信等
幹事	松田 拓也	YCAPS リサーチ・フェロー	- 海外でのタスクフォース活動、国際シンポジウム開催の支援 - 米国の中東政策の調査研究
研究担当	豊田 耕平	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構調査部調査課／東京大学先端科学技術研究センター連携研究員	- 海外でのタスクフォース活動、国際シンポジウム開催の支援 - 中東地域情勢の調査研究

--	--	--	--